

官報

號外

大正六年七月十五日

日曜日

印刷局

第三十九回 衆議院議事速記録第十二號

大正六年七月十四日(土曜日)午前十時二十三分開議

議事日程 第十一號 大正六年七月十四日

午前十時開議

第一 産業組合法中改正法律案(政府提出) 第二讀會

第二 北海道拓殖銀行法中改正法律案(政府提出) 第二讀會

第三 日本勸業銀行法中改正法律案(政府提出) 第二讀會

第四 農工銀行法中改正法律案(政府提出) 第二讀會

第五 大正三年度歲入歲出總決算及各特別會計歲入歲出決算 第一讀會(續)

第六 市町村立小學校費國庫補助法案(尾崎) 第一讀會(續)

第七 市町村教育費國庫補助ニ關スル建議案(原敬) 第一讀會(續)

第八 義務教育費國庫補助ニ關スル建議案(西村) 第一讀會(續)

第九 小學校教員俸給國庫補助ニ關スル建議案(石黒) 第一讀會(續)

第十 漁港避難港修築國庫補助法制定ニ關スル建議案(高島) 第一讀會(續)

第十一 (特別報告第五十號) 日露戰役ニ於ケル被擄沈船救恤ノ請願 (委員長報告)

第十二 (特別報告第五十一號) 朝鮮ニ官幣大社奉祀ノ請願 (委員長報告)

第十三 (特別報告第五十二號) 紋別網走兩港比較調査ニ關スル請願 (委員長報告)

第十四 (特別報告第五十三號) 大阪府下飛田ニ對スル遊廓指定取消ノ請願 (委員長報告)

第十五 (特別報告第五十四號) 仙臺市水道工事助成ニ關スル請願 (委員長報告)

第十六 (特別報告第五十五號) 酒造稅法中改正ノ請願 (委員長報告)

第十七 (特別報告第五十六號) 不足金庫公債下附ノ請願 (委員長報告)

第十八 (特別報告第五十七號) 紙價調節ニ關スル請願 (委員長報告)

第十九 (特別報告第七十七號) 紙價調節ニ關スル請願 (委員長報告)

第二十 (特別報告第五十八號) 小坂鑛山鑛毒ニ關スル請願 (委員長報告)

第二十一 (特別報告第五十九號) 能生小泊港ヲ漁船避難港トシテ築設ノ請願 (委員長報告)

第二十二 (特別報告第六十三號) 元富岡區裁判所復舊ノ請願 (委員長報告)

第二十三 (特別報告第六十四號) 元鹿兒島地方裁判所大島支部復舊ノ請願 (委員長報告)

第二十四 (特別報告第六十五號) 元竹原區裁判所復舊ノ請願 (委員長報告)

第二十五 (特別報告第六十七號) 豐田下村ニ三等郵便局設置ノ請願 (委員長報告)

第二十六 (特別報告第六十八號) 志學郵便局ニ電信及集配事務開始ノ請願 (委員長報告)

第二十七 (特別報告第六十九號) 金田一郵便局ニ電信事務開始ノ請願 (委員長報告)

第二十八 (特別報告第七十號) 四ツ屋村四ツ屋ニ郵便局設置ノ請願 (委員長報告)

第二十九 (特別報告第七十一號) 男川村ニ郵便局設置ノ請願 (委員長報告)

第三十 (特別報告第七十二號) 加茂臨港線鐵道敷設ノ請願 (委員長報告)

第三十一 (特別報告第七十三號) 遠輕奧白瀧間突込線鐵道敷設ノ請願 (委員長報告)

第三十二 (特別報告第七十四號) 天鹽鐵道速成ノ請願 (委員長報告)

第三十三 (特別報告第七十五號) 千綿村ニ停車場増設ノ請願 (委員長報告)

第三十四 (特別報告第七十六號) 奈良市水道工事助成ニ關スル請願 (委員長報告)

第三十五 (特別報告第八十號) 駿甲、信越兩線聯絡鐵道速成ノ請願 (委員長報告)

第三十六 (特別報告第八十一號) 若宮燈臺改築ノ請願 (委員長報告)

第三十七 (特別報告第八十三號) 田畑地價特別修正ノ請願 (委員長報告)

○議長(大岡育造君) 諸般ノ報告ヲ命ジマス

(書記朗讀)

一議員ヨリ提出セラレタル質問主意書左ノ如シ

後藤内務大臣ノ伊勢大廟ニ於ケル不謹慎事件ニ關スル第三質問主意書
提出者 大津淳一郎君 山田 珠一君 川崎 克君
小山 東助君 荒川 五郎君 田中 善立君

關 和 知君

〔左ノ報告ハ明讀ヲ經サルモ參照ノ爲メ茲ニ掲載ス〕

一常任委員ノ補選選舉ニ左ノ通り當選セラレタリ

第九部選出懲罰委員 森田茂君〔横山勝太郎君補選〕

議院法第九十三條ニ據ル發議

○議長〔大岡育造君〕 會議ヲ開キマス、議員小久保喜七君ヨリ議院法第九十三條ニ依テ發言ヲ求メラレマシタ、依テ之ヲ許可致シマス——小久保喜七君

〔拍手スル者アリ〕

○小久保喜七君 森田茂君カラ御提出ニナリマシタ選舉干渉ニ關スル質問ノ中ニ、私ノ身上ニ付キマシテ無根ノ事實ヲ掲ゲマシテ、私ヲ誹毀シタト云フモ宜シイ條項ガアルノ御坐イマス、大凡此議員タル者ガ同列ノ者ニ向テ評論ヲ致シマスル時ニハ、最モ正確ナル事實ニ依テ記載シナケレバナラヌト考ヘルノ御坐イマス、若シ然ラズンバ寧ロ私ハ之ヲ一種ノ罪惡ト考ヘルノ御坐イマス、然ルニ選舉干渉ノ質問ノ中ノ第四十九頁ヨリ五十二頁ニ至リマスル私ノ身上ニ關係ヲ致シマスルコトハ、悉ク虛構ノ事實ヲ御坐イマス、私ハ一々之ニ向テ辯駁ヲ致シタト考ヘルノ御坐イマス、最モ簡單ニ其要領ヲ私ハ申上ゲマス、第一此選舉干渉ノ質問書ノ茨城縣ノ事例ト云フ中ニ、茨城縣ノ憲政會ノ候補者デ一人モ干渉ヲ受ケナイ者ハナイト書イテアリマスガ、是ガ大體大間達アリマス、私ノ縣程嚴正ニ行ハレタ選舉ハナイノアリマス、現ニ我黨カラ干渉呼ハリシテモ宜シイノアル、何故ト云フニ選舉ノ五六日前ニ候補者初ニ我黨ノ幹部ニ向テ大檢舉ガ行ハレタノアリマス、實ニ我茨城縣程嚴正ニ此選舉ノ行ハレタ縣ハナイノアリマス、次ニ私ノ一身ニ關シテ私ガ申上ゲマスレバ、其干渉ノ事實アルト云フ中ニ斯様ナ事ガ書イテアルノアリマス、第一就中茨城縣ニ於テ干渉ノ甚シカリシハ海老澤爲次郎アル、而シテ此海老澤爲次郎ニ干渉ノ猛烈デアッタト云フコトハ、小久保ノ落選ヲ防ガムガ爲メアルト云フコトガ書イテアル、又其次ニハ選舉ノ十數日前小久保ハ愈々海老澤ノ勢ガ強クナツテ、其落選ト云フコトヲ心配ヲ致シテ内務省ニ駭込シテ窮狀ヲ懇ヘタト書イテアルノアリマス、諸君候補者ト云フモノガ内務省ニ時ノ當局者ノ袖ニ縋ルト云フコトハ是程甚シイ汚辱ハナイト私ハ理解致スノアリマス〔ヒヤ／＼ト呼フ者アリ〕諸君、私ハ茲ニ至テ私ノ選舉區ニ付テ諸君ニ御話ヲ致サナケレバナラヌノアリマスガ、私ノ根據ハ猿島郡アリマス、即チ海老澤爲次郎ノ立ッタ處デアリマスガ、此猿島郡ハ明治三十七年以來、四十一年四十五年ト敵モ味方モ私ニ贊成ヲシテ私ガ獨舞臺デアッタ、唯大正四年ノ選舉ニ私ノ反對トシテ同志會カラ有名ナ初見八郎君ガ立チマシタ、此初見八郎君ハ實ニ有力ナ候補アル、第一學問モ宜シ、第二人格モ高シ、而シテ茨城一ノ多額納稅者ノ弟デアリマス、此初見君ノ立ッタ時ニハ私ハ餘程心配ヲ致シタ、マサカ私ハ同志會ノ諸

君ガ良イ候補者ヲ求メタ、是デヤ自分モ少シハ心配ダト考ヘマシタガ、併シ私ノ心配ト云フモノハ遂ニ無ニ相成リマシテ、愈々選舉ノ結果ハ私ガ千三百點餘、而シテ初見君ガ千二百點餘デアッタノアリマス、私ガ百點弱上デアッタ、之ニ付テハ茨城縣ガ一驚ヲ喫シタ、茨城縣ガ一驚ヲ喫シタノミナラズ、同志會デモ一驚ヲ喫シタト云フコトハ、其後食堂デ私ガ同志會ノ選舉長タル安達君ニ會フ時ニ、初見氏ガ立ット云フコトニ定マリマシタ時ハ、愈々君ヲ蹴落シタト思ッタル矢張り君ニ負ケタト言ッタルデモ明カデアル、然ルニ諸君此度ノ戰ハ如何デアル、此度ノ戰ニ私ノ敵トナッタ海老澤爲次郎ハ如何ナル人デアアル、私ノ敵トナッタ海老澤爲次郎ハ吳服屋ノ主人デ、何ノ政治上ノ經驗モ無イノアリマス、何ノ政治上ノ經驗モ無イ上ニ諸君前科者デアリマスヨ、此前科者ガ立ッタルカラ私ハ初見八郎氏スラノ通りデアアルカラ、海老澤爲次郎デハ實ニ樂モノト云フデ、實ハ期日ノ迫マルマデ選舉區ヘ歸ラナカッタ、私ガ初メテ選舉區ニ足ヲ入レタノハ四月六日デアアル、友達カラナセ其様ニ君ハ悠々トシテ居ルカト言ハレマシタガ、私ノ悠々トシテ居ッタルハ海老澤爲次郎ト云フ弱敵デアアルカラ私ハ悠々トシテ居タルデアアル、而已ナラズ何人モ選舉ニ關シテハ御承知デアリマセウガ、私ガ若シ落選ノ窮狀ニ陥ッテ居ルト云フコトナラバ諸君如何バカリデアアル、私ハ行方郡ノ有志ニ向ッテハ是非新候補者ノ鈴木君ニ入レテ呉レ、自分ニハ一點モ要ラヌト云フデヤッタ、又多賀久慈兩郡ノ有志ニ向ッテモ、私ハ自分ニハ一點モ入レテ呉レナイデ、新候補者ノ宮本君ニ入レテ呉レト云フコトヲ屢々言ッテ、是デ窮狀ト諸君何事デアリマセウ、此點カラ見テ私ノ此度ノ選舉ハ實ニ樂モノデアッタト云フコトハ明カデアアル、反對黨ノ大津淳一郎君デハ餘程能ク知ッテ居ラナケレバナラヌコトデアアル、諸君此ニ至ッテ私ガ諸君ニ申上ゲナケレバナラヌ、此前科者ニ向ッテ如何ニ憲政會諸君ガ其當選ヲ希望致シタカ、私ハ今此前科者ニ向ッテ憲政會諸君ノ推薦狀ヲ讀ンデ見ルノ御坐イマス、不必要ノ點ハ省キマス、貴縣下海老澤爲次郎君ハ吾々ト其政見主張同ジウシ常ニ國家ノ爲メ奮闘努力被致候ノミナラズ其人格識見眞ニ國民ノ選良タルニ愧ヂズト存候ニ付我黨本部ニ於テ議員候補者ニ公認致候間何卒同君ノ當選相成候様十分ノ御援助御盡力被成下度國家ノ爲メ切望ノ至リニ勝ヘズ候右ハ先ツ推薦旁、御依頼迄如此ニ御坐候、憲政會總裁子爵加藤高明、憲政會總務尾崎行雄、憲政會總務武富時敏、憲政會總務高田早苗、憲政會總務若槻禮次郎、憲政會顧問河野廣中、憲政會顧問箕浦勝人、憲政會顧問島田三郎、推薦狀ヲ出シタノミナラズ、島田君ハ海老澤君ノ爲ニ二箇所ノ應援演說ヲシテ居ル、又尾崎行雄君ハ如何デアアル、而モ十二日午後一時カラ午後五時マデ私ノヤッタ演說會ノ對抗演說トシテ、午後五時カラ態、水戸カラ來テ應援演說ヲシタルデアアル、尾崎君如何デアアル、君ハ本月三十日ノ當議場ニ於テ、私ハ前科者ハ推薦ヲ致シマセヌ、前科者ハ推薦シナイ、斷言シマスト云ッタガ、此有様ハ如何デアアルカ〔拍手起ル〕加之加藤高明君ハ選舉前日十九日ノ晩ニ、古河ノ有權者全部二百何名ニ電報ヲ發シテ、海老澤君ノ當選ヲ希望シテ居ルデアリマセヌカ、如何デアリマスガ、前科者前科者ト諸君ハ仰シヤルガ如何デアアルカ、自分デ此ノ如キ事ヲナシテ居リナガラ人ヲ答メタル何事デアアル、又此ニ至ッテ私ハ貴族院ノ諸君ノ後來ノ動作ヲ見ナケレバナラヌ、貴族院ノ諸君ハ前科者推薦ノ故ヲ以テ文部大臣ヲ陳謝セシメタ、自分等ノ同列ノ加藤高明子ニ此ノ如キ非違ガアリマシタ以上ハ、定メシ除名處分デモ爲サルデアアラウカト今日ヨリ興味

ヲ以テ之ヲ見テ居ルノ御坐イマス、而已ナラズ尾崎君ノ言フ所ノ前科者ト云フ所ノ松浦五兵衛君ハ如何アリマス、松浦五兵衛君ハ彼ノ過チガ無クレバ今頃ハ我黨ノ總務ニナツテ宜イ人デアル、然ルニ二回代議士ニナツテアノ謹慎ヲ致シ、御大禮ニモ參加シ而シテ勳等モ貰フテ居ル、勳等ハ誰ガ奏請シテ貰フテ居ル、即チ大隈内閣ガ奏請致シタルデアアル(何ヲ言フテ居ル)「苦シイデラウ」默レト呼フ者アリ候補ノ推薦ガ惡ルケレバ勳等ヲ賜ハル事ヲ奏請シタルハ向ホ惡イデアアル、此ノ如キ者ガハニ向ツテ前科者ヲ推薦シタルト云フコトヲ咎メルニ至ツテハ、實ニ其當ヲ得ナイ事ト信ズル、次ニ私ハ小サイ事實デアアルガ辯テ置カテレバナラヌ、ソレハ縣會議員ノ香取類作ト云フ者ガ、岩井ト仁連ト云フ處デ反對黨ノ海老澤氏ノ人身攻撃ヲ致シテ居ル、之ヲ臨監ノ警部ニ向ツテ告發フシタガ、臨監ノ警部ガ之ヲ受ケナイト云フ事ガ書イテアリマスガ全ク嘘デス、仁連ト云フ處デハ此香取類作ハ演說ヲセヌ、而シテ岩井ニ於テモ香取類作ハ吾黨ノ主張ヲ論シタガ、人身攻撃ヲ致サヌノミナラズ告發等ノ事實ハ毛頭ナイ、又此内ニ逆井猪七郎ナル者ガ私ノ事務所ト警察トノ間ノ聯絡ヲ取ツテ互ニ隠シ合ヒセテ居ルト云フコトガ書イテアリマスガ、是亦虛構ノ事實デアアル、逆井猪七郎ナル者ハ元ト猿島郡ノ出身デアアル、數年前ヨリ畫ノ大家ノ某ノ顧問ト致シテ東京ニ居リマシテ、選舉中ハ一遍モ私ノ事務所ヘ來タコトハ無イデアリマス、又沼田甚三郎ナル者ハ海老澤派ガ警察ニ向ツテ密告シタルト云フコトヲ云フタト書イテアリマスガ、決シテ是ハ沼田甚三郎ノミガ知ツテ居ルハカリデ無イ、海老澤派ガ非常ニ密告シタルト云フコトハ、海老澤派ノ事務所ノ書記長デアツタ初見新吉ナル者ガ、報告罪ヲ以テ二箇月ノ懲役ニ處セラレテ居ルニ依ツテ明カナリト信ズルノ御坐イマス、要シマスルニ議員ガ同列ノ事ヲ評論又論斷致シマスニハ深ク注意ヲ致サナケレバナラヌ、此ノ如キ誠ニ誣妄ノ事實ヲ羅列致シタルト云フコトハ、森田君ニ對シテ甚ダ不都合ナリト思フ、私ハ諸君モ定メテ御承知デ御坐イマセウガ、一昨日ノ議場ニ向ツテ尾崎君ノ身上ニ關スルコト、又安達君ノ身上ニ關スル事ノ投書ガ御坐イマシタ、而シテ此投書ニ書イテアル所ノ事實ハ多少ハ私共ガ曾テ耳ニシタ所ト似タ所モアリマスガ、吾々ハ此投書位デハ決シテ當議場ノ問題トハ致サヌ、深ク研究致シタル後ニ果シテ事實デアルト致セバ、此次ノ議會ニ諸君ニ御諮リ申ス考デ、此度ハ決シテ是程手紙ガ參ツテ居デモ之ヲ不問ニ附スル考デ御坐イマス、又最後ニ森田君ニ私ガ申ス、森田君ハ曾テ大浦内相彈劾ノ當議場ニ顯ハレタル時ニ森田君ハ何ト云フ、五月八日ノ高松ノ公判廷ニ於テ、白川友一ガ一万圓ノ金ヲ大浦子爵ニ渡シタルト云フコトヲ公判ニ明言致シタ事ヲバ、其公判ニ列席致シテ居テ森田君ハ御承知デアリナカラ、此演壇デ此ノ如キ事實ハ無イ、自分ハ列席シテ居タガ此ノ如キ事實ハ無イト明言致シテ此議場ヲ一時欺瞞セント致シタ行爲ハ、當時諸君ノ御承知ノ通りデアアル、私ハ公判始末書ヲ持ツテ居リマス、併シ長クナリマスカラ讀ミマセヌ止シマスガ、要シマスルニ議場ノ言論ト云フモノハ深ク注意ヲ致サナケレバナラヌ考ヘマス、即チ森田君ノ書イタ選舉干渉ニ關スル質問書中ノ私ニ關スル事ハ悉ク虛構デアルト云フコトヲ斷言致シテ此壇ヲ降ルノデアリマス(議長(大岡育造君) 日程第一、産業組合法中改正法律案、日程第二、北海道、拓殖銀行法中改正法律案、日程第三、日本勸業銀行法中改正法律案、日程第四、農工銀行法中改正法律案、第二讀會ヲ開キマス)

- 第一 産業組合法中改正法律案(政府提出貴族院送付) 第二讀會
- 第二 北海道拓殖銀行法中改正法律案(政府提出貴族院送付) 第二讀會
- 第三 日本勸業銀行法中改正法律案(政府提出貴族院送付) 第二讀會
- 第四 農工銀行法中改正法律案(政府提出貴族院送付) 第二讀會
- 恆松隆慶君 直ニ二讀會ヲ開カンコトヲ望ミマス
- 議長(大岡育造君) 唯今開イテ居リマス
- 恆松隆慶君 是ニハ質問カ何カアルヤウニ聞イテ居リマシタガ……
- 議長(大岡育造君) 高木益太郎君
- 高木益太郎君 政府ニ對シテ質問ガアリマス、大藏省當局者ハ出席シテ居リマスカ
- 議長(大岡育造君) 唯今貴族院ノ豫算ノ本會議議デハナイカト思ヒマス
- 高木益太郎君 ドナタモ御出デハアリマセヌカ
- 議長(大岡育造君) 次官ガ出ラレラサウデアリマス……大藏次官ガ出席ニナリマシタ
- 高木益太郎君 簡單デアリマスカラ此席デ御許シテ願ヒマス
- 議長(大岡育造君) 願クバ登壇ヲ……
- (高木益太郎君登壇)
- 高木益太郎君 農工銀行法、勸業銀行法、拓殖銀行法、産業組合法中改正法律案ニ付テ御尋ラスルデアリマスガ、大藏省ガ金融政策ノ上ニ於テ色々苦心サレテ、就中中流階級以下ニ對スル金融ヲ圓滑ニスルト云フコトデ、是等ノ法案ガ出タルデアリマスガ、從來大藏當局ノヤリ方ハ形式ニ走ラテ實質ヲ持タヌヤウナ感シテ有テ居ル、就中最モ甚シイハ農工銀行デアアル、此農工銀行ノ中ニ於テモ取締ノ不行居タルト云フコトハ、現ニ豫算ノ下ニアル東京農工銀行ノ如キ其顯著ナルモノデアリマス、此法案ノ中ニ於テ農工銀行ノ重役ガ賄賂ヲ收受シタル時ニ罰スル規定ガ無イ、ソレ故ニ本員ハ農工銀行法中ニ此處罰ノ規定ヲ設ケタイ、斯ウ云フ修正案ヲ提出致シマス、其必要ナル所以ハ現ニ御膝元ニアル所ノ農工銀行ハ如何ナル狀態デアルカ、先頃モ新聞ガ此銀行ノ事ニ付テ色々攻撃ヲ加ヘ、殊ニ最モ甚シイハ大隈内閣ノ時代デアッタデアリマス、矢張り或ル雜誌ガ東京農工銀行ニ付テ攻撃ヲ加ヘルト大隈伯ガ仲裁ヲシテ、其雜誌記者ニ向ツテ此銀行ノ重役ハ昔ハ利子ノ頭ヲ刎ネルヤウナコトヲヤツタケレドモ、今ハ止メタヤウデアルカラ、ドウウ其記事ヲ差止メテ呉レロ、斯ウ云フヤウナ調停ラシテ株主ノ一部カラ當時監視廳ヘ對シテ重役ノ横領背任等ノ事實ヲ告發シタ所ガ、監視廳警部ノ吉田小作ニ於テ嚴重ナル調査ヲシテ、其調査ガ段々進行中ニ大隈伯ノ外戚デアルト云フ二枝某ト云フ者ガ、突然農工銀行ノ株式ヲ取得シテ農工銀行ノ取締役トナツタ、其取締役トナルヤ否ヤ監視廳ニ於テハ其取調ヲ止メルコトニナツタデアリマス、然ルニ收賄瀆職ノ事實ト云フモノハ非常ニ多イデアリマス、最初銀行ニ雇ハレタル時ハ微々タル二十圓三十圓ノ行員ガ、今日ハ二百萬以上ノ資産家ニナツテ居ル、ソレハ何デアルカト言ヘバ農工銀行ナルモノハ大藏省ノ形ノ上ノ監督カラ云フト、低利資金ノ貸付ヲシテ主ト

シテ農工獎勵ノ爲ニ長期貸付ヲスルト云フコトガ表面ニテ居ル、恐ラクハ今度ノ提案モ或ハ産業組合其他ノ發達ノ爲メ、或ハ青年團體ノ預金ヲスルカ、或ハ手形ノ割引ヲスルト云フノデ、政府ハ色々中流階級以下ノ方面ニ向テ金融ヲ附ケルニ付テ苦心ヲシテ居ルヤウデアリマスガ、是ガ多ク形式ニナルノデアリス、吾々ハ此金融政策ノ上ニ於テ其根本ニ向テテアラナケレバナラス、唯斯ウ云フヤウナ便宜ヲ與ヘルト云フコトデ其實質ハドウカト云ヘバ、今一例ヲ舉ゲタヤウナモノデアリマス、ソレデ此農工銀行ハ何ヲスルカト云ヘバ、貸付ヲスルニモ當リ前ノ所ヘ貸付ケタノデハイカヌカラ、貸座敷トカ料理屋トカ云フヤウナ、直接農工ノ獎勵ニ關係ノ無イ、而モ高歩ヲ取ラレルコトヲ意トセヌモノニヤデ居ル、本當ノ農工業者ニ向テハ貸付ヲシナイ、之ニ對シテハ歩合ヲ餘計出スカドウカ……

○議長(大岡育造君) 修正ニ關係ガアリマスカ、ドウ云フ修正デアリマスカ、修正文ヲ御出シテ願ヒマス

○高木益太郎君 修正文ハ此農工銀行ノ重役ニ、收賄行為ノアッタ者ハ公吏瀆職罪ヲ以テ罰スベシト云フデアリマス

○議長(大岡育造君) 此場合誤解ノ無イヤウニ願ヒマス、二讀會デアリマスカラ修正ナラバ許シマスガ、質問ハ許サヌト云フコトヲ明カニシテ置キマス

○高木益太郎君 ソコデ政府ハ一體斯ウ云フコトニ付テドウ云フ監督權ヲ用ヒントスルノデアルカ、其實ハドウデアアルカト云ヘバ、皆中間ニ居ル所ノ重役ニ手數料ヲ拂ヒ「コンミッション」ヲ拂ヒ贈賄ヲ爲ス者ニハ貸付ヲスル、贈賄ヲセヌヤウナ者ハ断ハ

ル、而シテ農工銀行内ニハ更ニ農工貯蓄銀行ヲ拵ヘテ、農工銀行ト云フモノハ半官半民デ、農工銀行法ニ依テ監督ヲ受ケル銀行デアルカ、監督ヲ受ケナイ私立ノ農工貯蓄銀行ト云フモノニ農工銀行ノ金ヲ廻シテ、農工貯蓄ノ方ヘ行ケバ大藏大臣ノ特別監督ヲ受ケナイ、農工銀行監督官ノ監督ヲ受ケナイデアルカラシテ、此方ヘ持ッテ來ルト

利息ノ制限モ何モナシトシ、貸付ケル、農工銀行ノ金ヲ此方ヘ廻シテ其方ヘ申込ヲスレバ貸付ヲスル、其方ヘ申込ヲシナケレバ貸付ヲシナイ、斯ウ云フヤウナ現況ニ就テハ大藏當局者ハ能ク御承知デアラウト考ヘマス、大藏當局者ニ對シテハ三十株以上ノ株主ガ全體揃ッテ相當ナル申告ヲシテ居ル、然ルニ大藏省ハ何ヲシテ居ルノデスカ、大隈内閣時代ニ於テ大藏省ノ銀行課ヲ銀行局トシテ、高等官ノ役員ヲ設ケ、隨テ判任官等ノ數ヲ殖シテ、銀行ニ對スル監督ト云フモノハ十分ニシナケレバナラスト云フコトニナッ

居ル、然ルニ大藏省ノ銀行局ハ何ヲシテ居ルカ、實ニドウモ怠慢極マッタ話デアル、ソコデ三十株以上ノ株主ガ已ムヲ得ヌ之ヲ東京地方裁判所ノ檢事局ヘ告訴ヲスルト云フ、司法處分ニ依テ、初メテ今迄使込シテ何十萬圓ト云フ金ヲ提供ヲシタ、然ルニ肝腎ノ多ク銀行ノ利益ヲ食シタ行員ノ賄賂ヲ罰スル規定ガ無イ——賄賂ヲ罰スル規定ガ

無イカラシテ、檢事局ハミソ、此收賄ノ點ニ就テハ罰スルコトガ出來ナイノデアリマス、併ナカラ大藏省ノ銀行ノ監督トシテハ之ヲ嚴重ニシナケレバナラス、之ヲ嚴重ニシナケレバ、幾ラ銀行デ以テ形ノ上ニ於テ眞面目ナル此中流階級以下ノ商工業者ニ向ッテ、低利資金ノ貸付ヲシヤウト思ッテモ、其肉ヲ脇ノ方ヘ持ッテ行ッテ仕舞フヤウナ結果ヲ見ル、

是ハ現ニ大藏省ニ極ク直近シタル所ノ東京農工銀行ニ現實起ツタ事實デアル、實ニドウモ銀行局ノ無能ト云フテ宜イカ、無責任ト云フテ宜イカ、吾々ハ譯ガ分ラヌ、斯ルモノハ

國民ガ銀行局アレバコソ、多少此特殊銀行ニ向ッテ信用ヲ得テ居ルノデアルガ、洵ニ呆レ切ツタ次第デアル、ソレ故ニ吾々ハ僅カ微々タル所ノ巡查ヤ看守ノ如キ者スラモ、職務ニ關シテ賄賂ヲ收受スレバ罰スルノニ、國家カラ特別ナル保護ヲ受ケテ半官半民ノ銀行ノ當局者ガ、其職權ヲ濫用シテ職務ニ關シテ賄賂ヲ收受スル者ハ罰スル規定ヲ設ケルコトガ當然デアルト思フノデアリマスガ、之ニ對シテ修正案ヲ提出スル必要ガアルモノト認メテ茲ニ提出ヲシタノデアリマス、又之ニ對シテ政府ハ相當ナル意見ヲ持ッテ居ルコトデアラウト思フカラ、政府ノ意見ヲ御尋ラシタイノデアリマス(拍手起ル)

○政府委員(市來乙彦君) 議長

○議長(大岡育造君) 大藏次官

(政府委員 市來乙彦君登壇)

○政府委員(市來乙彦君) 唯今高木君ヨリ致シマシテ、農工銀行法ハ罰則ヲ設ケルト云フ一ノ修正案ガ提案サレマシテ御坐イマス(「高聲ニ願ヒマス」ト呼フ者アリ) 尙ホ大藏省ノ農工銀行ニ對スル監督ニ就キマシテノ御意見ガアッタノデアリマスガ、之ニ就キマシテ一言致シテ置キタイト考ヘマス、申上ケマスルマデモナク大藏省ハ各種ノ銀行ニ對シマシテ監督ノ職權ヲ有ッテ居リマスルノデアリマスガ、此監督ノ職權ガ十分ニ行渡リマスルヤウニト云フコトハ、豫テ出來ルダケ努メテ居リマスル次第御坐イマス、

唯銀行ノ數モ全國ニ亙リマシテ非常ニ多數デ御坐イマスル爲メニ、或部分ニ對シマシテ十分ニ徹底シナイ所ガアリマスルコトモ亦自然已ムヲ得ナイ狀態デアルノデアリマス、併ナガラ將來ニ向ヒマシテモ十分ニ監督ノ徹底スルヤウニ努メルト云フ方針ハ、飽迄モ維持シテ居リマスル次第御坐イマスル爲メニ、唯今高木君ノ御舉ゲニナリマシタ農工銀行竝ニ農工貯蓄銀行等ノ關係ニ於キマシテモ、監督ヲ十分ニ致シマシテ、御述ベニナリマシタヤウナ弊害ヲ除去スルコトニ努メツ、アルノデアリマス、尙ホ罰則ヲ設ケマスル點ニ就キマシテハ、是ハ農工銀行ノ重役デ御坐イマシテ、其行為ガ自然ニ刑法ノ範圍ニ

入ル場合デ御坐イマスレバ、刑法ノ適用ヲ受ケマスルコトハ勿論デ御坐イマス、刑法ノ範圍ニ入ラナイモノデ御坐イマスレバ、ソレニ對シテ農工銀行法ニ罰則ヲ設ケネバナラスカト申シマスルコトハ、マダ研究ノ餘地ガ非常ニアルト考ヘマス、政府ノ保護ヲ受ケテ居リマスル銀行其他ノ會社ニ通ジマシテ、同時ニ攻テ致シタ上ニ決定セネバナラスコトデアラウト考ヘマス、此點カラ考ヘマシテ大藏省ニ於キマシテハ、勿論十分ノ研究ヲ盡ス

デ御坐イマセウガ、併ナガラ會期ノ極メテ切迫シテ居リマスル今日ニ於キマシテ、此修正案ヲ認メマスルコトハ、全體ノ法律案ノ成立ニ少カラザル影響ガアルコトデアラウトモ考ヘマス、今日此修正案ニ同意致シマスルコトハ、政府ニ於テ出來兼ネマスルト云フコトヲ此處ニ明ニ申上ゲテ置キマス

(採決々々「ト」呼フ者アリ)

○恆松隆慶君 議長、高木君ノ修正ニハ贊成者ガアリマスカ

(贊成々々「ト」聲起ル)

○議長(大岡育造君) 問題ニハ未ダハ「ス」ヤウデス——高木君ヨリ「銀行取締役ノ收賄ニ付テハ行務員ニ關スル刑法ノ規定ヲ適用ス」斯ウ云フ修正ガ出マシタ、御贊成ガアリマスカ

(贊成々々「ト」反對「ト」呼フ者アリ)

(贊成々々「ト」反對「ト」呼フ者アリ)

(贊成々々「ト」反對「ト」呼フ者アリ)

(贊成々々「ト」反對「ト」呼フ者アリ)

○議長(大岡育造君) 賛成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

〔「少數々々」大多數「ト呼フ者アリ」〕

○議長(大岡育造君) 定規ノ賛成ハアルト認メマス

○恆松隆慶君 議長

○議長(大岡育造君) 恆松隆慶君

○恆松隆慶君 高木君ノガ少數ニナリマシタノハ甚ダ遺憾デアリマス……

○議長(大岡育造君) イヤマダノ(笑聲起ル)修正ニ關スル定規ノ賛成者ヲ求メテ其賛成者ハアッタト云フコトヲ議長ハ報告致シマシタ、此決ヲ採ルニ就キマシテハ暫ク御聽キヲ願ヒタイ、唯今ノ高木君ノ修正ハ農工銀行法中改正法律案デアリマス、ソコテ前ノ宣告ニ一括シテ決ヲ採ルヤウナ意味ニ御聽取モアッタラウト思ヒマスガ、審議ハ一括スルト云フコトヲ求メマシタケレドモ、修正ノアル部分モアリマスカラ、是ハ一法案毎ニ決ヲ採ッテ行キマス、左様御承知ヲ願ヒマス——産業組合法中改正法律案ハ、委員長ノ報告通り御異議ハアリマセヌカ

〔「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(大岡育造君) 異議ナシレバ二讀會ハ委員長報告通りニ極リマシタ

○恆松隆慶君 議長

○議長(大岡育造君) 恆松隆慶君

○恆松隆慶君 直チニ二讀會ヲ開キ二讀會ノ通り確定セラレシコトヲ望ミマス

○議長(大岡育造君) 恆松君ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ

〔「異議ナシ」異議ナシ「ト呼フ者アリ」〕

○議長(大岡育造君) 異議ナシト認メマス

産業組合法中改正法律案

第二讀會

○議長(大岡育造君) 依ッテ三讀會ニ於テハ二讀會ノ通りニ可決確定シタルコトヲ宣告致シマス、第二、北海道拓殖銀行法中改正法律案、委員長ノ報告ニ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」異議ナシ「ト呼フ者アリ」〕

○議長(大岡育造君) 異議ナシト認メマス、依ッテ……

○恆松隆慶君 ドウカ直チニ二讀會ヲ開キ是亦二讀會ノ通り決セラレシコトヲ望ミマス

○議長(大岡育造君) 三讀會ヲ開クニ御異議ハアリマセヌカ

〔「異議ナシ」異議ナシ「ト呼フ者アリ」〕

北海道拓殖銀行法中改正法律案

第二讀會

○議長(大岡育造君) 本案ニ付テモ異議ナシレバ二讀會決定ノ通りニ確定シタルコトヲ宣告スルコトニ御異議ナシモト認メマス、即チ確定ヲ宣告致シマス、日程第二、日本勸業銀行法中改正法律案二讀會——御異議ハアリマセヌカ、委員長報告通りニ

〔「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○恆松隆慶君 是モ直チニ二讀會ヲ開キ二讀會通り可決セラレシコトヲ望ミマス

○議長(大岡育造君) 恆松君ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ

〔「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(大岡育造君) 異議ナシト認メマス、仍テ直チニ二讀會ヲ開キ二讀會ノ通りニ可決スルニ御異議ハアリマセヌカ

〔「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

日本勸業銀行法中改正法律案

第三讀會

○議長(大岡育造君) 異議ナシト認メマス、仍テ可決確定致シマシタ、日程第四、農工銀行法中改正法律案、是ニハ高木君ノ修正ガアリマス、仍テ修正ヨリ決ヲ採リマス、高木君ノ修正ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

起立者 少數

○議長(大岡育造君) 少數デアリマス、否決、本案委員長ノ報告通り御異議ハアリマセヌカ

〔「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(大岡育造君) 異議ナシト認メマス

○恆松隆慶君 直チニ二讀會ヲ開キ二讀會ノ通り確定セラレシコトヲ望ム

○議長(大岡育造君) 恆松君ノ動議ニ御異議ハナシモト認メマス、仍テ直チニ第二讀會ヲ開キマス

農工銀行法中改正法律案

第三讀會

○議長(大岡育造君) 二讀會ノ通り可決ヲ宣告致シマス、御異議ハアリマセヌカ

〔「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(大岡育造君) 異議ナシレバ確定致シマシタ、日程第五、大正三年度歳入歳出總決算及各特別會計歳入歳出決算ヲ議題ト致シマス、委員長石黒瀧一郎君

第五 大正三年度歳入歳出總決算及各特別會計歳入歳出決算

〔石黒瀧一郎君登壇〕

〔拍手起ル〕

○石黒瀧一郎君 大正三年度歳入歳出總決算、大正三年度各特別會計歳入歳出決算ノ御報告ヲ致シマス、決算委員會ハ六月二十五日ヲ以テマシテ四十五名ノ委員選舉ヲ致サレマシタ、同日委員理事ノ互選ヲ致シマシタ、委員長ニハ不肖自分ガ當選ヲ致シマシタ、理事ニハ井上敬之助君、澤來太郎君、大口喜六君、鈴木富士彌君、土屋清三郎君、此五名ノ方ガ當選ニナリマシテ御坐イマス、ツレヨリ六月二十七日ヲ以テマシテ分科ノ選定主査ノ選定ヲ致シマシタ、政府ハ六月二十五日ヲ以テ總決算及(成)ベク簡單ニ願ヒマス「ト呼フ者アリ」特別會計ニ關スル決算報告書、會計検査院ノ検査書、此モノヲ提出ニナリマシテ五月二十八日ヲ以テ政府ノ辯明書ガ提出サレタデアリマス(日ハ分ッテ居マス)「ト呼フ者アリ」委員會ハ都合九回開キマシテ總會ガ五回、聯合審査會ヲ四回開キマシタ、左様致シマシテ七月十二日ヲ以テ委員會ノ審査ヲ結了致シマシタノデ御坐イマス、デ此最終ノ決議致シ

マス日ニ當リマシテ、一ノ勸議ヲ委員中ヨリ御提出ニナリマシタ、今回ハ短期ノ議會デモアリ、且ツ浩濶ナル決算アルカラシテ、此短期ノ會議ニ於テ之ヲ終了スルコトハ自カラ不十分ノ感ガアルカラシテ、審査不了ノ儘經過ヲ致シテ置キタイト云フ御主張アリマシタ、決ヲ採リマシタ所ガ十四ニ對スル十一ノ少數ヲ以テ否決ニナリマシタ、故ニ進シテ審査ヲ續行致シマシテ同日之ヲ結了スルニ至ラズ次第アリマス、其決算ノ内容ニ付キマシテハ件數モ極メテ多ク御坐イマスルシ、浩濶ニ互ツテ居ルモノデアリマスカラ、一々此處ニ御報告ヲ申上ケマセヌ、諸君ノ御手許ニ配付シテアリマスル報告書ニ依テ委シク御了解ヲ願ヒマス、唯數ノ上ニ於テ申シマスレバ不當又ハ不法ト決シタモノガ八十二件、又概ネ會計検査院ノ報告ト政府ノ辯明ヲ對照致シマシタ、會計検査院ノ報告ヲ是認致シタノ御坐イマスルガ、其内七件又ハ政府ノ辯明ヲ相當ナリ認定ヲ致シマシタ、此點モ詳細ナル理由ハ報告書中ニ記載ガアリマスカラシテ、之ニ依ツテ御承知ヲ願ヒタイト思ヒマス、此決算ノ審査以外ニ特ニ御報告ヲ致スベキ事項ガ御坐イマス、前期ノ決算委員會ニ於キマシテ、一ノ決議ガ附帶事項トシテ致サレテアルノ貸付、此モノ、處分ヲ爲シ且ツ興業銀行ノ整理ヲ爲サユニト云フ御決議ニナツテ居リマス、此御決議ノ意ニ基キマシテ政府ハ一千五百萬圓ノ勸業銀行ノ債券ニ預金部ヨリ應ズルコトニ致シテ、低利ノ貸金ハ之ヲ回收致シテ五分利付ノ債券ニ應ジタト云フコトニナツテ居リマス、隨テ從來ノ貸借關係ハ茲ニ一變致シマシテ、整理ノ途ガ附イタコトニナツテ居リマスルカラ、此事ヲ御報告ヲ致シマス、今一ツ此度決算委員會ニ於テ決議致シマシタ事項ガ御坐イマス、決議文ハ報告書ノ末尾ニ添附シテアリマスガ、念ノ爲メ茲ニ短カクモノデアリマスカラ朗讀致シマス、決議第三十七回議會ニ於テ衆議院ハ決算ノ提出ハ前々年度ノ方ニ係ルモノヲ短縮シテ前年度ニ改ムル適當ト認メ次年度ヨリ之ヲ實行セムコトヲ望ムノ決議ヲ爲シタリ然ルニ政府ハ尙之ヲ實行ヲ爲サズニ依リ前決議ヲ尊重シテ速ニ之ヲ實行セムコトヲ望ム、右決議ス「斯様ナ意味ノ決議ヲ再ヒ致シマシテ前決議ノ速ニ實行セラレンコトヲ希望致ス」次第アリマス、今一ツ是ハ政府ノ説明ヲ是認スルニ付キマシテ、希望條件トシテ申上ケテ置カナケレバナラヌコトガアルデアリマス、ソレハ會社ノ決算期ニ達シマスル以前ニ於テ、賞與金ノ名義ヲ以テ社員ニ給與ヲ致シタ際ニ、會計検査院ハ之ヲ利益ノ分配ナリト云フ意見ヲ持テ居ル、政府ハ必ズシモ利益ノ分配ニアラズ、其内容ノ事實ニ於テ之ヲ極メルト云フコトニ方針ヲ執ツテ居ル、所ガ最近ニ於キマシテ行政裁判所ノ判決ガ御坐イマシテ、稅務官吏ハ決算期以前ニ於ケル賞與ノ給與ヲ、當ニ之ヲ缺損ト見ルベキモノデアアルノミナラズ、若シ之ヲ利益ノ分配ト見做スベキ場合ニ於テハ、稅務官吏ガ決算期ニ先ツテ、是ダケノ利益ノ分配シタモノデアルト云フ立證ヲナシタル後ニアラザレバ、所得稅ヲ賦課スルコトハ出來ヌト云フ一層明確ナル判決ニナツテ居ル、ソレハ政府ノ意圖ヲ確メマシタ所ガ、政府ハ行政裁判所ノ判決ノ理由ガ明瞭ニナラヌト云フ答辯ガ御坐イマシタケレドモ、一歩進シテ之ヲ攻究致シテ見マスルト、行政裁判所ノ判決デアアルカラ、其事件限リハ彌京サレルガ、一般ノ事ハ從來ノ慣例ニ基イテ稅務官吏ノ認定ニ依ツテ課稅スルト云フ意見ト認メラレノデアリマス、是ハ一々人民ヨリ行政訴訟ヲ起シマスレバ、權利ノ回復ヲ致ス途ハ備ツテ居ルノデアリマスケレドモ、是ガ爲ニ人民ヲ煩ハスト云フコトハ甚ダ宜シクナイコトデアアルカラ、一

般ニ決算期以前ニ給與シタル賞與金ハ、之ヲ利益ノ分配ナリト見做場合ニ於テハ、稅務官吏ハ於テ之ヲ確證スベキ確證ノ存在シタル後ニアラズンバ所得稅ヲ課スベカラズト云フノ意味ヲ以テ、事務ヲ取扱ハレンコトヲ望ム次第アリマス、ソレカラ今一ツ是ハ特ニ政府ニ警告スルト云フ程ノコトデアナイカモ知レマセヌガ、速記録ニ明カニ止メテ置キタイ事項ガアルデアリマス、從來決算報告ノ中ニハ隨分官吏ノ犯罪事項ニ依リ行爲ガ見エルノ御坐イマスルガ、之ヲ既往年度ニ對照シテ見マスルト、大正三年度ニ於キマシテハ著シク官吏ノ犯罪ガ増加致シマシテ、其數實ニ二十五件ノ多キニ達シテ居ルノデアリマス、政府ニ於キマシテハ此既往ノ事實ニ鑑ミマシテ、能ク其部下ヲ戒飭シテ、斯カル犯罪ノ續出致サナイヤウニ殊ニ注意サレンコトヲ望ム次第アリマス、其他ノコトハ總テ御手許ニアリマスル報告書ニ依ツテ詳細御承知ノコトヲ希望致シマス

(拍手起ル)

○議長(大岡育造君) 高橋光威君

(高橋光威君登壇)

(拍手起ル)

○高橋光威君 唯今決算委員長石黑君ノ親切且丁寧ニシテ明瞭ナル所ノ御報告ヲ拜聽致シマシタ、決算委員會諸君ノ連日ノ勞ハ深ク之ヲ多シトスル次第デアリマスルガ、今回ノ議會ハ短期デアリマシテ、此一年間ノ使ヒ果シタ所ノ決算ヲ吾々ハ精密ニ慎重ニ審査研究スルノ暇ガ無カッタノ遺憾トスル所デアリマス、殊ニ此短期議會ニ於キマシテ、政府ヨリ相當ニ大ナル所ノ豫算ヲ提出セラレ、又豫算ニ關聯シタル法律案ヲ提出セラレマシテ、決算委員會ニ於キマシテハ政府當局者ニ説明ヲ要スル所ノ案件モ種々アリマシタナレドモ、或ハ豫算委員會デアルトカ、或ハ豫算ニ關聯スル所ノ法律案ノ委員會ニ出席シテ居ルノ故ヲ以テ、政府ノ重ナル所ノ説明ニ當ル人ガ免角出席ヲ致シ兼ネタノデアリマス、從テ吾々ハ之ヲ慎重ニ精密ニ政府當局者ト検査研究スルコトヲ致スコトガ出來ナカッタノハ、呉モ遺憾トスル所デアリマシテ、願クハ此決算ハ其審査ヲ慎重ニスルノ意味ヲ以チマシテ、之ヲ再審査ニ付スルノ決定ヲ與ヘラレムコトヲ希望致シマス、此大正三年度ノ決算ニハ尙會計検査院ノ審査確定ヲ經ザルモノガ餘程アリマス、殊ニ唯今決算委員長ノ報告ニアリマシタ如ク、官吏ノ犯罪ニ依ル所ノ失態ガ數多アリマシテ、是ハ政府ト共ニ十分ノ研究ヲ致シマシテ、前キノ政治家ヲ懲戒シ後ノ政治家ヲ戒メルノ意味ニ於キマシテ、此點ヲ十分ニ研究スルノ必要ガアルト思フ、尙百四十萬圓ニ上ル所ノ會計検査院ノ検査未確定ノモノガ、此會計検査院ノ報告ト共ニ議會ニ出テ居リマス、是ハ憲法ノ法規ニモ確定ヲ致シテ議會ニ提出スベキモノデアアルノニ、未確定ノモノガアリマスカラ、其内容ハ先例ノ有無ニ拘ラズ、其内容ヲ吾々ハ十分ニ研究スルノ必要アルト思ヒマス(無用ト呼フ者アリ)故ニ此決算ヲ重ニスルノ意味ヲ以テチマシテ、再審査ニ付スルノ決定ヲ與ヘラレンコトヲ希望致シマス、是ハ勸議トシテ提出致シマス(拍手スル者アリ)

○議長(大岡育造君) 川崎安之助君

(川崎安之助君登壇)

(拍手スル者アリ)

○川崎安之助君 私ハ決算委員長ノ報告ニ贊成スル者デアリマス、決算委員會ノ經

過ハ前二委員長ヨリ述ベラレタ如ク、極メテ親切ニ丁寧ニ審査ヲ致シテノデアリマス、而シテ唯今之ニ對シテ再審査ノ發議ヲサレタ所ノ高橋光威君モ、決算委員ノ一人デアッタノデアリマス、而シテ同君ハ僅ニ私ノ記憶スル所ニ依リマス、三四回位ヨリ御出席ガ無カッタウデアリマス（拍手スル者アリ）而シテ其出席ノ時間モ僅々二十分カ三十分ノ間デアッタ、第一回ニ於テハ「モデル」ノ備入ノ質問ヲサレテ吾々ノ眠氣ヲ覺サレタコトガアリマス（笑聲起ル）其次ニ於テハ本月十一日ノ決算委員會ニ於キマシテ、既ニ質問ヲ終ッテ討論ノ半パニ於テ、高橋君ハ斯様ノ説ヲ出サレタノデアリマス、ツレハ唯今モ終リニ於テ述ベラレタ所ノ憲法上ノ議論デアリマス、即チ憲法ノ第七十二條ニ於テハ國家ノ歳入歳出ハ會計検査院ガ檢定確定シテ政府ニ報告スル、政府ハ其報告ト共ニ検査書ヲ添エテ議院ニ提出シナケレバナラス、即チ決算ト云フモノハ不可分ノモノデアアル、然ルニ本年度ノ決算ニ於テハ百二十萬圓以上ノ未確定ノモノガアルカラ、是ハ憲法ノ七十二條ニ違反スベキ所ノ問題デアアルカラ、議事ヲ中止シヤウト云フヤウナ御名論が出タノデアリマス、而シテ其議論ヲ確實ニスル爲ニ、拙者ハ唯今貴族院ノ或法律家ニ聞イテ來タ、確ニ憲法上由々敷キ所ノ大問題デアルト云フコトモ言ウテ居ラレマシタ、然ルニ吾々ハ高橋君ニ敬意ヲ表シテ此御議論ヲ默殺ヲ致シテノデアリマス（拍手スル者アリ）サウシテ其當日ハツレ限リテ既ニ正午ニ垂ストスル爲ニ、當日ノ委員會ヲ終リマシタ、所ガ其翌日ニ至ッテ高橋君ハ又憲法論ヲ振廻ハサレタコトデアルト思ッテ居リマシタ所ガ、此度ハ憲法論ハ御止メニナッタノデアリマス、而シテ唯今述ベラレタ所ノ此臨時議會ハ誠ニ短期デアアルカラ十分ニ審査ガ出來ナイ、故ニ審査ヲ止メヤウデアナイカト云フ御議論デアリマシタノデアリマス、私共ハ想フニ短期ト云フコトハ固ヨリ分ッテ居リ、此議會ハ二十一日間ノ會期ト云フコトハ吾々召集ノ時カラ知ッテ居ルノデアアル、故ニ吾々——高橋君ヲ除ク以外ノ委員ハ其積リヲ以テ十分ニ努力シテヤッタノデアリマス、假ニ高橋君ノ言ハレタ如ク此議會ガ短期デアルト致シマシテモ、豫算ト決算トハ何方ガ重イデアルカ、衆議院ノ規則ニ依リマシテモ決算ヨリ豫算ヲ重ク見テ居リマス（ノウ／＼）故ニ此豫算ニ於テハ六十三名ト云フ委員ヲ置イテ居ルノデアアル、決算ハ四十五名ノ委員シカ置イテナイ、是カラ見テモ（性質ガ重イノダ）ト呼フ者アリ）性質ガ重イノデアナイ、審査ニ於テ何方ガ手數ガ掛ルカ、何方ガ簡略デアアルカト云フコトヲ斟酌シテ多數ノ委員ヲ置イテ居ルノデアアル、而シテ其豫算ハドウデアアルカ、二十一日間ニ衆議院ハ之ヲ結了セナケレバナラヌト云フコトニナッテ居ルデアナイカ、豫算ヲ二十一日間ニ結了スル所ノ能力ノアル議員デアアルナラバ、決算ヲ二十一日間ニ審査スベキ筈デアアルデアナイカ、總テ審査ト云フコトハ時間ガヤルモノデアナイ、人ガヤルノデアアル、苟モ議員タル人間ガ十分ニ精力ヲ盡シタナラバ是位ノコトハ何デモナイコトデアアル、殊ニ議員ト云フモノハ召集ヲ受ケテ此議會ニ來テ始メテ研究調査スベキ所ノモノデアナイ、吾々議員トシテハ假令召集ヲ受ケナイ時ト雖モ、常ニ其才能ニ於テ總テノ事ヲ研究調査シナケレバナラス所ノモノデアアル、常ニ其用意ガアッタナラバ、何時問題ニ逢著スルモノヲ解決スルコトハ立所ニ決スルノデアアル、高橋君ノ如ク永ラク議員ヲシテ居ラレ、又多年官界ニ遊泳シテ居ッタ所ノ經驗アル人ガ、二十一日間掛ッテ此決算ヲ十分ニ審査ガ出來ナイト云ハレヤウナコトハ、吾々ハ高橋君ニ對シテ大ニ敬意ヲ表スル譯ニ參ラヌデアリマス、詰リ高橋君以外ノ委員ニ於テハ十分ニ之ヲ審査シテ居ルノデアリマス、殊ニ政友會カラ出テ居ラレル所ノ山

口恆太郎君ノ如キハ、殊ニ熱心ニ審査ヲセラレタノデアリマス、サウシテ其各條項ノ意見ニ付テモ吾々ハ會計検査院ノ意見ヲ參贊スルニ拘ラズ、山口君ハ政府ノ辯明ヲ諒トサレタヤウナ議論ヲ常ニ吐イテ居ラレタノデアアル、政友會ノ中ニモ斯ノ如キ熱心ナル議員ガ有ッタノデアアル、然ルニ自分ノ黨派カラ出シテ居ッテ斯ノ如ク熱心ニ調ベタ所ノ委員ノ努力ヲ犧牲トナシテマデモ、他ノ熱心ナル委員長若クハ其他ノ者ヲ不信任ノヤウナ再審査ノ決議ヲスルト云フコトハ、何タル暴狀デアリマス、吾々ハ此ノ如キ不條理ナル再審査ノ決議ニ贊成スルコトハ出來ナイノデアリマス、故ニ一言反對ノ意思ヲ表明シマス（拍手スル者アリ）

○議長（大岡育造君） 此場合前例モアリマスカラ發議者ニ質疑ヲ請ヒタイト云フ申出ガアリマスノデ、之ヲ許シマス——鈴置倉次郎君

○鈴置倉次郎君 私ハ簡單デアリマスカラ此席カラ申シマス（「登壇々々」ト呼フ者アリ）

○議長（大岡育造君） 宜シウ御坐イマス

○鈴置倉次郎君 高橋君ノ御説ハ如何ニモ御尤ト考ヘマスガ、是ハ法律上不可能ノ事カト考ヘルノデアリマス、總テノ衆議院ニ提出セラレタル、否臨時議會ニ提出セラレタル案件ハ、決シテ之ヲ次期ノ議會ニ繼續スベキモノデアナイ、此議會中ニ之ヲ結了セズシテ何等ノ決定ヲ與ヘナイト云フコトニナレバ、此議會ハ終ッテ仕舞フデアアル、故ニ如何ナル方法ニ依テ之ヲ審査スルノデアアルカ、具體的ニ御説明ヲ願ヒタイノデアリマス

○高橋光威君 唯今鈴置君ヨリ御質問デアリマシタガ、政府ハ之ヲ議會ニ提出スベシトアリマスカラ提出スルノデアリマス、併ナガラ議會ハ其權能ヲ以テ來ルベキ議會ニ於テ之ヲ更ニ再審査スルニ於テ毫モ差支ナイノデアリマス（ヒヤ／＼）是ハ前例モアルコトデアリマスカラ差支ナイノデアリマス（先例ハナイ）先例ハ審査未了ノ場合デアルトト呼ビ其他發言スル者多シ

○議長（大岡育造君） 靜肅ニ願ヒマス——鈴置君登壇ヲ願ヒマス

○大口喜八君 議長々々

○議長（大岡育造君） 鈴置君ノ質問ヲ一寸終ヘサセマス

（鈴置倉次郎君登壇）

○鈴置倉次郎君 我先刻申上ゲマシタ如ク、高橋君ノ御希望ニハ無論賛成ヲ致シマス者デアリマシテ、慎重審議ヲ望ム者デアリマスガ、併シ奈何セシ規則ノ上カラ到底出來ナイコトデアルト云フコトヲ御尋致シマシタラバ、前例ガアルト云フコトデアリマシタガ、是ハ前例ガ無いノデアリマス（前例ハアリマス）ト呼フ者アリ）我國ノ決算ノ制定ト云フモノハ、政府ハ決シテ議會ニ向ッテ承諾ヲ求ムルモノデモナク、又責任解除ヲ求メルモノデアナイノデアリマス、故ニ……

○議長（大岡育造君） 議論ハ許シマセヌ、質問ダケニ願ヒマス

○鈴置倉次郎君 故ニ一度議會ニ提出致シマスレバ再ビ出スコトハ出來ナイノデアリマス、故ニ若シ此議會ニ於テ何等カノ意思ヲ表明セズンバ、再ビ之ヲ議スルト云フコトハ絕對ニ不可能デアアル、現ニ憲法ニ明ニ明文ガアル（若シ認定ガ無ケレバドウスル）ト呼フ者アリ）認定ハ必要ハ無いノデアリマス（ノウ／＼）ト呼フ者アリ）我國ノ決算制度ヲ御

承知ガナカラ、サウ云フ事ヲ仰シヤルノデアリマス、認定スベキモノデナイ

○議長(大岡育造君) 議論ハ許シマセヌ

○鈴置倉次郎君 法律ノ上ニハ決算ヲ認定スルトカ、或ハ可否ヲ決スルトカ云フコトハ無イノデアリマス、是ハ私ハ制度ノ上カラ缺點アルト信ジテ居ルノデアリマスガ、我國ノ憲法ニ於キマスレバ唯議會ニ報告スレバ宜シイノデアリマシテ、報告ノ受放ニシテモ一向差支ナイノデアリマス、是ハ立憲國ト致シマシテ法律ノ不備デアリマスガ、現行制度ニ於キマシテハ唯規則ノ上ニハ何モナイ、唯議院規則ニ於キマシテ決算委員ヲ置クト云フコトガアルデケデ、決算委員ガ……(此時發言スル者多ク)議長議場ノ整理ヲスベシト呼フ者アリ何等ノ結果ヲ生ジナイノデアリマス

○議長(大岡育造君) 鈴置君ニハ質問ヲ許シテ居リマス、討論ハ既ニ通告順ガアリマス、質問ノ趣旨ヲ失ハナイヤウニ願ヒマス

○鈴置倉次郎君 前申シマス如ク、決算ニ付キマシテハ何等決定ヲ與フベキ規則ハ無イ、唯決算委員ヲ設クルト云フコトガ議院規則ニアルデケノ話デアリマシテ、憲法並ニ會計法議院法ノ中ニモ何モ規定ニ無イノデアリマス、故ニ之ヲ不問ニ附シマスレバ、此三年度ノ決算ト云フモノハ其儘消滅シテ仕舞ウノデアリマス、私ハ幾ラカ會計検査ニ付テハ經驗ヲ有テ居リマスカラ分ラヌコトハナイノデアリマス(笑聲起リ)「ソナナ分ラヌヤハ無イ」ト呼フ者アリ前申シタ如ク帝國議會ハ有ル案件ト云フモノヲ次期議會ニ繼續スルコトハ出來ナイト云フコトハ、明ニ規則ノ中ニ書イテアル(是ハ議院法ニ書イテアル)(何ヲ言フテ居ル)ト呼フ者アリ故ニ如何ナル方法ヲ以テ次ノ議會ニ於テ之ヲ御審査ニナルカ、政府ハ無論提出スルコトハ出來ナイ、議會ハ決算ヲ提出スルコトハ出來ナイ、然ラバ何ニ依テ依テ決算委員ハ決算ヲ御審査ニナルカト云フコトヲ御尋シタノデアリマス、御答ガ甚ダ明瞭ヲ缺イテ居リマスカラ、更ニ此點ハ我國ノ決算制度ニ於テ最モ必要ナ事デアリマスカラ、明ニ御答ヲ願ヒタイノデアリマス(拍手起リ)「答辯無用」ト呼フ者アリ

○高橋光威君 答辯ノ必要ナシ

○議長(大岡育造君) 大口喜六君

〔辯ガ出來ナイカ〕「ソナナ事ハ二ツ兒デモ分ッテ居ル」ト呼フ者アリ

〔大口喜六君登壇〕

〔拍手起ル〕

○大口喜六君 私ハ高橋君ノ說ニ贊成ヲ表スル者デアリマス、聊カ其理由ヲ申述ベタイト思フノデアリマス(議長討論デスカ)ト呼フ者アリ

○議長(大岡育造君) 討論デス

○大口喜六君 先刻既ニ私ハ通告ガ致シテアリマシテ、其通告順ニ依ッテ唯今議長ノ許可ヲ得タノデアリマス(「サウデスカ」ト呼フ者アリ笑聲起ル)先刻川崎君ハ高橋君ニ對シマシテ出席回數ガ少カッタト云フガ如キ御話デアッタノデアリマスガ、私ハ不肖ナガラ此委員ニ選バレマシテ、最初ヨリ終リニ至ルマデ一回モ缺席ヲ致サナゲト自ラ信ズル者デアリマス、而シテ私ガ此決算ノ委員トシテ初メヨリ考ヘマシタル事ハ、如何様ナルコトアルカト云ヒマスレバ、凡ソ此會計検査院ガ國家ノ財政ニ對シマシテ、検査ヲ致シ

マスルコトハ多クハ法規ニ據ルコトデアリマシテ、是ハ或ハ法規ニ背イテハ居ラナイノデアラウカ、違法デハナカラウカト云フ點ニ付テ會計検査院ハ極メテ重キヲ置イテ調べテ居リマス、ソレ故ニ會計検査院ノ検査ナルモノハ極メテ微ニ入り細ニ互ッテ居リマスガ、吾々ハ其外ニ更ニ政府ノ決算ニ對シテハ調査セザルヲ得ザルヲ認メテ居ル點ガアルノデアリマス(拍手スル者アリ)即チ會計検査院ノ検査ノ如キハ極メテ必要ナ事デアリマス、併ナガラ吾々此國家ノ財政ヲヤル者カラ見マスレバ、左様ナル細カナ事ヨリモ尙ホ一方ニ於テ剩餘金ノ運用デアルト云フガ如キ大ナル問題ニ對シテ、即チ國家財政ノ運用ノ基礎ヲ研究スル必要ガ茲ニ在ルト私共ハ信ズルノデアリマス(拍手スル者アリ)然ルニ今回ハ甚ダ期間ガ短クアリマシタガ爲ニ、斯様ナル事マデ研究ガ出來ルヤ否ヤト云フコトハ、最初ヨリ疑問トシタノデアリマス、現ニ憲政會ノ横田孝史君ノ如キハ、私ト全ク同ジ意味ヲ以テ、大藏大臣ノ出席ヲ求メラレタノデアアル、然ルニ大藏大臣ハ豫算會議ニ臨マル、ガ爲ニ非常ナ繁忙デアルト云フノデ、圓滿ニ此會ニ顔ヲ出サレコトガ出來ナゲ、ソレ故ニ吾々モ亦大藏大臣ニ問ハント欲スル事ガ十分ニ出來ナイ、斯ノ如クシテ進行スル間ニ石黒委員長ノ御考ニ依リマシテ、先ア此會計検査院ノ検査ノ報告ニ對シテ先キニ研究シテ見ヤウデハナイカ、行ケル所マデ行ッテ見ヤウデハナイカト云フ、熱誠ナル御言葉デアッタ、吾々モ議會ハ甚ダ短期デアツテ、吾々ガ信ズルマデノ研究ガ出來ルヤ否ヤハ問題デアルケレドモ、免ニ角吾々委員トシテハ出來得ル限リハ眞面目ニ熱心ニ進ム所マデ進ンデ見ナクテハナラヌト信ジタガ故ニ、吾々ハ時間ニ於テハ據ナク他ノ委員會ト衝突ヲシタガ爲ニ缺席ヲ致シタコトガアッタカハ知レナイガ、同數ニ於テハ一回モ缺席スルコトナク、吾々ハ熱心以テ之ヲ研究シタト自ラ信ジテ居ルノデアリマス(拍手起ル)然ルニ之ヲ漸次進メテ行ッテ結果、議會ノ會期將ニ終ラントスルニ方ッテ、漸ク會計検査院ニ對スルノ審査ガ出來ヤウカドウデアラウカト云フ所マデ達著ラシタ、併ナガラ此會計検査院ノ報告中デ最モ非難ヲ加ヘラレテ居リ、又吾々ガ極メテ慎重ナル意味ヲ以テ熱心ニ審査ヲ致シタイト考ヘタル事ハ、多クハ植民地ノ問題デアリマス、然ルニ此植民地ノ問題ノ一部分ハ報告ニナッテ居ルケレドモ、或一部分ハマダ報告ニナッテ居ナイ、是ハ高橋君ノ先刻述べラレタガ如クデアリマス、故ニ折角吾々ハ國家財政上極メテ注意ヲ拂ッテ此決算報告ヲ調べタイト思フ、其植民地ノ問題ガ半ハ提出サレテ居ルガ、半ハ未ダ検査未了デアルカラ、何ガ故ニ斯ノ如キ事ガアルカト云フコトヲ當局ニ尋ネタ所ガ、當局者ノ答ハ植民地ハ如何ニモ里數ガ遠イノデアルガ故ニ、往復スル間ニ斯ノ如キ遲延ヲ來シテ、ソレガ爲ニ遺憾ナガラ半分バカリ——半分ト云フ程デモナイデアリマセヌガ、一部分ハ此處ニ提出ガ出來ナイ、斯様ナ言明ヲ得タノデアリマス、事此ニ至リマシテハ吾々極メテ慎重ニ検査ヲシテ見ヤウト思フ所ノ植民地ノ問題ヲウシテ研究スルノデスカ、是ハ極メテ吾々ガ考ヘネバナラヌト思フノデアリマス、殊ニ會計検査院デケノ問題ガ検査サレタ所ガ、吾々ノ權能ト云フモノハ全體ノ決算ニ向ッテ之ヲ審査シナケレバナラヌモノデアアル、又吾々議員ノ職責ト云フモノハ、獨リ會計検査院ナル一ノ機關ガ検査シタカラト云ツテ、是ノミ重キヲ置イテ、其決算デケラ審査スレバソレデ宜イト云フガ如キ事ヲ云ツテ満足シテ居ッデハ、決シテ此議院ノ權能ヲ十分ニ發揮シタモノデハナイト考ヘルノデアリマス(拍手起ル)ソレ故ニ吾々ハ此問題ニ對シテハ十分ニ審議ヲ重ネタイ、此審議ヲ重ネルニ付テハ唯今ノ質問サレタ所ノ鈴置倉次郎君ノ如キモ、之ニ贊成デアルト此演壇デ言

ハレタ、即チ慎重ニ審議スルコト云フコトハ、決シテ諸君ニ於テ御一人デモ御異論ノ無イコトアラウト私共思フデアリマス、然ラバ此決算ヲ今同承認ヲ與ヘズ、又或ハ不承認ノ議決モシナイデ此儘打ッダナラバ、唯今鈴置君ノ言ハレル如キ結果ニ終ルデアラウカドウデアルカ、是ガ一ツ研究スベキ問題デアル、之ニ對シテ鈴木君ハ本院ニ於テ前例無シト明言サレタデアリガ、本員ハ明カニ前例ガアルト信ズル、即チ此處ニ衆議院カラ出サレタ先例彙纂ヲ持ッテ居リマスガ、此中ニ於テ的確ナ前例ガアリマスカラ鈴置君ニ向ッテ之ヲ説明シタイト思フ(「ヒヤ」)「前例ナシ」ト呼フ者アリ、是カラ讀ミマスカラ能ク御聽取ヲ願ヒマス、或ハ鈴置君ガ昔會計検査院ニ居ラレタ頃ノ事デモ思ッテ居ラル、ノデハ無カラウカト思フデアリマス、第十二回ノ帝國議會ニ於キマシテ、明治三十二年二月二十八日安川繁成君外二名ヨリ決算審査ニ關スル決議案ヲ本院へ提出サレテ居リマス、是ハ委員付託ニナリマシテ、同年二月二日ノ會議ニ於テ委員付託ニナリマシテ、其月八日ノ繼續會ニ於テ可決シテ居リマス、其時ノ本院ノ決議文ハ如何デアリマスカ、茲ニ朗讀ヲシテ見ヤウト思ヒマス、本院ニ於テ解散其他ノ事故ニ依リ歲入歳出決算ノ審査ヲ終了スル能ハザリシ時ハ、其年度ノ如何ニ拘ラス、其未了ニ係ル決算ヲ審査スベキモノトス(拍手起ル)斯ノ如ク決議シテ居リマス、尙ホ之ニ對スル例ガアリマス、明治四十四年度ノ歳入歳出決算ヲ議スル場合ニ當リマシテ、唯今ノハ一寸誤リマシタ、第三十五回帝國議會大正三年十二月五日ニ議長奥繁三郎君ハ、議場ニ向ッテ斯ノ如ク注意シテ居リマス、決算委員諸君ニ一言致シマスガ、第三十一回議會ニ提出サレマシタ明治四十四年度歳入歳出決算ノ審査ガ未了ノ儘ニ相成ッテ居リマス、是ハ前例ニ依リマシテ、前例ニ依リマシテ此際審査ニ著手セラレムコトヲ望ミマス(拍手起ル)斯ウ云フコトヲ審査シテ居ラレマス、其時ニ際シマシテハ何等ノ議論モ無カッタ私ハ信ズルデアリマス、或ハ斯ノ如ク論ジマシタナラバ、ソレハ解散ノ場合デアルトカ、或ハ停會ニナッタ儘議會ガ終ッテ仕舞ッダデアルカラ已ムヲ得ザル場合デアル、斯様ニ論ゼラレル人ガアルカモ知レマセヌ、所ガ之ニ對シテ反對スベキ前例ガ有ルデアリマス、是モ申述ベテ見マス(拍手起ル)即チ成程此帝國議會ニ於テ審査未了ノ場合ハデス、ソレハ議會ガ停會ニナッタ已ムヲ得ザル場合、又ハ解散ニナッタ場合デアッタニ相違ナイ、併ナガラ其次ノ臨時議會ニ於テ短期デアッテ、期間ガ短クアッテ、期日切迫ノ爲メニ審査ノ出來ナカッタコトハ度ミアル、或時ニハ越エテ越エテ又越エテ四ツ目ノ議會ニ於テ先ノ決算ヲ審査シタ場合ガアルデアル(拍手起ル)斯ノ如キ場合ハ即チ今回ノ如キ理窟ニ當ルベキモノデアルト云フコトヲ本員ハ信ジテ疑ハナイデアリマス、斯カル點ヨリ今回ニ於テ決算ヲ未了ノ儘過シテ、更ニ次回ニ於テ本院ハ、本院ノ權能ニ依ッテ之ヲ審査スルト云フコトハ決シテ差支ナイデアリマス、左様ニ信ジマスルガ故ニ、吾々ハ此際國家財政ノ基礎ヲ鞏固ニスル意味ニ於テ、決算ヲ慎重ニスル意味ニ於テ、茲ニ高橋君ニ贊成ノ意ヲ表スル者デアリマス(拍手起ル)

○恆松隆慶君 討論終結ノ動議ヲ提出致シマス、論旨盡キタリ

○議長(大岡育造君) 恆松君ヨリ討論終結ノ動議ガ出マシタ

(「贊成々々」ト呼フ者アリ)

○議長(大岡育造君) 贊成多數ト認メマス、依テ討論ハ終結ニナリマシタ、決ハ高橋君ノ動議ニ贊成ノ諸君カラ採リマス、委員長ノ報告ニ反對シタル高橋光威君提出ノ

動議ヲ議題ニシテ決ヲ採ルモノト御承知ヲ願ヒマス、大正三年度決算ヲ再審査ニ付スベシ、是レガ唯今御聽キノ通り大口喜六君ノ贊成ガアッテ動議ハ成立シテ居リマス、乃チ高橋光威君ノ動議ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

起立者 大多數

○議長(大岡育造君) 大多數デアリマス

(拍手起ル)

○議長(大岡育造君) 高橋光威君ノ動議ガ可決シマシタ、依テ委員長ノ報告ハ是認セラレザルコトニナリマシタ、日程第六、第七、第八、第九ハ同一委員ニ付託シ且ツ同種ノ議案ナルニ依リ一括議題ト爲シ、委員長ノ報告ヲ受クルニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(大岡育造君) 御異議ナシト認メマス、唯今委員長ノ報告ヲ聽キマス、此四案ヲ綜合シテ一ツノ建議案ガ現レマシタデアリマスカラ、此場合委員長ノ報告ヲ議題トスル譯ニナリマス、委員長床次竹二郎君

- 第六 市町村立小學校費國庫補助法案 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第七 市町村教育費國庫補助ニ關スル建議案(原 敬君外七名提出) (委員長報告)
- 第八 義務教育費國庫補助ニ關スル建議案(西村 丹治郎君外二名提出) (委員長報告)
- 第九 小學校教員俸給國庫補助ニ關スル建議案 (委員長報告)

(床次竹二郎君登壇)

○床次竹二郎君 御報告ヲ致シマス、委員ニ付託ニナリマシタノハ建議案三件法律案一件、合セテ四件デアリマス、此四案ヲ調査致シマスルニ、其主眼トスル所ハ、何レモ目下我國ノ市町村ノ財政狀態ニ鑑ミマシテ、其負擔ノ輕減緩和ヲ圖ルコトガ急務デアル、併セテ教育ノ改善ヲ圖ルコトガ亦最モ必要デアル、ソレ故ニ國庫ノ補助ヲ必要トスルデアル、斯ウ云フデアリマス、而シテ委員ニ於テハ内閣總理大臣、文部大臣、大藏大臣ノ出席ヲ求メマシテ政府ト交渉ヲ致シマシタ、政府ニ於テモ國庫補助ノ必要ヲ認メテ居ル、而シテ次期ノ議會ニハ必ズ提案ヲ致ス、出來ルケケ盡力ヲスルガ、唯其金額ノ點ニ於テハ今日言明致シ兼ねルト、斯ウ云フコトデアリマシタ、ソレ故ニ委員會ニ於テハ此四案ヲ一括シテ一ツノ成案ヲ作ルハ最モ適當デアルト考ヘマシテ、唯今御手許ニ過ッテ居リマスル通り、市町村義務教育費國庫補助ニ關スル建議案ト云フノヲ作製致シタデアリマス、是ガ委員會ニ於テ多數ニ依ッテ可決致サレマシタ、此建議案ニ對シマシテ憲政會側ノ諸君ヨリ、若シ此建議案ヲ案文ハ其儘デ宜シイガ、決議案ニ改メラレナラバ吾々モ全部贊成スルコトニ致シタイガ、ドウデアルカト云フ御論ガ出タデアリマシタ、併ナガラ政府モ既ニ其必要ヲ認メ、吾々モ感ラ同ウシテ居ル以上、今日之ヲ決議案ト致スヨリハ、建議案ト致ス方ガ當ヲ得タモノデアルト云フノガ多數ノ論デアリマシ

10

迄カ同シク御多分ニ洩レズ成案ヲ提出シタノデアリマス、是ハ誠ニ教育ノタメ自治團體ノタメ國家ノタメ私ハ欣幸指カサル次第デアリマス、就キマシテハ最早今日ハ一黨一派ノ議論デハナクシテ、全院一致ノ問題デアル、否満天下ノ一致シテ問題デアリマスガ故ニ、今日此席ニ於テ論議ヲスルコトヲ私ハ好マヌデアリマス、故ニ委員會ニ於キマシテモ吾々調停ノ勞ヲ執リ、ドウカ憲政會ノ諸君ニモ法律案ヲ撤回シテ、御互ニ全院一致ヲ建議案ヲ通サウデアハナイカト云フ交渉ヲ致シタノデアリマス、又政府ニ於キマシテモ唯今委員長ヨリ御報告ニナリマシテ通り總理大臣、大藏大臣、文部大臣、三共共吾々ノ意ノ在ル所ヲ諒セラレ、次期ノ議會ニ於テハ相當ノ提案ヲ提出スル、而シテ其金額ニ於キマシテモ成ベク多ク出スコトヲ努メルト云フコトノ聲明ヲサレタノデアリマス、斯クナル以上ハ無理ニ此場合ニ於テ法律案ヲ出シテ置カヌデモ建議案デ宜イデアハナイカト云ウテ交渉ヲ致シマシタガ、不幸ニシテ其ノ相談カ纏ラズ、憲政會ノ諸君ハ飽マデ此法律案ヲ維持サレタノデアリマス、私ハ憲政會ノ諸君ガナゼ法律案ヲサウ固執サレルカト云フコトヲ段々伺ヒ見マスルト云フト、唯今大津君カラ御説明ニナリマシテ通り、政府ノ言フ事ハ當ニナラナイ、又假ニヤルニシテモ吾々ノ希望スル程ノ金額ハ到底提出スルコトハ出來ナイ、ソレデカラシテ吾々ハ衆議院ノ權能ニ依ッテ茲ニ法律ヲ通過サセテ置イテ、政府ニ無理無體デモ強イテヤラセルノデアル、斯ウ云フ御議論デアル、所ガ諸君此問題ハ極メテ簡單ナヤウデアリマスルケレドモ、之ヲ實行致シマスルニハ餘程考慮スルノデアリマス、即チ全國ノ自治團體小學校、總テノ教育行政ニ互ッテノ問題デアリマスガ故ニ、法律ハ簡單ニ出來ルカ知レマセウガ、之ヲ施行スルニ於キマシテハ之ニ伴フ勅令ニ關シテ餘程慎重ナル調査ヲ致サナケレバナラヌデアリマス、吾々ノモ相當ナル成案ヲ胸ニ持ッテ居リマスケレドモ、政府ガ既ニ吾々ノ希望ヲ容レテ次ノ議會ニ於テ之ヲ提案スルト云フ以上ハ、政府ノ相當ナル機關ヲ與ヘテ調査ニ任セテ、徐ロニ計ヲ致サセル方ガ却テ便利デアナイカト私ハ思フノデアリマス、憲政會ノ諸君ハ去ル十日ノ議場ニ於キマシテ、東洋拓殖會社法中改正法律案ガ出マシタ時分ニ、斯ノ如キ法律案ヲ此短期ノ議會ニ提出スルコトハイカスト云フテ政府ヲ攻撃サレタノデアリマス、所ガ東洋拓殖會社ノ改正ト云フモノハ主タル題目ハ唯滿洲ニ向ッテ金融機關ヲ發達セシメル、是デケノ一問題デアル、此一問題ノ改正サヘモ憲政會ノ諸君ハ此短期ノ特別議會ニ議スベキモノデアナイト云ウテ反對ヲサレタノデアリマス（脱線ト呼フ者アリ）脱線デアリマセウ、然ルニ此日本ノ帝國始メ以來始メテ試ミル所、而シテ國家全般ニ互ル所ノ重大ナル問題ニ對シテ此法律案ヲ今日之ヲ議セナケレバナラヌト云フコトハ、如何ニモ前後矛盾デアナイカト私ハ思フ、ソレカラ吾々ガ昨年頃此問題ヲ提唱致シマシタ時分ニ、其當時ノ憲政會ノ内閣ニ於キマシテハ、當局ノ人ハハツンナコトハ出來ナイ、誠ニ仕事ハ結構デアルガ財源ヲ如何セントスルカト武富君ナドモ言ハレタト私ハ思ヒマスノミナラズ、最近ノ總選舉ノ際ニ於キマシテモ、全國到處ノ縣ニ於テ私モ聞キマシタガ、關東地方近畿地方ニ於キマシテハ、政友會ハ斯ノ如キ不可能ノ問題ヲ持ッテ來テ順長ノ農民ヲ欺クト云フテ其事ヲ攻撃シタノデアリマス（神奈川縣デハモ其事ヲ言ッテ歩イタト呼フ者アリ）ソレ程諸君ガ不可能ナリト信ジテ居タモノモ、此短期ノ議會ニ是非法律案トシテ通過サセナケレバナラヌト云フコトヲ言ハレノハ、私ハ寧ロ其誠意ヲ疑ハザルヲ得ヌデアリマス（拍手起ル）斯ノ如キ過去ノ歴史ハ免モ角、若シ此法律案其モノガ非常ニ能ク出來テ居ルナラバ、私共贊成シテ宜シ

イノデアリマスケレドモ、此法律案タルヤ誠ニ一見シテ見マスルト、杜撰極マルモノデアリマス（拍手起ル）第一ニ唯今大津君ハ此法律案ニ依ッテ五箇年ヲ期シテ二千萬圓ヲ國庫ガ支出ヲスルト云フハレマシタケレドモ、此法律ニウツナ事ハ現ハレテ居ラナイ、第一條ヲ見マスルト、斯ウ書イタル「市町村立尋常小學校教員ノ俸給ニ充ツル爲國庫ハ毎年度金千萬圓ヲ限度トシ豫算ヲ以テ定ムル金額ヲ支出シ」之ヲ北海道及府縣ニ配當ス」ト書イタル、限度ハ成程一千万圓デアリマスケレドモ、其一千萬圓ニ達スルノ何年ヲ以テ達スルカ、此法律ニ書イテナイ、若シ此法律案ガ通過シテ政府ニ無理無體ニ強ユルトスル、而シテ次ギノ議會ニ政府ガ豫算ヲ提出スル場合ニ當ッテ、此法律第一條ニ據ッテ一萬圓二萬圓三萬圓出シテモ苦情ガ言ヘヌデアアル、又第二條ヲ見マスルト、第二條ハ是ハ限定的ニ書イタル、最初ノ年ノ大正七年度ニ二百万圓ヲ支出シテ、翌年度カラ順次二百万圓ヲ遞加シテ一千万圓ニ至ラシムルト書イタルデアリマス、是ハ誠ニ明瞭デアリマスケレドモ、諸君ガ希望スル如ク總額一千万圓ニ達シマシタ曉ニ於テ、半額ハ小學校教員ノ俸給增加ニ充ツルデアアル、半額ハ教員ノ唯俸給ニ充ツルデアアル、即チ半分ハ市町村ノ救済デアッテ、半分ハ教員ノ救済デアアル、斯ウ云フ意味デアリマス、而シテ教員ノ方ハ五箇年ニ二千万圓ニ達シマスガ、市町村救済ノ方ハ二十箇年經ッテ達スルカ、三十箇年經ッテ達スルカ、是ハ分ラヌデアアル、即チ此法律ニ依ッテ市町村ノ救済ト云フコトハ目的ヲ達セラヌカ知ラヌデアリマス、吾々ハ斯ノ如キ金額ヲ以テハ満足ハ出來ナイデアリマス、吾々ハ勿論小學校ノ教員ヲ優遇シナケレバナラヌコトモ考ヘテ居リマス、而シテ吾々ガ此問題ヲ主張致シマスルノハ、第一ニ負擔ノ過重ニ苦シテ居ル市町村ヲ救済シ、而シテ自治團體ヲ擁護シ、教育ノ改善ヲ圖リ、而シテ又教員ヲ優遇スル、斯ノ如キ四重大目的ガ含マレテ居ルデアリマス、所ガ此法律デハ主トシテ教員ノ優遇デアッテ、市町村ノ救済ニハ餘リ重キヲ置イテ居ラヌデアリマス、故ニ此法律案ノ根本ニ於テ吾々ノ精神ト餘程距離ガアルデアリマス、故ニ其點カラ申シマシテモ、是ハ贊成スルコトハ出來ナイデアリマス（顔色アリヤ）「一言モ無イダラウ」ト呼フ者アリ（吾々ガ此問題ヲ提唱シテ以來、文部省ニ於キマシテモ餘程此問題ニ注意ヲシテ大臣ハドウカ知リマセウケレドモ、關係ノ間ニ於テハ是ハ數年來色々ノ案ヲ作ッテ居ルデアリマス、而シテ是モ其一案デアリマス、文部省デ色々ノ案ヲ試ミテ居リマシタガ、多分私ノ想像スル所ニ依ルト、大津君ガ文部省ノ參政官タリシ因ミテ、其一案ヲ持ッテ來タノデアナイカト思フノデアリマス（拍手起ル）私モ多少文部省ニ關係シテ居リマスカラ、文部省ノ關係中ニ於テ調査サレタ案ヲ存ジテ居リマス、併シ是モイカス、是モイカヌト云ッテ成案ヲ得テ居ラヌヤウナ狀況ト考ヘマス、而シテ數多アル案ノ中デ此案ガ一番愚案デアリマス（拍手起ル）文部省ノ關係中ニハ今日斯ノ如キ愚案ヲ持ッテ居ル人ハアリマセウ、寧ロ是ハ反古籠ニ打込ムベキ案デアリマス、新タニ最モ時代ノ要求ニ適シ、而シテ吾々國民ノ希望スル所ノ案ヲ作ル爲メニ、文部省ノ關係間ニ於テハ餘程研究シテ居ルヤウデアリマス、既ニ昨日全國ノ府縣知事ニ對シテ調査ノ材料ヲ命ジタヤウナ具合デアリマス、是モ矢張此建議案ニ促サレテ此行動ニ出タノダラウト思ヒマス、吾々ハ前ニ申シマス通り此法律ヲ假リニ設定致シマシテモ、之ヲ實施シマスルニハ餘程之ニ伴フ勅令ヲ研究シナケレバナラヌ、之ヲ政府ニ任セタ方ガ寧ロ政府ハ自由ヲ得且總テノ機關ヲ通ジタルガ故ニ、時日ヲ貸ス方ガ宜カラウト云フ考カラ、此法律案ニ反對ヲ致シ

マス、而シテ私共相當ニ案ヲ有テ居リマスケレドモ、前ニ申シマス通り、斯ノ如キ教員ヲ優遇スルコト云フハ、一ツニ重キヲ置イテ居ル法律案ナクシテ、一ツノ法律ニ依テ私共ハ市町村ノ教育費ノ負擔ノ輕減ヲ計ルコトモ出來、又教員ノ優遇モ出來、自治團體ノ擁護モ出來、教育ノ改善モ出來、即チ四大目的ガ同時ニ達セラレヤウナ法律案ヲ制定スルコトモ出來ルト確信シテ居ルデアリマス、斯ノ如キ意味ニ於キマシテ、私ハ憲政會ノ諸君ガ今一遍熟考ナサレテ、此場合ニ於テ此案ヲ撤回シテ折角出來マシタ所ノ建議案ニ對シテ、滿場一致ヲ以テ可決セラレンコトヲ希望スル次第デアリマス（拍手起ル）

○議長（大岡育造君） 尙討論ノ通告モアリマスガ、時刻モ既ニ十二時ヲ過ギマシタカラ暫時休憩ヲ致シマス

午後零時十七分休憩

午後一時九分開議

○議長（大岡育造君） 午前ニ引續キ會議ヲ開キマス、樋口秀雄君

（拍手起ル）

（拍手起ル）

○樋口秀雄君 本員ハ先刻大津君ニ依テ唱ヘラレマシタル少數意見ニ賛成デアリマス、先刻委員長カラモ御報告ノアリマシタ通り、此教育費ノ國庫補助ト云フコトニ付キマシテハ、全圖一人タリトモ反對ハナインデアリマス、隨テ此問題ニ付テハ趣意ノ上テ爭フノデハナイ、唯吾々ハ法律案ヲ支持シテ少數意見ヲ主張スルニ付キマシテハ、一應其理由、殊更ニ吾々ガ法律案ヲ固守スル理由ニ付テ諸君ノ了解ヲ得テ置キタイと思フデアリマス、實ハ先日來ノ委員長長始メニ土君等共御相談ノ結果、此案ニ就テハ殆ド討論ヲ用ヒズシテ御採決ヲ願ヒタイと思フテ居タルデアリマスガ三土君ガ先刻少數意見ニ對スル反對論ヲ御述ベニナリマシタニ付キマシテ、一言之ニ對シテ私ガ辯解ヲ致シタイと思フデアリマス、此教育費ノ國庫補助問題ハ、是ハ教育界ニ於ケル多年ノ懸案デアリマス、明治二十七年ノ頃ト覺エマスガ、帝國教育會ニ於テハ之ヲ決議致シ、又諸願ト致シマシテハ前數回ノ議會ニ互テ幾度カ提出セラレタ問題デアリマス、先刻三土君ガ本案ハ政友會ノ諸君ノ御提唱ニ依テ始メテ現ハレタヤウニ御話ガアリマシタガ、是ハ各自御自分ノ御自說ニ忠ナル所以デ、御答メスル譯デアリマセヌガ、事實ハ是ヨリ遙ニ前ダタルデアリマス、而シテ若シ此件ニ就キマシテ建議案請願其他ノモノヲ列舉致シマシテ、前後ヲ論ジマスレバ殆ド際限ノナイ問題デアリマスカラ、私ハ此點ニ付テハ殊ニ主張ハ致サナイデアリマス、又吾々ノ部内ニ於キマシテモ相當ニ（眞面目ニヤレ）ト呼フ者アリ）之ヲ法律案トシテ提唱スルコト云フ議モ有ツタデアリマスケレドモ、時ノ政府ノ財政狀態ガ未ダ斯ル巨額ヲ支出スル時機ニ達セズト思フテ控ヘテ居タルニ過ギナイデアリマス、ソレカラ今日現案トナツテ居リマス、建議案ノ文面ニ付キマシテハ、私共モ實ハ小委員會ニ於キマシテ御相談ヲ致シタ一人デアリマス、即チ各派ノ諸君ガ提供セラレマシタル建議案ニ付キマシテ見マシテモ、多少其御趣意ノ上ニ違フ所ガアツタデアル、或ル御建議ニ於キマシテハ此市町村費ノ經費負擔ノ減額ト云フコトノミガ主トナリマシテ、教育改善ノ事實ノ方ハ餘リ重キヲ置カズシテ建議案ニナツタデアリマス、又此教育

ノ内容改善ト云フコトヲ御提唱ニナリマシタ建議案ニ於キマシテモ、幾何ノ程度ニ於キマシテ此教育ノ改善ノ實ヲ舉ゲ、幾何ノ市町村ノ負擔ヲ減額スベキカト云フ事ニ付テ、明カナ御發意ヲ求ムルコトガ出來ナカッタデアリマス、ソレ故ニ私共ハ免角ニ建議案一法律案ヲ同一委員ノ手ニ付託シテアリマスカラ、之ヲ願クハ一案トシタイと思ヒマシテ、此最前ノ原案トナリマシタル建議案ノ文面ニハ賛成ヲ致シマシタガ、是ハ建議案ヨリハ一層強キ意味ニ於テ、院議トシテ後ニ言質ヲ政府ニ取リ得ルヤウノ決議案ノ形式ヲ以テ御提出ヲ願ヒタイ、是ハ吾々ハ敢テ法律案ヲ固執スルコトヲ撤回スルコト云フコトヲ述ベタルデアリマス（反對ト呼フ者アリ）此處マテ讓歩致シマシタガ、不幸ニシテ吾々ノ議容レラズ建議案ガ出タルデアリマスカラ、御趣意ニハ賛成致シマスケレドモ、尙ホ吾々ガ法律案ヲ提供致シマシタ趣意ニ付テ、之ヲ天下ニ明カニシテ置ク必要ガアルと思フデアリマス（「マダヤルカ」降壇々々）ト呼フ者アリ）私共ガ趣意ヲ同ウスル建議案ガアリマスノニ、尙ホ且此法律案ヲ取テ少數意見ヲ主張致シマスノハ三段ノ理由ガアルデアリマス、第一ハ彼ノ數多ノ請願ニモアリマス通り、市町村ノ自治體其モノニ於キマシテハ、自己ノ負擔スベキ經費ノ減額トシテ請願ヲサレテ居リマス、併ナガラ此市町村ノ自治團體ノ經費ノ負擔ノミヲ減額スレバ、之ニ依テ其目的ガ果シテ達セラレ、デアラウカドウカト云フコトハ、是ハ一ノ疑問デアリマス、又市町村ノ教育費ノ負擔ガ年々多キヲ加ヘマスルニ至リマシタ其理由如何、果シテ教員數ノ増加ノミニ依ルモノデアルカ、若クハ他ニ原因ガ有ルカドウカト云フコトヲ明ニシマセヌト云フト、徒ニ多端ノ國費ヲ投ジマシテ地方自治體ノ財政ヲ助ケヤウトシマスル、其名案ガ却テ惡イ結果ヲ起スデアラウト云フ虞レガアルデアリマス、之ヲ歐米諸國ノ先例ニ徵シテ見マシテモ、歐米ニ於キマシテハ概ネ義務教育費ト云フモノニ國庫ノ補助ハ致シテ居リマスガ、全部義務教育費ヲ國庫ノ支辨ニ致シタ所ハ殆ド無イデアリマス、兩三年前建議案ノ形デアリマシタガ、或黨カラシテ國庫支辨案ナルモノガ出マシテ御坐イマスガ、此教育費ノ全部ヲ負擔致スト云フコトハ決シテ良好ナル結果ヲ招クモノデハナイ、或ル國ニ於テ實驗致シマシタル結果ヲ見マスルト云フト、國家ガ市町村ノ義務教育費ノ全部ヲ負擔シマスルト云フト、其結果ハドウナルカト申シマスレバ、動モスレバ學校ノ濫設トナリ、又一方ニ於テハ（問題外ト呼フ者アリ）其市町村並ニ市町村ノ兄弟ガ其子弟ニ對スル教育ノ義務觀念ヲ破壞スル虞ガアルト云フコトハ、各國共ニ齊シク認メル所デアリマス、ソレ故ニ單純ニ唯地方ノ負擔ヲ減額セシムルト云フコトハ、地方人民ニ取リマシテハ、非常ナ好感ヲ以テ迎ヘラレル人氣ニ投ズル策デアリマス、ケレドモ一方教育ト云フ立場カラ考ヘルト云フト、決シテ理想的ノ補助方法デナイト思フデアリマス、ソコデ私共ハ法律案ニ付テ三土君ガ此第一條第二條ニ於キマスコトニ付テ杜撰デアルト云フ攻撃ガアリマシタガ、決シテ然ラズト云フコトヲ一言申シテ置キタイと思ヒマス（簡單ト呼フ者アリ）私共ガ法律案ニ於キマシテ、第一條ニ規定シタル、是ハ三土君ノ御說ノ通りデアリマス、然ルニ第二條ニ於キマシテ全國ノ教員費ノ平均俸給ヲ高メル爲ニ、更ニ第一年度カラ二百萬圓、第二年度ニ於テハ四百萬圓以下累年二百萬圓ヲ増加致シマシテ、五年目ニ至ツテ一千萬圓ニ達スルダケノ補助ヲシタイト云フ案ヲ出シタルデアリマス、三土君ハ此俸給費ヲ増加セシムル所ノ一千萬圓ハ、決シテ地方民ノ負擔ヲ減ズルモノデハナイト云フヤウニ御攻撃ニナリマシタガ、

ヲ採ル、准教員ヨリ正教員ヲ採ルト云フノ増加シタ爲デ、換言スレバ俸給額ノ増加ノ爲ニ其増加ノ半バハ費サレテ居ルノデアリマス、此ニ於テカ私共一方ノ教育ト云フモノ、立場ニ立チマシテ、教育ノ内容改善實質改良ト云フコトノ急務デアルコトヲ認ムルト同、時ニ、市町村ノ經費ノ負擔ヲ減輕セシメルト云フコトガ、焦眉ノ急務ト思ヒマシタカラ、從來事實ニ於テ此兩様ニ使用サレテ居ッタモノト致シマスレバ、教員俸給費ノ増加ト云フ規定ノ下ニ殘ル一千萬圓ヲ與ヘマシテモ、是レ纏テ教育費ヲ減ズル所以デアリマス、直接ニ市町村ノ頭ニコソ響キマスマイガ、事實ニ於テハ市町村ノ地方團體ノ教育費ヲ補助スル意味ニ於テ、更ニ變リハナイノデアリマス、唯此點ヲ漫然市町村ノ財政補助ト云フヤウナ目的ニ使ヒマスルト、先刻述ベマシタ通り、歐米諸國ニ於テ屢、惡イ結果ヲ惹起シタヤウナ、同ジキ憂ガ出ハシナイカト云フコトヲ慮レテ、第一條第二條ヲ明カニ區別シテ置イタノデアリマス、尙是ノミナラズ、第四條ニ於テハ從來ノ市町村立小學校ニ對スル補助金二百萬圓、政府カラ二百萬圓、地方團體カラシテ二百萬圓、合セテ四百万圓ト云フモノヲ支出スベシト云フ從來ノ條項ハ、其儘ニ存シテ居リマスカラ、合セテ二千万圓ノ救助ヲシヤウト云フノデアリマス、何故ニ二千万圓ト云フ計數ヲ得タカト申シマスルト、歐米諸國ニ於キマシテ國庫補助ノ金額ガ二割二分ヨリ五割七分マデ出シテ居ルノデアリマス、其平均ヲ見マスルト約四割ハ分デアリマス、然ルニ當今ニ於ケル小學校ノ教員費ト云フモノハ、二千六七百萬圓ノ額デアリマスガ、從來ノ率ガ變ラヌモノト致シマスレバ、是ガ年々歳々増額スルノデアリマシテ、況ヤ其俸給ヲ高メマスルト云フト、十年位ノ間ニハ少ナクとも四千万圓一ハ達スルデアラウト云フコトヲ考ヘマシテ、將來増加スベキ四千万圓ニ對シテ、其五割二分バカリニ當リマスル所ノ二千四百萬圓ヲ支出シヤウト云フノガ吾ミノ案デアッタノデアリマス、決シテ二土君ノ仰シヤルヤウニ此案ガ杜撰ノ案デナク、又此案ヲ委員會ニ於テ議シマス時ニハ、此案ガ委員ニ交付ニナリマシテカラ、數日ノ間餘日ガアッタノデアリマスケレドモ、維新會カラ提出ニナリマシタ建議案ガ、議事日程ノ都合デ一日々々ト遅レテ居リマシテ、是ガ委員付託ニナル日ガ遅レタ爲ニ空シク其間ヲ待ッテ居ッタ次第デ、決シテ之ヲ研究調査ナサル所ノ餘日ガ無カッタノデハアリマセヌ、吾ミノ主張ハ其餘日無キガ爲ニ殊更ニ兩院通過ノ目的ナキ法律案ヲ提出スルト云フノデハナイノデアリマス、此點ハ明ニ諸君ノ御了承ヲ願ヒタイ、併ナガラ翻ッテ考ヘマスレバ、本案ハ殆ド滿場一致ヲ以テ通過スベキ案デアリマスカラ、殊更ニ斯カル枝葉ノ問題ニ向ッテ論議スル必要ハナイ、唯二土君ノ一言アッタ爲ニ私モ一言辯ヂタニ過ギヌノデアリマスカラ、此意味ハ諸君ニ於テモ宜ク御了承下サテムコトヲ希望スル者デアリマス、此意味ヲ以テ吾ミガ法律案ヲ支持スル、決シテ兩院通過ノ目的ナキニ殊更ニ案ヲ支持スルト云フノデハナイ、教育ノ大本カラ考ヘ、歐米ノ先例カラ考ヘ、又市町村團體ノ其補助費ヲ使用スル途ニ付テ良好ナル結果ヲ收メシメムコトヲ目的トシテ此案ヲ提出シタノデアリマス、尙現政府ニ對シテ不信任ナル現政府デアルカラ、言明ゾ得タト雖モ安心ハ出來ヌ、何時倒レルカ知レヌ、思フニ政友會ノ諸君ハ多士濟々ノ大政黨、大勢力ヲ

(松本誠之君登壇)
〔簡單ニ〕ト呼フ者アリ
○松本誠之君　此問題ニ付キマシテハ別段ニ縷々諄々シク言フ必要ハナイノデアリマス
（緩クリヤリ給ヘ）ト呼フ者アリ唯簡潔明瞭一刀直入ノ考ヲ以テ私ハ述べたいと思フ、
ソレニ付キマシテ満堂ノ諸君ニ私が此案ニ付テノ卑見ヲ述べる前ニ、一言以テ御挨拶ヲ
致シタイ事ガアル、私ハ此度初メテ新米議員トナッテ此議場ニ現ル、コトヲ得マシタガ、
此三百有餘名ノ諸君ノ中ニ於テ、二分ノ一以上ハ私同様ニ新米議員デアラウト思フ、
希クハ此舊米議員ハ吾々新米議員ニ對シテ十分ニ御指導下サレ、又十分ニ御黨陶
ヲ受ケタイ、新米議員ハ宜シク仲好ウシテ共ニ舊米議員トナッテ國家ニ貢獻セムコトヲ
望ムノデアル（笑聲拍手起ル）此小學校教育費ノ國庫補助案ヲバ吾々が建議致シマシ
テ、此案ヲ提出致シマシタノハ多少時日ガ遅レマシタガ、是ハ實際ノコトヲ申スマスレバ、
我維新會ナルモノガ出來ナイ前ニ於テ、新聞紙上ニ現レテ居ッタ所ノ紅葉館ト云フ組ノ
諸君ニ私ハ初メテ之ノ話ヲ致シタノデアル、所ガ當局者ノ意見ヲ質シ當局者ノ意ヲ聽
イテ確ニ——能ク之ヲ確メテサウシテ以テ之ヲ出サウト云フコトデアリマシタガ爲ニ、政友
會ト國民黨ノ諸君カラ出サレル案ヨリハ遲レタノデアリマスケレドモ、決シテ政友會國民
黨竝ニ憲政會カラ出サレタ所ノ案ニ、私共ハ眞似ヲ致シタノデハナイ、失禮ナガラ私モ多
年ノ間教育ニ從事致シマシテ、此國民教育ノ補助ハ宜シク國家ガ國庫ヲ以テ支辨シナ
ケレバナラナイト云フコトハ、十數年ノ前カラシテ自分等モ論ジ且ツ之ヲ新聞紙或ハ雜誌ノ
論文ノ上ニ屢々書イテ天下ニ絶叫ヲ致シテ居ッタノ御坐イマス、所ガ自分ガ度々之ヲ絶
叫致シマシタナレドモ、此議場ニ上ッテ一度之ヲ吐キダイト云フ考ガアッテ、辛ニシテ私ハ
下岡君ヤ小寺謙吉君ニ攻メラレマシタケレドモ辛ウシテ當選ガ出來タ（笑聲起リ）大ニヤ
ルベシ」ト呼び拍手スル者アリ故ニ之ヲ我維新會ノ諸君ニ諮リマシテ、サウシテ提案
致シマシタガ、幸ニシテ委員會ニ於テ三案共同一委員ニ付託サレルト云フヤウナコト
ニ相成ッタ次第御坐イマス、而シテ憲政會ノ諸君ヨリ出サレテ居ル所ノモノハ即チ法
律案トナッテ居ル、法律案トナッテ居リマシテ、サウシテ第二ニハ此金額ヲ御定メナッ
テ居ル、即チ一千万圓ノ金ヲ出し——二百万圓宛五五年間出スト、斯ウ云フコトニナッ
テ居リマスガ、三士忠造君ハ此案ヲ評シテ愚案デアル、劣案デアルト、斯ウ言ハレマシタ
私ハ劣案トモ愚案トモ言ハヌガ、唯々憲政會ノ諸君ガ此案ヲ出サレタノハ、政友會ト國
民黨ノ眞似ヲセラレタノデアラウト私ハ思フ、何故ニ然ラバ之ヲ建議案ト爲サレナカッタハ、
建議案トシナイ精神ハ、建議トシナイ精神ハ何レニアルカト云フ事ヲバ大津君ナリ樋口
君ナリカラノ意見ヲ聽キマシタガ、現内閣ハ明日モ知レナイ、今夜モ知レナイ、何時倒
カ分ラナイ（サウドヨ）ト呼フ者アリ斯ウ云フ内閣ニ建議ヲシテ居ッタ所ガ駄目ダカラハ、
權威ノアル法律案ニシテ、サウシテ以テ必ラス之ヲ實行セシムルコトニシヤウト仰セラレテ居
ル、私ハ此内閣ハ信任シテ居ル（御尤モ）ト呼フ者アリ飽マテ此内閣ノ生命ノアル限
リハヤラセテ見タイ仕事ガアル、憲政會ノ諸君ガ本年一月二十五日ニ政策ノ如何ヲ問

ハズシテ不信任案ヲ出シ、又此臨時議會ノ初メニ當テ不信任案ヲ出シ、後藤内相ノ彈劾案ヲ出シ、陛下ノ側近ニ置カセ給フタル外交調查會ヲ廢セントスルガ如キ、國論ヲ破リ統一ヲ破壞スル所ノ社會主義的ノ行動ヲ爲サレテ居ル(社會主義トハ何ダ「怪シカラヌ」默レ「社會主義トハ何ダ」議長々々「ト呼フ者アリ議場騷然」之ヲ……「社會主義トハ何ダ」ト呼フ者アリ議場騷然)床次委員長ガ議場ニ向テ御報告ニナリマシタ(社會主義トハ何ダ「取消セ」構ハズニヤレ「ト呼フ者アリ議場騷然」)

○議長(大岡育造君) 靜肅ニ……

○松本誠之君 床次委員長ガ議場ニ向テ御報告ニナリマシタノハ(懲罰々々「ト呼フ者アリ議場騷然」此委員長ノ報告ノ通り、小學校ノ國庫補助案ニ就キマシテハ、今天下ノ輿論トナツテ居ル、天下ノ輿論トナツテ居ルガ故ニ、之ヲ是非共實行ヲセナケレバナラスノ御坐イマス、而シテ之ヲ政府ニ(此時發言スル者多ク議場騷然小山松壽君發言ヲ求ム)之ヲ政府ニ確メンガ爲メニ、總理大臣或ハ文部大臣大藏大臣、此二人ヲ——二相ヲ委員會ニ召サレテ政府モ之ニ贊成ヲシテ、次ノ議會ニハ之ヲ出スト云フコトヲ言明致シテ居ル(「無禮者」取消サセヨ「ト呼フ者アリ議場騷然」政府ガ言明ヲ致シテ限リニハ宜シク政府ノ言ヲ信ジテ、希クハ憲政會ノ諸君ニ於テハ僻ミ根性ヲ起サズシテ、宜イカ分ツタカ——此法律案ヲ撤回シテ仕舞フテ、吾々ノ建議案ニ所謂光風霽月(「無禮者奴」ト呼フ者アリ)磊々落落タル心ヲ以テ落花情アラバ流水意無カラシヤ、暫クノ辛抱ヲ爲スツテ居ラニ二十年ノ先位ニハ政權ガ御手ニ入ルダラウ、モウ人間ハ忍耐ガ第一ダ、忍耐ヲ第一ニシテ下岡君モ苦シイダラウガ御辛抱ヲ爲サレ、御辛抱ヲ爲スツテナラハ廻リ廻テオ前サン等ノ方ニ來ルカラ、宜シク此法律案ヲ撤回ハ憲政會ノ諸君ニ御勸メヲ致シテ置イテ、吾輩ハ此壇ヲ降ルノデアル(拍手起ル)

○議長(大岡育造君) 小山君——小山松壽君、御發言ハドウ云フコトデスカ

○小山松壽君 私ハ唯今……

(「登壇々々」ト呼フ者アリ)

○議長(大岡育造君) 登壇ヲ希望シマス

(小山松壽君登壇)

(「好一對」ト呼フ者アリ笑聲起ル)

○議長(大岡育造君) 靜肅ニ願ヒマス

○小山松壽君 諸君、私ハ松本君ガ唯今御演說ヲサレテ居タ言葉ノ中ニ(「聽エナイ聽エナイ」何ダ「默レ」ト呼フ者アリ議場騷然)

○議長(大岡育造君) 靜肅ニ……

○小山松壽君 松本君ハ其演說ヲ進メラル、問ニ於テ、憲政會ノ諸君ハ社會主義者デアル(「ノウ」)「大抵サウダ」ト呼フ者アリ)斯様ナ言ヲ述ベラレタノデアル(「ノウ」)「聽達ヒダ」噓ヲ付ケ「ト呼フ者アリ議場騷然」御聽キナサイ

○議長(大岡育造君) 靜肅ニ願ヒマス

○小山松壽君 是ハ甚ダ不穩當ノ言ナリト私ハ信ズルノデアリマス、故ニ先刻來議長ニ此言葉ヲ取消ヲ要求致シテ居ッタデアリマス、議長ハ私ニ登壇ヲ促シマシタ、茲ニ私ハ此社會主義ト云フ言葉ノ甚ダ不穩當ノ言葉デアルガ故ニ、松本君ニ取消ヲ議長ヨリ命セラレントノ動議ヲ提出スルノデアリマス

○議長(大岡育造君) 唯今小山松壽君ヨリ松本君ガ社會主義ト云フ言葉ヲ用ヒタノハ不穩當デアルカラ、之ヲ取消スベシト云フ動議ヲ御提出ニナツタ、之ニ贊成ノ諸君ガアリマスカ

(「アリマス」贊成「ト呼フ者アリ」)

○議長(大岡育造君) 成規ノ贊成ガアリト認メマス

(「議長ノ職權デアルベシ」ト呼フ者アリ)

○松本誠之君 一寸私ガ申シマス、今ノ小山君ハ私ノ言フコトヲ聽キ損テ居リマス……

(此時發言スル者多ク議場騷然)

○議長(大岡育造君) 暫ク御聽キナサイ

○松本誠之君 能クモウ一度言ヒタイ……

○議長(大岡育造君) 松本君ハ意見ヲ御述ベニナルト云フコトデアリマスカラ、御聽キノ上ニ御論ニナツタ宜カラウト思ヒマス

(「議長ノ注意ヲ喚起シマス」意見モ冀モアルモノカ「ト呼フ者アリ議場騷然」)

○議長(大岡育造君) 何デスカ

(「議長ノ注意ヲ喚起シタノダ」ト呼フ者アリ發言ヲ求ムル者アリ)

○議長(大岡育造君) 松本君

○松本誠之君 アチラガ聽キ損ヒラシテ居ル、明瞭ニ申シマス

(松本誠之君登壇)

○議長(大岡育造君) 言葉ヲ正スト云フコトデアリマス

○松本誠之君 我ノ今ノ演說ニ對シテ色ミト御批評ヲ御加ヘナスツテ、所謂喧々囂々ノ際デアリマシタカラ、御聽損ヒニナツテ居ルカモ知レヌ、私ハ社會主義ト云フコトハ斷ジテ言ハナイ(「ノウ」)「ト呼フ者アリ議場騷然」マア御聽キナサイ、私ハ破壞主義ト云ツタ、破壞主義ニ類スルコトガアルト云ツタノデアル、何處ガ惡イ

(拍手起リ發言ヲ求ムル者アリ)

○議長(大岡育造君) 小山東助君

(發言ヲ求ムル者アリ)

○議長(大岡育造君) 小山東助君

○議長(大岡育造君) 小山君ニ發言ヲ許シマシタ

(小山東助君登壇)

○小山東助君 小學校費國庫補助法ニ付キマシテハ、既ニ我黨ノ大津君竝ニ樋口君ノ御說明ニ依ツテ其精神ガ盡キテ居リマスカラ、本員ハ極メテ簡單ニ政友會ヲ代表セラレマシテ御演說ニナツタ三士忠告ヲ御意見ヲ反駁致シマシテ、我黨ノ立場ヲ明ラカニシヤウト思ヒマス(「謹聽」ト呼フ者アリ)三士君ハ極メテ重大ナ點ニ於テ一ツノ誤解ヲセラレタ、本員ハ之ヲ以テ三士君ノ誤解ナリト言フ、本員ハ三士君ノ平生ヲ知ルガ故ニ、三士君ノ人格ニ照シテハ決シテ故意ノ曲解デモアルマイ、又故意ノ詭辯デモアルマイト云フコトヲ信ジマス、故ニ三士君ノ論辯ガ一見詭辯ニ類シテ居ルケレドモ、又曲解ニ類シテ居ルケレドモ、私ハ單ニ之ヲ一時ノ誤解デアラウト申シテ置キマセウ(拍手起ル)其重大ナル二ツノ誤解ト申シマスノハ、我黨ヨリ提出致シマシタル此法律案ニ依レ

バ、第一條ニ所謂年々千万圓ヲ限度トシテ豫算ヲ以テ定ムル金額ヲ支出スルトスウ書
イテアルガ、是デハナチトモ國庫ガ市町村ノ財政ヲ救フ市町村ノ負擔ヲ輕減スルコト云フ意
味ヲササト云フ話アリマス、何故ナサスト云ヘバ、聰明ナル不斷ノ三士君ニモ似合シ
クナイト思ヒマスガ、千万圓ヲ限度トスルコト云フコトアレバ、一萬圓出シテモ二萬圓出
シテモ三萬圓出シテモ宜イコトニナルカラ、最少限度ヲ極メテ置カナイ限りハ、此法案
ハ殆ド市町村ノ經濟ヲ救フ所以ニナラナイト斯ク論斷セラレテ居リマス、併ナガラ本員ハ
思フ、苟モ常識ノアル政府、苟モ誠實ナル政府アルナラバ、茲ニ千万圓ヲ限度トスル
ト云フ法律ガアル限りハ、飽マデ此法律ノ精神ヲ尊重致シマシテ、出來得ル限り千万圓
ト云フ限度ニ近イデケノ國庫ノ支出ヲスルコト云フコトハ當然ノ職責アルト思ヒマス（拍
手起ル）私ハ若シ此政友會諸君ガ近キ將來ニ於テ政局ニ立タレタ場合ニ於テ、此法律
案ヲ實行スル責任ヲ執ラル、場合ニ、最少限度ヲ極メテ居ナイカラ二萬圓出シテモ宜
イ、三萬圓出シテモ宜イト云フヤウナ無責任ナ考ヲ有セラル、方ハ、政友會中一人モ無
イ云フコトヲ信シテ居リマス（ソレハ解釋ヲ誤解デハナイト呼フ者アリ）此法律案ニ於テ
ハ明白ニ最少限度ヲ極メテハ居リマセヌケレドモ、最少限度トシテ、茲ニ千万圓ト云フ
モノヲ極メテアル以上ハ、苟モ誠實ナル責任ヲ解スル政府ガ其局ニ當タラバ、此千
萬圓ニ近キ金ヲ支出スベキ筈ト本員ハ信ズルノデアリマス、三士君ハ之ヲ誤解サレテ
居ル、若シ誤解デナケレバ曲解トナリ詭辯トナル真ガアルノデアリマス、併ナガラ私ハ曲
解詭辯トマデハ申シマセヌガ、其様ナ誤解ヲサレタナラバ、我憲政會ノ爲ニ迷惑アルノ
ミナラス、三士君ノ名譽ノ爲ニ甚ダ惜ムベキ事ト思ヒマスカラ（拍手起ル）此誤解ハ取去
ルガ宜シイ、是ガ第一ノ點デアリマス、第二ノ點ニ於キマシテハ三士君ハ恰モ此憲政會ノ
提出ノ法律案ハ、是ハ單ニ小學教員ノ優遇若ハ教育ノ内容改善デケル目的トスルノデ
アレ、憲政會ノ提案ハ今日全國ノ問題アル、市町村ノ負擔ヲ輕減シハ殆ド意ヲ用ヒ
テ居ナイカノ如キ言論ヲ弄セラレタノデアル、弄スルコト云フ言葉ハ聊カ不穩當デアリマ
セウカラソレハ止シマスガ、サウ云フ御言葉ヲ發セラレタノデアル、是亦三士君トシテ實ニ
不似合千万圓ノ御議論ト思フノデアリマス、明白ニ誠實ニ此國庫補助法ヲ御覽ニナ
リマシタナラバ、我黨ハ先ヅ第一二年々千万圓ヲ限度トスル支出ヲシテ、市町村ノ經濟
ヲ助ケヤウ、負擔ヲ輕減シヤウト云フ目的ハ、明々白々日月ノ如クアルニ拘ラス、尙ホ之
ヲ打消シテ市町村ノ負擔ヲ輕減セントスルモノハ、獨リ政友會アルカノ如キ言論ヲヤラ
ル、ニ至ラデハ、是ハ甚ダシク三士君ノ平生ニ似合シカラザル黨派根性ナリト評セラレテ
モ仕方ガナイコト、思フノデアリマス（拍手起ル）私ハ三士君ハ其様ナ黨派根性ニ沒頭
セラル、方デナイト云フコトヲ信シマスカラ、此點ニ於テ此演說ガ一箇ノ三士君ノ誤解デ
止マルナラバ宜シウ御坐イマスガ、教育通トシテ令名アル三士君ガ、斯ノ如キ誤解ヲ世
間ニ吹聴スルコト云フコトハ、吾々憲政會トシテ甚ダ厄介千萬圓デアリマスカラ、三士君ハ
此點ニ於テ此場所ニ於テ、其誤レルコトヲ自ラ願ミルガ當然デアルト本員ハ信ズルノデ
アル、我黨ノ精神ハ極メテ明白デアリマス、即チ先ヅ第一二千萬圓ヲ限度トシテ國庫カ
ラ支出ヲ致シマシテ、サウシテ地方ノ負擔ヲ減ズルカ、市町村ノ經濟ヲ助ケルコト云フコトガ
第一ノ眼目、第二ハ教育ノ内容實質ヲ改善スル爲ニ、國庫ノ小學校教員費ノ俸給ノ
増加ヲ圖ル、此二大眼目ガ我黨ノ精神デアッテ、如何ニ反對黨ノ諸君ガ詭辯ヲ以テ、之
ヲ晦マサウト致シマシテモ、此精神ハ天下ニ明ニナルコト、信シテ疑ハナイ、故ニ三士君ノ

誤解ヲ一掃スル必要ガアルノミナラス、滿場ノ諸君ハ又此點ニ於テ誤解無カラムコトヲ
切望スルデアリマス（拍手起ル）維新會ヲ代表致シマス所ノ方ノ御辯論ニ至ラデハ、本
員批評ノ限リニアラス、之ヲ一箇ノ御奉公演說ナリト批評シテ此壇ヲ降リマス（拍手起
ル）

○議長（大岡育造君） 柏原文太郎君

（柏原文太郎君登壇）

（拍手起ル）

○柏原文太郎君 極メテ簡單ニ私ハ此修正セラレマシタル——成案ニ成リマシタル建
議案ニ賛成ヲ致シマシテ、法律案ノ御撤回ヲ願フ理由ヲ申上ゲマス、成程建議案ノ出
マスト同時ニ、寧ロ少シ遲レテ法律案ガ出マシテ、一箇法律案ト云フ方ガ具體的ニナ
テ居リマスカラ、中々御骨折ハ多ト致シマスルケレドモ、必ラスモ憲政會ノ諸君ガ此法
律案ヲ固執シナイト云フコトハ、委員會ニ於テ明瞭ニ分タノデアリマス、即チ此案ヲ此
儘ニシテ握リ潰サウデハナイカト云フ議ガ出タ、ソレカラモウ一ツハ決議案ヲ議メヤウデハ
ナイカト云フ論モ出タノデアル、之ニ由テ見マスレバ、必ズ此法律案ヲ此時ニ通シテ置カ
ケレバナラヌト云フ御意思デハナイト云フコトハ稍々分リマス、サウ云フコトデアリマスカラ、
殊ニ此法律案ヲ見マスルト、來年度カラ施行スル、斯ウ云フコトデアリマス、實際ハ來年
度カラ施行シマスレバ、此冬ノ議會ニ完全ナル法律案ガ出テ、ソレヲ吾々ガ議シテカラ
施行シテモ宜シイノデ、同一結果ニナルノデアリマス、成程三士君ノ言フ如クニ、此法
律案ハ全ク無價値ノモノデアルト云フ酷評ハ出來マセヌガ、又全ク完全ナモノデアルト云
フ御賞讃モ出來マセヌ、殊ニ今日ハ教育調查會モ出來テ居リマシテ、政府ノ意見ニ依
リマスルト、其調査會ニモ之ヲ附スルト云フ、元々國民教育ノ根本ノ經費ヲ極メヤウ、
其經費ノ負擔率ヲ極メヤウト云フコトデアリマスカラ、教育制度、殊ニ國民義務教育
制度ノ根本ヲ定メテ、其定メタ上ニ此案ヲ出シテモ遲クナイノデアリマス、私共ハ此意
味ニ於テモモウ少シ延バシテ來年度ニ於テ此案ヲ御提出ニナル方ガ適當アル、又此政
府ハ信用ガ出來ナイカラ、此處デ其法律上ノ意見ヲ聲明シテ置カネバナラヌト云フ御趣
意デアリマシタガ、實ハソレ程諸君ガ言フナラバ、政府ヲ信用シテ此案ハ默シテ通サウデハ
ナイカト憲政會ノ諸君モ仰セラレタ方ガアルノデアリマスカラ、全然信用ガ出來ナイデモ、
此義務教育案ニ就テハ御信用ヲシテ居ラル、コト、私共ハ信ジマス、斯ウ云フ譯デアリ
マスカラ單ニ憲政會ノ諸君ハ此案ヲ固執スルト云フ意味デナク、全ク全會一致デ此同
ジ趣意ニ向ッデハ成ベク完全ナル案ヲ出スト云フ意味ニ於テ、ドウカ此度ハ此案ヲ御撤
回ニナッテ、何モ國民ノ意思ヲ表ハス、立法權ヲ發揮スルト云フノニハ、政府ノ出シタ案
ニ就テ十分審議ノ餘地ガ有ルノデアリマスカラ、必ズ議員カラ出サナケレバナラヌト云フコ
トハ無いノデアル（出シテモ宜イト呼フ者アリ）ドウカ其意味ニ於テ私ハ此度ハ此案ヲ
御撤回ニナッテハドウデアラウカ、此事ヲ御勸告致シマス（拍手起ル）

○恒松隆慶君 討論終結ノ動議ヲ提出致シマス

（贊成々々ト呼フ者アリ）

○議長（大岡育造君） 恒松君ヨリ討論終結ノ動議ガ出マシタ、御異議ハ御坐イマセ
ヌカ

（異議ナシト呼フ者アリ）

○議長(大岡育造君) 御異議無シト認メマス、因テ討論ハ終結ニナリマシタ、採決ノ方法ヲ豫メ申シマス、委員長ノ報告ニ反對シテ少數意見ガ出テ居リマスカラ、此少數意見ヲ先ニ採決致シマス、少數意見ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

起立者 少數

(三分ノ一)ト呼フ者アリ

○議長(大岡育造君) 少數アリマス、否決、委員長ノ報告ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

起立者 多數

(三分ノ二)ト呼フ者アリ

○議長(大岡育造君) 多數、可決致シマシタ(拍手起ル)此場合報告ガアリマス

(書記朗讀)

一貴族院ハ本院ノ送附ニ係ル左ノ兩院協議會成案ヲ可決シタル旨同院ヨリ通牒ヲ受領セリ製鐵業獎勵法案(政府提出)
一貴族院ヨリ回附セラレタル議案左ノ如シ

(第四號)大正六年度歳入歳出總豫算追加案

○議長(大岡育造君) 唯今報告ニナリマシタ豫算追加案貴族院回付案ヲ、此際議事日程ヲ變更シテ議題トスルニ御異議御坐リマセヌカ

(異議ナシ)ト呼フ者アリ

○議長(大岡育造君) 異議ナシト認メマス

(第四號)大正六年度歳入歳出總豫算追加案

○議長(大岡育造君) 貴族院ノ修正シタル箇所ヲ朗讀致サセマス

(書記朗讀)

(第四號)大正六年度歳入歳出總豫算追加案中貴族院修正ノ箇所左ノ如シ

甲號歳入臨時部第十一款 前年度繰入金中五萬圓ヲ減ス

歳出臨時部大藏省所管第十九款 銀行補助金五萬圓ヲ削ル

○高木正年君 議長

○議長(大岡育造君) 高木正年君

○高木正年君 私ハ此場合政府ニ質問致シタイ事ガアリマス(止セ止セ)ト呼フ者アリ唯今議題トナリマシタ貴族院回付ノ第四號、大正六年度歳入歳出總豫算追加案中貴族院ヲ削除ニナリマシタ金額ハ、興業銀行改正法律案ガ貴族院ニ於テ決議サレザルニ、斯ル削除ニナツタコト、私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、元來此興業銀行法律案ノ改正ハ、政府ノ高等政策ノ一ツデアアルノデアリマス、政府ハ此重要ナル政府ノ政策トシテ提出セラレタ所ノ案ヲ否決セラル、ニ付テ、政府ハ此事ニ對シテ如何ナル考ヲ持ッテ居ルノデアリマス、貴族院ノ此修正ニ對シテハ政府ハ同意セラレタモノデアリマスカ否ヤ、此邊ヲ政府ノ明答ヲ請ヒタイノデアリマス(拍手起ル)

○議長(大岡育造君) 大藏次官

(政府委員市來乙彦君登壇)

○政府委員(市來乙彦君) 高木君ノ御問ニ對シマシテ御答ヲ申上ゲマス、政府ハ日本興業銀行補助ノ豫算ニ對シマスル貴族院ノ削除ニ對シマシテハ、已ムラ得ズ同意ヲ致シマシタ次第御坐イマス、ト申シマスルノハ日本興業銀行ノ法律ニ改正ヲ加ヘマシテ、日本興業銀行ノ勸ラ擴メマスルト申シマスルコトハ、政府ハ熱心ニ希望シテ居ル所デアリノ御坐イマス、然ル所其法律案ガ衆議院ニ於テ特別委員ノ審査ニ付託サレテ居リマシテ、會期ノ終了致シマスル今日ニ至リマスルマデ、未ダ決議ヲ見ナイ次第御坐イマス、斯ク致シマスレバ、到底此會期中ニ法律案ノ審査ヲ了ヘラレマシテ、貴族院マデ通過スル見込ハ無カラウト思フノ御坐イマス、同ジク此關係カラ致シマシテ、豫算ガ貴族院ニ於キマシテ削減サレルト云フコトニナリマシタノハ、甚ダ遺憾デア御坐イマス、是モ致方ナイ事デアラウト考ヘマス、其結果ト致シマシテ法律案追加豫算案第四號ノ全體ニ影響ヲ及ボシマスルト云フコトハ、他ノ關係ニ於キマシテ政府ノ忍ブ能ハザル點デア御坐イマス、因テ政府ハ已ムラ得ズ日本興業銀行補助ノ豫算ヲ削除スル外ハナイト考ヘマシタノ、貴族院ノ修正ニ同意ヲ致シマスル外ナイ次第ニナリマシタノ御坐イマス、斯ノ如キ有様デア御坐イマスルマデ、本院ニ於カレマシテモ衆議院ノ修正ニ(貴族院ノ修正)ト呼フ者アリ御同意アラント切ニ希望致シマス

○元田肇君 今日ノ場合ニ於キマシテハ、貴族院回付ノ案ニ同意ラヌルヲ至當ト認メマス、願クハ滿場御贊成アラント希望致シマス

(贊成々々)ト呼フ者アリ

○議長(大岡育造君) 貴族院修正ニ同意スル諸君ノ起立ヲ求メマス

起立者 多數

○議長(大岡育造君) 多數、同意スルコトニ決シマシタ、日程第十、漁港避難港修築國庫補助法制定ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、委員長高島順作君

起立者 多數

○議長(大岡育造君) 多數、同意スルコトニ決シマシタ、日程第十、漁港避難港修築國庫補助法制定ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、委員長高島順作君

起立者 多數

○議長(大岡育造君) 多數、同意スルコトニ決シマシタ、日程第十、漁港避難港修築國庫補助法制定ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、委員長高島順作君

起立者 多數

○議長(大岡育造君) 多數、同意スルコトニ決シマシタ、日程第十、漁港避難港修築國庫補助法制定ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、委員長高島順作君

起立者 多數

○議長(大岡育造君) 多數、同意スルコトニ決シマシタ、日程第十、漁港避難港修築國庫補助法制定ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、委員長高島順作君

起立者 多數

○議長(大岡育造君) 多數、同意スルコトニ決シマシタ、日程第十、漁港避難港修築國庫補助法制定ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、委員長高島順作君

起立者 多數

○議長(大岡育造君) 多數、同意スルコトニ決シマシタ、日程第十、漁港避難港修築國庫補助法制定ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、委員長高島順作君

起立者 多數

○議長(大岡育造君) 多數、同意スルコトニ決シマシタ、日程第十、漁港避難港修築國庫補助法制定ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、委員長高島順作君

起立者 多數

○議長(大岡育造君) 多數、同意スルコトニ決シマシタ、日程第十、漁港避難港修築國庫補助法制定ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、委員長高島順作君

起立者 多數

○議長(大岡育造君) 多數、同意スルコトニ決シマシタ、日程第十、漁港避難港修築國庫補助法制定ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、委員長高島順作君

起立者 多數

○議長(大岡育造君) 多數、同意スルコトニ決シマシタ、日程第十、漁港避難港修築國庫補助法制定ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、委員長高島順作君

起立者 多數

○議長(大岡育造君) 多數、同意スルコトニ決シマシタ、日程第十、漁港避難港修築國庫補助法制定ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、委員長高島順作君

起立者 多數

○議長(大岡育造君) 多數、同意スルコトニ決シマシタ、日程第十、漁港避難港修築國庫補助法制定ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、委員長高島順作君

起立者 多數

○議長(大岡育造君) 多數、同意スルコトニ決シマシタ、日程第十、漁港避難港修築國庫補助法制定ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、委員長高島順作君

起立者 多數

○議長(大岡育造君) 多數、同意スルコトニ決シマシタ、日程第十、漁港避難港修築國庫補助法制定ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、委員長高島順作君

起立者 多數

○議長(大岡育造君) 多數、同意スルコトニ決シマシタ、日程第十、漁港避難港修築國庫補助法制定ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、委員長高島順作君

起立者 多數

○議長(大岡育造君) 多數、同意スルコトニ決シマシタ、日程第十、漁港避難港修築國庫補助法制定ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、委員長高島順作君

起立者 多數

○議長(大岡育造君) 多數、同意スルコトニ決シマシタ、日程第十、漁港避難港修築國庫補助法制定ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、委員長高島順作君

員長小山溫君ノ報告ヲ得タイノデアリマス、隨テ祕密會ニ致シマス、傍聽者ノ退席ヲ希望シマス——速ニ退場ヲ求メマス

午後二時十二分祕密會ニ移リ午後三時四分祕密會ヲ終ル

○議長(大岡育造君) 祕密會ノ結果ヲ報告申シマス、祕密會ハ審議ノ末左ノ如ク決定致シマシタ、依テ之ヲ宣告致シマス、議院法第九十六條第一項第一號ニ依リ横山勝太郎君ヲ罷責ス

(拍手起ル)

○議長(大岡育造君) 此際報告ガアリマス

(書記朗讀)

一政府ヨリ受領シタル答辯書左ノ如シ

大正六年七月十四日

内閣總理大臣伯爵寺內正毅

衆議院議長大岡育造殿

衆議院議員植原悦二郎君提出前亞米利加合衆國「シャトル」領事高橋清一ノ太田房太郎不法送還及不法監禁ニ關スル再質問ニ對シ別紙答辯書差進候

(別紙)

衆議院議員植原悦二郎君提出前亞米利加合衆國「シャトル」領事高橋清一ノ太田房太郎不法送還及不法監禁ニ關スル再質問ニ對スル答辯書

一ノ太田房太郎不法送還及不法監禁ニ關スル再質問ニ對スル答辯書
太田事件ニ關スル高橋領事ノ措置ハ前回答辯ノ通り當時ノ事情ニ照シ最モ適當ナルモノニシテ其ノ後續地方裁判所及東京控訴院ノ與ヘタル決定ハ高橋領事ノ執リタル措置ノ當否ト關係ナシ又太田歸還ニ關シ高橋領事ニ於テ米國國法ニ違反シタルノ事實ナキコトハ大正五年八月九日附米國國務長官代理ノ在米田中臨時代理大使ニ宛テタル同伴ノ質問書ニ對シ高橋領事ヨリ辯明書提出ノ結果米國政府ニ於テ之ヲ諒承シタルニ徴シテモ明瞭ナリ

右及答辯候也

大正六年七月十四日

外務大臣法學博士子爵本野一郎

大正六年七月十四日

内閣總理大臣伯爵寺內正毅

衆議院議長大岡育造殿

衆議院議員紫安新九郎君提出對支商標ニ關スル再質問ニ對シ別紙答辯書差進候

(別紙)

衆議院議員紫安新九郎君提出對支商標ニ關スル再質問ニ對スル答辯書
一我商標侵害防止ノ手段ハ種々アリ支那地方官憲ヲシテ諭告ヲ出サシメ商標ノ假冒ヲ禁止スルカ如キ其ノ一例ナリ

一支那ニ於ケル商標保護制度確立ノ爲目下政府ノ採リツ、アル措置ニ關シテハ未タ明言スルノ時機ニ達セス
右及答辯候也

官報號外 大正六年七月十五日 衆議院議事速記録第十二號 議長ノ報告

大正六年七月十四日

外務大臣法學博士子爵本野一郎

農商務大臣仲小路廉

大正六年七月十四日

内閣總理大臣伯爵寺內正毅

衆議院議長大岡育造殿

衆議院議員高木正年君提出革命後ノ露國政府ニ對スル帝國政府ノ態度ニ關スル別紙答辯書差進候

(別紙)

衆議院議員高木正年君提出革命後ノ露國政府ニ對スル帝國政府ノ態度ニ關スル再質問ニ對スル答辯書

帝國政府ハ各般ノ時局問題ニ關シ露國假政府ト意思ヲ疏通セムコトヲ期スルニ於テ質問者ト所見ヲ一ニシ之カ爲臨機必要ナル措置ヲ懈ラス唯特ニ使節ヲ簡派スルハ時局今日迄ノ發展ト日露兩國ノ關係トニ徴シ未タ機宜ニ適シタルモノト認メス
右及答辯候也

大正六年七月十四日

外務大臣法學博士子爵本野一郎

大正六年七月十四日

内閣總理大臣伯爵寺內正毅

衆議院議長大岡育造殿

衆議院議員小西和君外二名提出南洋ニ於ケル邦人ノ起業抑壓、發展阻止及帝國ノ威信毀損ニ關スル再質問ニ對シ別紙答辯書差進候

(別紙)

衆議院議員小西和君外二名提出南洋ニ於ケル邦人ノ起業抑壓、發展阻止及帝國ノ威信毀損ニ關スル再質問ニ對スル答辯書

帝國政府ニ於テハ馬來半島ニ於ケル外國人土地租借制限ヲ以テ故ラニ本邦人ノ起業抑壓乃至發展ヲ阻止スルノ目的ニ出テタルモノト認メス尤モ右制限ノ結果本邦人ノ蒙ルヘキ影響渺カラサルヘキヲ以テ帝國政府ハ目下英國政府ト交渉中ナルコト前回答辯ノ通りナリ本件再質問ノ各項ニ對シテハ右交渉未了ノ今日未タ答辯スルコトヲ得ヘキ時機ニ達セス
右及答辯候也

大正六年七月十四日

外務大臣法學博士子爵本野一郎

大正六年七月十四日

内閣總理大臣伯爵寺內正毅

衆議院議長大岡育造殿

衆議院議員福田辰五郎君提出荒川改修工事ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候

(別紙)

衆議院議員福田辰五郎君提出荒川改修工事ニ關スル質問ニ對スル答辯書

一、現在施行中ニ係ル改修區域ノ工事完成ノ時期ハ大正十二年度ノ豫定ナルモ大正十年ニ於ケル出水季節迄ニ主要工事ヲ速成シ同年以後ノ高水ハ新川ニ疏通セシムヘキ計畫ナリ
二、前記區域ノ上流部分ニ對スル改修計畫ハ本年ニ調査ヲ完了セシムル見込ヲ以テ目下極力其ノ進捗ニ努メツ、アルモ未タ改修區域ヲ確定スル場合ニ至ラス而シテ調査完了ノ上ハ速ニ改修ニ著手セシムコトヲ欲スルモ財政上ノ關係アルヲ以テ此際著手ノ時期ヲ明言シ難シ
右及答辯候也

大正六年七月十四日

内務大臣男爵後藤新平

大正六年七月十四日

内閣總理大臣伯爵寺內正毅

衆議院議長大岡育造殿

衆議院議員田中善立君提出亞米利加合衆國ノ石炭及造船材等輸出禁止ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候

(別紙)

衆議院議員田中善立君提出亞米利加合衆國ノ石炭及造船材等輸出禁止ニ關スル質問ニ對スル答辯書

本年四月米國下院ニ戰時輸出禁止法案提出以來政府ハ其ノ實行ノ本邦ニ及ホス影響甚大ナルヘキヲ顧念シ本件形勢ノ推移ニ對シ常ニ細心ノ注意ヲ懈ラス今回大統領令ノ制定ヲ見ルニ至ルヤ其實施上我カ正當ナル利益トノ調和ヲ圖ラムカ爲政府ハ必要ナル努力ヲ爲シツ、アリ
右及答辯候也

大正六年七月十四日

外務大臣法學博士子爵本野一郎

大正六年七月十四日

内閣總理大臣伯爵寺內正毅

衆議院議長大岡育造殿

衆議院議員大津淳一郎君外六名提出後藤內務大臣ノ伊勢大廟ニ於ケル不謹慎事件ニ關スル第三質問ニ對シ別紙答辯書差進候

(別紙)

衆議院議員大津淳一郎君外六名提出後藤內務大臣ノ伊勢大廟ニ於ケル不謹慎事件ニ關スル第三質問ニ對スル答辯書

質問者ハ神官カ嘗テ齋館構内ニ於テ撮影シタル爲諸責處分ヲ受ケタルコトアリト云フモ嘗テ神官カ同所ニ於テ撮影ヲ爲セル事實アルモ之カ爲神地取締規定ニ違反セリトシテ諸責處分ヲ爲シタルコトナシ
右及答辯候也

大正六年七月十四日

内務大臣男爵後藤新平

一貴族院ハ本院ノ送付ニ係ル左ノ政府提出案ヲ可決シタル旨同院ヨリ通牒ヲ受領セリ

軍入恩給法中改正法律案

軍事救護法案

電話事業公債法案

東京帝國大學及京都帝國大學臨時政府支出金ニ關スル法律案

京都帝國大學臨時政府支出金ニ關スル法律案

學校及圖書館特別會計資金ノ一部ヲ一般會計ニ繰入ルル件ニ關スル法律案

農業倉庫業法案

戰時海上再保險法案

造船獎勵金下付停止ニ關スル法律案

東洋殖植株式會社法中改正法律案

蠶絲業法中改正法律案

一貴族院ハ本院ノ送付ニ係ル左ノ議案ヲ可決シタル旨同院ヨリ通牒ヲ受領セリ

(第一號)大正六年度歳入歳出總豫算追加案

(特第一號)大正六年度各特別會計歳入歳出豫算追加案

豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件

(第二號)大正六年度歳入歳出總豫算追加案

(第三號)大正六年度歳入歳出總豫算追加案

臨時軍事費豫算追加案

(特第二號)大正六年度各特別會計歳入歳出豫算追加案

(追第一號)豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件

(特第三號)大正六年度特別會計歳入歳出豫算追加案

(左ノ質問書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)

前亞米利加合衆國「シアトル」領事高橋清一ノ太田房太郎不法送還及不法監禁ニ關スル再質問主意書

右成規ニ據リ提出候也

大正六年七月十日

提出者 植原悦二郎

贊成者 鈴木梅四郎

外三十三人

前亞米利加合衆國「シアトル」領事高橋清一ノ太田房太郎不法送還及不法監禁ニ關スル再質問主意書

法監禁ニ關スル再質問主意書

太田房太郎不法送還及不法監禁ニ對スル本員ノ質問ニ對シ政府ノ爲シタル答辯書ノ如ク高橋領事ノ措置不當ヲラストセハ太田ニ對スル橫濱地方裁判所及東京控訴院ノ判決ハ不當ナリト謂ハサルヲ得ヌ又太田ノ送還ハ米國ノ國法ニ違反シタル行爲ナリト思惟スルモ政府ノ答辯ハ之ニ言及スルコトナシ政府ノ所見果シテ如何

右及再質問候也

對支商標ニ關スル再質問主意書

右成規ニ據リ提出候也

大正六年七月十日

提出者 紫安新九郎

贊成者 賴母木桂吉

外三十八人

贊成者 賴母木桂吉

外三十八人

贊成者 賴母木桂吉

外三十八人

贊成者 賴母木桂吉

外三十八人

贊成者 賴母木桂吉

外三十八人

對支商標ニ關スル再質問主意書

第一 支那ニ於テ我カ商標ノ模造、偽造ノ行ハレ我カ商品ノ販路ヲ壅塞シ我カ製品ノ聲價ヲ失墜シツアルハ看過スヘカラサル事實ナリトシ政府ノ所見ヲ質問セルニ對シ政府ハ我カ利益侵害ノ防止ニ關シテハ支那官憲ニ交渉シテ相當ノ保護手段ヲ盡サシメタリト答辯セリ政府ノ所謂相當ノ保護手段トハ如何ナル事實ヲ謂フヤ

第二 對支貿易ニ於テ各國ト激烈ナル競爭ヲ爲サムトスルニ際シ我カ商標ノ偽造盜用セラルルコト今日ノ如キニ於テハ我カ商品ハ支那市場ニ於テ永ク優勝ノ地位ヲ占ムルコト能ハサルヘシ之ニ對シ政府ハ如何ナル措置ヲ取ラムトスルカト質問ニ對シ政府ハ我カ國對支貿易ノ現狀ニ鑑ミ商標保護制度確立ノ益急ナルヲ認メ目下應急手段トシテ最善ト信スル措置ヲ講シツアリト答辯セリ政府ノ所謂最善ト信スル措置トハ如何ナル事實ヲ謂フヤ

右及再質問候也

革命後ノ露國政府ニ對スル帝國政府ノ態度ニ關スル質問主意書

右成規ニ據リ提出候也

大正六年七月十一日

提出者 高木 正年

贊成者 紫安 新九郎 外二十九人

革命後ノ露國政府ニ對スル帝國政府ノ態度ニ關スル質問主意書

革命後ノ露國政府ニ對シ各國爭フテ代表の人物ヲ派シ慰問激勵是レ努メ以テ聯合國彼我ノ事情ヲ疏通セムコトヲ期セリ然ルニ此ノ間帝國政府ハ未何等ノ處置ヲ執ラス其ノ態度ニ就テハ我カ國民ノ遺憾ト爲スモノアルヲ覺ユ帝國政府ノ意見如何右及質問候也

南洋ニ於ケル邦人ノ起業抑壓、發展阻止及帝國ノ威信毀損ニ關スル再質問主意書

右成規ニ據リ提出候也

大正六年七月十二日

提出者 小西 和

贊成者 齋藤 宇一郎

外三十九人

南洋ニ於ケル邦人ノ起業抑壓、發展阻止及帝國ノ威信毀損ニ關スル再質問主意書

一 馬來半島ニ於ケル土地拂下ノ禁止の制限ハ一般外國人ニ對スルモノニ相違ナシト雖同半島ニ於ケル英國臣民ト看做サルヲ以テ事實上此ノ制限ヲ受クルモノニ非ス其ノ他ノ外國人ハ現時土地ノ拂下ヲ受クル者殆ト絶無ナリ然ルニ邦人ハ十餘年來拮据經營試驗の起業ノ結果最近ニ至リテ漸ク合理の事業ナルヲ確知シ得タリ而シテ邦人ノ起業經營ハ其ノ方法極メテ確實ナルカ爲土地拂下ノ制限ニ依リ最痛切ナル影響ヲ蒙リツツアリ之ニ對シ政府ノ所見如何

二 英國政府カ外國人ニ對シテ馬來半島ノ土地拂下ヲ制限セル理由ハ戰爭ノ爲資本其ノ他ノ關係上英國臣民ハ該地拂下ヲ手控ニルノ外ナキニ至リ此ノ場合ニ於テ外國人ニ土地拂下クルトキハ輿論沸騰ノ虞アリトスルニ在ルカ如シ然

ルニ實際ニ於テハ英國人拂下ノ地積ハ戰役開始ノ前後ニ於テ何等ノ差異ナシ而モ同半島ニ於ケル英國人ニシテ同盟國人民ニ對シ土地拂下ヲ制限セル自國政府ノ處置ヲ非難スル者スラ渺カラサルナリ之ニ對シ政府ノ所見如何

三 馬來半島ニハ到ル處未開地ノアラサルナク同半島官製色分地圖ヲ一瞥スレハゾホール、ゲター、パン、スランゴール、ネギス、ミラン等ノ各州ヲ通シ壘成セラレタル土地ハ頗ル鮮少ナルヲ知得スルニ難カラス故ニ英領海峽殖民地政府ハ起業開拓ニ付勸誘獎勵ニ努ムル事實アリ然ラハ即チ邦人カ土地ノ拂下ヲ受ケ開墾栽培ノ業ヲ營ムハ同半島ニ於ケル富源ヲ啓發スル所以ニシテ英國側トシテモ利アリテ害ナク戰時中ト雖何等英國人ノ利權ヲ侵害スルモノニ非サルヤ明ナリ政府ノ所見如何

四 英國政府ノ外國人ニ對スル馬來半島未開地拂下ノ制限ハ主トシテ邦人ノ起業ヲ抑壓スルノ結果ヲ生ス然ルニ英國政府カ敢テ此ノ處置ニ出デタルハ諒解ニ苦シム所ナリ政府ニシテ能ク事實ノ判明ト道理ノ徹底ニ努ムルニ於テハ英國政府ハ必ス我カ希望ヲ容レ我カ交渉ニ應スヘク之ニ依テ圓滿ナル解決ヲ見ルニ至ルヘキヲ疑ハス政府ハ能ク如上ノ方法ヲ執リ以テ圓滿ナル解決ヲ遂クルノ自信アルカ

五 日英兩國間ニハ鞏固ナル同盟ノ誼アリ這回戰亂ノ勃發以來彼我共同作戰ヲ爲シ我カ海軍ハ南洋及印度洋ニ出動シテ能ク英國ノ領土臣民ノ安全ヲ確保セルニ止ラス更ニ進ムテ遠ク地中海方面ニ活躍ヲ試ミツアルカ如キ兩國ノ友情的關係ノ密接ニシテ其ノ親善ナル未曾有今日ニ比スヘキナシ故ニ馬來半島ニ於ケル土地拂下制限問題ノ解決亦頗ル容易ノ業ニ屬シ敢テ困難ノ事ニ非サルヘシ之ニ對シ政府ノ所見如何

六 凡百ノ方面ヨリ之ヲ觀ルモ邦人ニ對シ馬來半島ノ土地拂下ヲ制限セルヘカラサルノ理由アリト認ムル能ハス況ヤ本邦人ハ英國人ノ利權ヲ侵害スルカ如キ大仕掛ヲ以テ起業經營スルモノニ非サルニ於テヤ從テ假ニ戰時中一般外國人ニ對シ土地拂下ヲ制限スルノ餘儀ナキ理由アリトスルモ邦人ヲシテ從前同程度ニ於ケル起業經營ヲ繼續セシムルニ足ルヘキ限度ヲ侵ササルハ英國政府トシテ帝國ニ對シテ努ムヘキ當然ノ處置ナルヘシト信ス而シテ此ノ要求ハ政府トシテ須ク爲スヘキ至當ノ要求ニ非スヤ政府ノ所見如何

七 馬來半島土地拂下制限問題ノ發生以來既ニ五閱月政府ハ該件ニ關シ英國政府ト目下交渉中ナリト言フ雖未圓滿ナル解決ヲ告グルニ至ラサルハ其ノ責我カ政府當局ノ怠慢ニ在リ英國政府ニ對シテ其ノ事情及道理ヲ徹底セシメ能ハサルニ基カスムハアラス政府ハ本年早春以來馬來半島方面在留邦人ノ多數カ今ニ至ルモ尙該件ニ付何等ノ光明ヲ認ムル能ハス手ヲ空ウシテ其ノ解決ヲ待ツツアルノ窮狀ヲ顧慮セサルカ政府ノ誠意アル所見如何

八 馬來半島土地拂下制限問題ニ付政府カ適當ナル交渉ヲ遂ケ満足ナル解決ヲ爲ササル爲同半島在留邦人中ニハ自ラ政府當局ノ怠慢ヲ慨スルニ止ラス一轉シテ英國政府ノ處置ヲ非難スルコト甚シキニ至リ延テ累ヲ日英兩國現下ノ好感ト親善トニ及ホサムトス政府ハ如上ノ點ニ想到シテ之ヲ憂慮セサルカ

右及再質問候也

荒川改修工事ニ關スル質問主意書

右成規ニ據リ提出候也

大正六年七月十一日
提出者 福田 辰五郎

贊成者 古川 清
外三十一人

荒川改修工事ニ關スル質問主意書

政府ハ明治四十三年治水ニ對スル根本方針ヲ樹テ六十五箇河川ヲ改修スルコトトセリ而シテ荒川ハ第一期計畫ニ屬シ目下川口町以南ノ工事ニ著手シツアルモ其ノ進行甚ダ遅タルノ感アリ依テ左ノ事項ニ付内務大臣ノ答辯ヲ求ム

一 現在著手セル區域ノ改修工事完成ノ時期如何
二 前記區域ノ改修工事完成ノ後次ニ著手スヘキ區域及之ニ關スル調査ノ經過並該區域ニ於ケル工事ノ實施期如何
右及質問候也
追テ趣旨辨明ハ之ヲ爲ササルニ付書面ヲ以テ速ニ答辯アラムコトヲ望ム

亞米利加合衆國ノ石炭及造船材等輸出禁止ニ關スル質問主意書
右成規ニ據リ提出候也

大正六年七月十三日
提出者 田中 善立

贊成者 尾崎 行雄
外三十二人

亞米利加合衆國ノ石炭及造船材等輸出禁止ニ關スル質問主意書

米國大統領「ウイilson」氏ハ最近制定ノ涉外事項取締法ニ依リ與ヘラレタル權限ニ基キ七月九日戰時必要品輸出禁止令ヲ裁可シ石炭、骸炭、燃料油、燈火用石油、ガソリン、銑鐵、ステールロピレット、造船用鐵材、屑鐵、屑鋼等ハ米國政府ノ特許ヲ得タルモノノ外七月十五日以後日、英、佛、獨、支等五十六箇國即チ一切ノ外國ヘノ輸出ヲ禁止セリ之カ爲我カ國家及造船業運輸業者ノ蒙ル損害實ニ甚大ナリトス本件ハ本年四月ノ交已ニ米國官民間ノ大問題トナリシト聞ク帝國政府ハ當時ヨリ之ニ對シ如何ナル措置ヲ執リタルカ
右及質問候也

後藤内務大臣ノ伊勢大廟ニ於ケル不謹慎事件ニ關スル第三質問主意書
右成規ニ據リ提出候也

大正六年七月十三日
提出者 大津 淳一郎
小山 東助
關 和知
贊成者 井原 百介
外百九人

山田 珠一
荒川 五郎
田中 善立
川崎 克

後藤内務大臣ノ伊勢大廟ニ於ケル不謹慎事件ニ關スル第三質問主意書
齋館ハ別ニ用途アリ神地取締規定ニ依ルヘキモノニ非スト強辯シ攝影ハ其ノ先例アリト謂フモ先例ヲ見ルトキハ曩ノ式年正遷宮式終了後外宮齋館即チ後藤内務大臣ノ攝影ヲ爲セシト同一場所ニ於テ神宮禰宜江見清風(現任神宮儀式課長)同田中秀全(前神職)以下カ寫眞師ヲ招キ遷宮奉仕ノ正裝ヲ以テ攝影ヲ爲セシトアリ而シテ攝影後日ナラスシテ問題トナリ神地取締規定違反ノ理由ニ依リ手續書ヲ徵セラレ遺責處分ヲ受ケタルノ先例アリ以上ノ事實ニ對シ政府ハ尙且神地取締規

定ニ依ラスシ處罰セラレタル先例ナシトスルカ政府ノ所見如何
右及第三質問候也

今十四日貴族院ニ於テ左ノ議案ニ對シ可決シタル旨通牒ヲ受領セリ
大正四年度豫備金支出ノ件
大正四年度特別會計豫備金支出ノ件
大正四年度大正三年臨時事件豫備費支出ノ件
(承諾ヲ求ムル件)

製鐵業獎勵法案(兩院協議會成案)
○議長(大岡育造君) 此場合國務大臣ノ答辯ニ對シテ意見ヲ述ブルト云フ植原悦二郎君ノ通告ガアリマス——植原悦二郎君

國務大臣ノ答辯ニ關スル疑義

(植原悦二郎君登壇)

○植原悦二郎君 今日ハ議會ノ最終日デアリ、非常ナ貴重ナ時間デアルノニ、斯ウ云フ問題ヲ持出シマシテ時間ヲ取去ルノハ甚ダ遺憾ト致シマス、併ナガラ此問題ハ諸君ハ委シク御存ジテハ御坐イマスマイケレドモ、太平洋沿岸ニ於キマス所ノ十萬ノ日本人ノ安危盛衰ニ關スル重大ナル問題デアリマス、故ニ本議會ノ開會ノ劈頭ニ於テ私ハ此案ヲ政府ニ提出致シテ質問シタノ御坐イマス、是ガ議事日程ニ上リシタノヲ其當日政府カラ答辯書ガ出マシテ、其質問ニ對スル發言權ヲ一時止ムルノ已ムナキニ至ツタノ御坐イマス、故ニ又再ビ質問書ヲ提出致シマシテ議事日程ニ上リマシケレドモ、種種ナル理由ノ爲メニ已ムラ得ズ又一時發言ヲ中止スルニ至ツタノ御坐イマス、今日ニ至リマシテ答辯書ヲ得マシタカラ之ニ對スル意見ヲ述ベナケレバナラナイ、此事實問ニ對シマシテハ既ニ諸君ノ御手許ニ配付サレテアリマス所ノ書類ニ依リマシテ、其輪廓ダケハ諸君ハ御存ジノ事デアラウト思ヒマス、併シ此内容ニ就テハ中々複雑ノ事件ヲ御坐イマスカラシテ、一通リ説明ヲ致サナケレバナラヌト私ハ考ヘテ居リマス、事件ハ大分舊イ事件ヲ御坐イマス、大正二年十一月ニ始ツテ漸ク本年ノ四月ニ至ツテ結末ヲ告ゲタ事件ヲ御坐イマス、嘗テ桑港ニ於テ千九百七年ニ起リマシタ日本人學童問題ニ就キマシテハ、日本國民モ一般ニ米國ノ處置ニ甚シキ反感ヲ懷キマシテ、政友會國民黨カラモ之ニ慰問使ヲ送ツテ、在留民ヲ慰メタ事件モアリマス、又千九百十三年ニ加州ニ於キマス外人土地禁止法案ノ爲メニ、我國ハ日本ノ關係ヲ之ガ爲メニ將來破壞スル憂ガアルト云ツテ、朝野共ニ議論ヲ囂シタ問題ヲ御坐イマス、私ハ此二問題ニ比較シテ唯今私ガ茲ニ提出シタル質問事件ハ、優レバトテ劣ラザル所ノ太平洋沿岸ニ於ケル十萬ノ日本人ニ對シテ、重大ナル事件デアルト信ジテ居ルノ御坐イマス、故ニ其内容ヲ説明致シマシテ如何ニ政府ノ答辯ガ其當ヲ得テ居ルカ居ラザルカノ諸君ノ御判斷ヲ煩シタイト思フ、大正二年十一月一日亞米利加合衆國「シヤトル」市發信ニテ、時ノ内閣總理大臣山本伯、及外務大臣牧野男ニ宛テタル所ノ不敬投書ナルモノガアッタノデアリマス、又大正三年四月三日ハ同シク同市發信ニテ時ノ應司待從長、及ヒ渡邊宮内大臣ニ宛テタル所ノ同一筆蹟ノ不敬投書ナルモノガアッタノ御坐イマス、是ニ付キマシテ本國ノ政府ハ當時「シヤトル」市ノ領事デアッタ所ノ高橋清一氏ニ命令ヲ與ヘテ、不敬投書ノ筆者ノ探索ヲサセタノ御坐イマス、今日ニ至リマシテモ此ノ不敬投書ノ筆者ガ誰デアルカハ明白ニ分リマセヌケレドモ、過去二箇年間「シヤトル」ニ於キマス所ノ日本人會太平洋沿岸ノ各日本人會ヲ併セテ聯合日本人會、「シヤトル」ニ於キマス所ノ實業團體ガ寄テ調査シタル所ニ依リマスルト云フト、此ノ不敬投書ノ筆者ナルモノハ實際ノ不敬ト云フコトガ目的デナクテ、或一個人ヲ害スルガ爲メニ不敬ト云フコトヲ簡單ニ私用シタ

コトアルヤウニ、總テノ事實ガサウ思ハレハヤウニナッテ居ルノ御坐イマス、事實ハハッ
キリシテ居リマセウカラシテハ誰ガ不敬投書ノ筆者ノ犯人デアルカト云フコトハ申上テ
ラレマセヌ、併ナガラ「シヤトル」ニハ二ツノ新聞ガアル、其ノ二ツノ新聞ハ「シヤトル」ニ於テ
ドウシテモ日刊新聞上競争スルコトガ出来ナイト云フコト、二ツノ新聞ガ「シヤトル」ニ於テ
篇ヲ割ッテ互ニ罵倒シ、中傷譏諷殆ト新聞同志ノ喧嘩トシテ有ル間敷キ行動ガアツタノ
御坐イマス、時ニ二ツノ新聞ガ筆ヲ揃ヘテ「シヤトル」ニ於キマス所ノ一ツノ日刊新聞
ノ主筆ヲ社會主義者デアル、彼ハ社會主義者デアルト云フコト、其ノ名譽ヲ傷ケ、是
ニ社會主義ト云フ燒判ヲ押シテ此人間ヲ社會カラ擯ラウト企テタノ御坐イマス、社
會主義不敬ト云フコトハ、日本ニ於キマシテ使ハレマスガ、一度此ノ言葉ヲ公ケノ
社會ノ其ノ或人ニ與ヘラレマシタナラバ、殆ト社會ノ致命傷ヲ受ケルノ御坐イマス、
私ハ斯ク信ジテ居リマス、日本ノ國民ニシテ此ノ土地ニ生ラ受ケ、此ノ土地ニ生ラ守
リ、自分ノ生命財產ヲ此ノ土地ニ持ッテ、然モ先祖代々日本ノ臣民デアル者ガ、ドウシ
テ日本ノ國ニ對シテ危害ヲ爲スト云フヤウナコトガ考ヘラレマセウカ、斯ウ云フコトヲ考
マスレバ容易ニ人ヲ社會主義者トカ、不敬者デアルトカ云フコトハ言ハレナイノニ、日本
ハ屢ニ之ヲ濫用スル結果、新聞社ヲ倒ス爲メ不敬投書社會主義ト云フ文字ヲ盛シ使ッ
タノデアリマス、其爲ニ此ノ不敬投書ト云フモノガ企テラレタモノデナカラウカト云フヤウ
ニ、總テノ日本人會實業家ノ調査ニ依レバ幾多ノ事情ノ其處ニ當ッテ居ルノ御坐イマ
ス、時々又再ビ大正三年七月一日ノ日附テ日本ノ艦隊ガ、彼處ニ參リマシタ、時ニ黒井
中將ニ宛テ不敬投書ガアツタ、又大正四年四月十七日ニ高橋領事日本人會長等
ニ宛テ不敬所ノ不穩ノ文字ヲ使ッタ所ノ投書ガアツタ、是ト大正二年ノ不敬投書ト同一
筆跡ノモノデアルト云フコトガ分リマシテ、此ノ「シヤトル」ノ高橋領事及日本人會長ニ
宛テ不敬所ノ不穩ノ文字ヲ羅列シタ所ノ投書ハ、賭博場ノ事ニ關係シテ居ッタ、此ノ太
田房太郎ナルモノハ一方ニ於テ労働者ヲシテ居ル傍ラ、時々支那政府ノ賭博場ニ出入
シタト云フノ新聞ニ關係シテ居リマス者ガ、太田ノ筆跡ガ能ク不敬投書ノ筆跡ニ似テ
居ルト云フコトヲ領事館ニ知ラセマシテ、太田ヲ呼シテ調ベサウシテ稍、其ノ筆跡ガ似
テ居ルト云フコトガ分リマシタノデ、高橋領事ハ太田房太郎ヲ日本ニ送還スルト云フコ
トヲ決定シタノ御坐イマス、此時ニ「シヤトル」ニ於キマス所ノ幾多ノ有力者及ビ日
本人會實業俱樂部等ハソレハ甚ダ輕卒ノ處置デアル、太田房太郎ハ十六七歳ノトキ
ニ紀州ヨリ亞米利加ニ渡来シ、二十箇年間亞米利加ニ労働シテ居、彼ノ生活ハ盡
ク労働ト云フコトヲ終ルノデアル、テ彼ノ境遇彼ノ思想、彼ノ今日マデノ状態ヲ鑑ミレ
バ、身體ハ大キナイケレドモ労働者ノ間ニ「ヌーボー」ト言ハレテ居ル奴ガ、斯ウ云フヤウナ
人間ガドウシテ國家トカ、社會トカ云フヤウナ重大ナル問題ニ關係スベキ理由ガアルカ、
高橋領事モ十分ナル所ノ調査ヲ爲スデ御遣リナサッタラバ宜カラウ、此邦人實業家俱
樂部ニ於テ言ハレマシタ所ノ記事ガアリマス、斯ウ云フノデアリマス、在留邦人ハ太田送
還ニ反對スル理由ハ、領事ガ人権ヲ蹂躪シ、米國國法ヲ無視シテ居留民ヲ送還スル
如キ非違ノ甚シキモノナルノミナラズ「シヤトル」ニ在留民中ヨリ不敬投書ヲ爲シタル者アリ
トシテ在留民ヲ疑フハ、在留民ノ名譽ヲ尊重セザルモノナルノミナラズ、不敬投書ノ如
キハ一個狂人ノ處爲ナルベキニ、斯ノ如キ輕々ノ事柄ヲ左モ重大事ノ如ク見做シ、犯
人ノ搜索ニ狂奔スル領事ノ醜態ニ至テハ驚カサルヲ得ヌ、之ニ對シテ在留民ハ再三再

四太田房太郎送還ニ反對シ、領事ニ勸告シタノ御坐イマス、然ルニ領事ハ在留同
胞ノ多數ノ意見ヲ用非ズシテ、太田房太郎ヲ送還スルコトニナッテ、大正四年十月十九
日「シヤトル」ニ出帆ノ安藝丸ニ太田房太郎ヲ誘致シタノデアリマス、太田房太郎或
口實ノ下ニ呼寄セテ、サウシテ太田房太郎ヲ安藝丸ノ病室ニ入レテ柔道四段ヲ云フ
所ノ力ヲ強イ二人ノ者ヲ附加ヘテ、サウシテ「シヤトル」ニ「港ヲ出ルマデ」シヤトル」カ
ラ病室ノ中ニ閉籠メテヤッテ來タノ御坐イマス、是ガ不法デナイト云フコトガドウシテ言ハ
レマセウカ、憲法ノ第二十三條ニ日本臣民ハ法律ニ依ルニ非ズシテ逮捕監禁審問處罰
ヲ受クルコトナシ、斯ウ云フ規定ガアリマス、太田房太郎ハヨシヤ不敬投書ノ犯人デアリマ
シテモ、米國ニ居ル間ハ米國ノ國法ニ從フベキモノデ、米國ハ治外法權ノ國デアリセヌ、
日本ノ領事ノ官權ヲ以テ米國ニ於ケル所ノ日本人ヲ送還スルガ如キコトハ、米國ノ
國法ヲ犯サレバ絕對ニ爲シ能ハザル所デアリマス（成ベク簡單ニ願ヒマス）ト呼フ者アリ
（テ領事ガ如何ニ太田ヲ殘酷ナルコトヲシマシタカ）シヤトル」ニ於ケル所ノ邦人ハ如何
ニモ領事ノ太田ニ對スル過酷ナル處置ヲ見届ケヤウト思ヒマシテ、十月十九日「シヤト
ル」ヲ出發シテ安藝丸ニ搭乘シテ「ウィクトリア」マデ來テ、態、病室ニ置ケル所ノ太田ヲ
引出シテ送還サレニ至ツタ手續ヲ聞イタ、其時ニ太田ガ言ッタ言葉ガアリマス「領事サン
モアンマリ私如キモノニ大キナ嫌疑ヲ掛ケナスッテ、私ヲ社會主義者デヤノ無政府主義者
ヤノトドウ云フモノカ知ラスケレドモドレタケ拷問サレタコトヤラ首ヲ切ラレヤウト知ラヌ
コトハ白狀ハ出來ヌノテ殊ニ領事トモアラウ者ノ勿體ナイ 陛下ヘノ獻納品ニ付テ相談
シタケレバ來テ呉レト眞赤ナ嘘ヲ人ヲ騙シ鼠ヲ箱ニ入レテ蓋ヲシタヤウニ此通り病室ニ監
禁サレテ居リマス（拍手起ル）之ニ依ッテ領事ガ強制的ニ太田ヲ送還シタル所ノ事
實ハ明白デアアルト思ヒマス、而シテ太田ハ日本ニ參リマシテ、約一年半橫濱ノ根岸ノ監
獄ニ密室監禁サレテ幾多ノ取調ヲ受ケタノ御坐イマス、此間「シヤトル」ニ於キマス所
ノ在留民デ、本國ニ歸國スル者ハ、橫濱ヲ通過スル者ガ検事局ニ喚バレザルモノハ一八
モナイノ御坐イマス、諸君ハ之ヲ簡單ナル問題ト思ヒナサルカ知リマセヌケレドモ、不敬
事件、社會主義ト云フテ、外國ニ居ル日本人ヲ不法ニ日本ニ送還シテ約一箇年半モ
橫濱ニ密室監禁サレテ居ルノヲ我同胞トシテ同シ日本ノ民族トシテ、一掬ノ涙ヲ灑ガ
ナイデ何デ居ルコトガ出來マセウカ（御尤々）「簡單ニ願ヒマス」ト呼フ者アリ）而シ
テ太田ハ約一年半經テマシテ、本年ノ一月ニ至ッテ橫濱ノ裁判所ニ於テ豫審免訴ト
ナツタノ御坐イマス、幾多ノ事情、是ニハ法律上ノ問題、國際上ノ問題ガ關聯シテ居
ルト云フコト、檢事ハ抗告シテ控訴院ニ至リ、東京ノ控訴院ニ於テモ無罪ノ宣告ヲ受
ケタノ御坐イマス、太田ガ橫濱ニ居リマシテ密室監禁ヲ解カレタ其時ニ、初メテ一
年振リテ亞米利加ノ知己ノ處ニヤッタ書面ニ斯フ云フ文句ガアリマス「永年獄中ニ日ヲ
送りシガ近ク豫審終結スベク存候得共唯今ハ裁判豫審中ニテ事情申上グルコトモ出
來ズ小生モ誠ニ殘念トモ無念トモ如何ニ不幸ノ身ノ上トテ無實ノ罪マデ言ヒ掛ケラレ
永ガノ年月獄ニ苦ミツ、胸ニ涙ノ乾ク日トテナク誠ニ無念々々（曾テ西原事件ニ付キマ
シテ島田君ガ色々ノ事ヲ申上テタラバ、外務大臣ハ小説的デアアルト御批評ナサツタカラ、
私ノ事ハ小説的ニ殆ト思ハレハ程デアアルケレドモ、悉ク事實デス、此間ニ一言ノ脚色モ
亦誇張モナイ事實ヲ成ルベク簡單ニ申上グルガ爲メニ、成ルベク局限シ縮小シテ居ルノ
デアリマス（ヒヤ／＼）「簡單」ト呼フ者アリ）斯ウ云フ事情ノ下ニ送ラレテ、斯ウ云フ待

遇ヲ受ケテ者ニ對シテ、此處置如何ト外務大臣ニ問ヒマシタラバ、外務大臣ハ高橋領事ノヤツコトハ不當デナリ、斯ウ云フ御返答デ御坐イマス、不法デナリ、素ヨリ此事件ノ起リマシタ時ハ前内閣——大隈内閣ノ時ニ起リマコトデアアルノ御坐イマス、今日此局ニ當ラレマシタ所ノ小池政務局長モ餘リ内容ヲ御存ジナイ、外務大臣ニ於キマシテモ領事ノ一方ノ報告位ハ御存デアツカモ知レナイケレドモ、「シヤトル」在留民ノ取調ベタ日本入會ガ取調ベタ總テノ事實ハ御存デ無カラウト思ヒマス、故ニ斯ノ如キ御返答ヲ爲スニ違ヒハナカラウト思ヒマス、又私ハ高橋領事ガ故意ニ惡意ヲ以テ太田ヲ送還シタモノトハ思ヒマセヌ、一言ニシテ申セバ高橋清一ハ愚直ナル人間デアツテ、社會主義者或ハ不敬投書ガ有ツタカラシテ、ツレバ取調ベテ日本ニ通知セヨト云フコトヲ眞面目ニ受ケテ、何處マデモ太田ガ其犯人デアルト吞込シテ之ヲ爲シタルコトデアルト私ハ信ジテ居リマス、決シテ高橋領事ニ惡意ガアツタトハ思ヒマセヌケレドモ、責任アル官吏、而モ責任アル所ノ地位ニ居リテ、十有餘方ノ在留民ノ保護ヲシナケレバナラナイ立場ニ居ル所ノ日本政府ノ代表者ハ、最モ斯ウ云フ事件ニ對シテハ慎重審議事ニ當ラナケレバナラヌト思ヒマス、輕卒ニヤツタカラシテツレバ責任ヲ遁レルカ、又惡意ガ無クヤツタカラシテツレバ責任ヲ遁レルカ、斯ウ云フコトニナリマス、私ハ斷シテ此責任ヲ遁レル事ハ出來ナイ（「ヒヤ／＼」ト呼フ者アリ）間違ッタ事ニセヨ、或ハ誠心誠意ツレバ日本ノ爲メニ——日本國民ノ爲メニ善イト思ッテ居タコトニセヨ、ツレバ法律上不法ノ事デアルナラバ、不法ノ責任ヲ負ハナケレバナラナイト私ハ確信シテ居リマス（拍手起ル）官吏ガヤツタカラ或ハ一個人ガヤツタカラシテ其間ニ責任ノ相違ガアルベキ筈ガナイ（「分リマシタ」ト呼フ者アリ）之ニ依リマスルト如何ナル點カラ取調ベマシテモ、高橋領事ノ措置ハ最モ輕卒ナルモノデアツタ在留民ノ意思意向ニモ反シ、太田房太郎ノ境遇思想感情ヲモ取調ベズ、唯一時ノ出來心デ太田ヲ送還シタルコト、而モツレガ亞米利加ニ於テ日本ノ法律ノ行ハレザル所、法律ノ命ニ據ラスシテ之ヲ爲シタルモノデアルト云フコトハ一點ノ疑問ガナイデス（「ヒヤ／＼」簡單）「教會デハナイ」ト呼フ者アリ、而ニナラズ、縱シ太田ガ實際ノ犯人デアルトモ、領事ハ亞米利加ニ居ル所ノ日本人ヲ送還スルト云フガ如キコトハ、亞米利加ノ政府ノ許諾ガ無クテハ出來ナイ事デアリマス、唯今ノ政府ノ辯明書ニハ後ニ高橋領事ガ亞米利加政府ノ許シテ受ケタ、事後承諾アルカラシテツレバ不法デナリト仰シヤルノデセウカ、高橋領事ガ其行爲ヲナシタル時ニハ米國ノ一代議士ハ之ヲ米國ノ議院ノ問題トシヤウトシタノ御坐イマス、併ナガラ在留民ハ高橋領事ヲ亞米利加ノ法院ニ引出スコトハ日本ノ威信領事館ノ權威ヲ傷ツケルモノトシマシテ、日本人自ラガ此事件ノ却下ヲ願フタト云フコトデアリマス（「其通り」簡單）ト呼フ者アリ、デ若シ高橋領事ガ之ヲ後ニ願フタト云フコトデアツテ、辯明シヤウト思ヒマシテモ、米國ニ於キマシテ事實ヲ御調ベナリマスルナラバ、米國ノ代議士ガ之ヲ問題トシ、日本人ガ亞米利加ノ裁判所ニ高橋領事ノ蹂躪トシテ訴ヲ起シタノデアリマス、ダケレドモ在來ノ有力者ハ高橋領事ヲ罪スルノハ望マナイコトダケレドモ、日本ノ國家ノ威信ヲ害フコトハ實ニ遺憾デアルト云フ立場カラ之ヲ却下スル願ヲ出シテ、此事件ノ終結ヲ告グルニ至ツタノデアリマス、デ斯ウ云フ事實カラ考ヘテ見マシテ、高橋領事ガ亞米利加ノ國法ヲ犯サズシテ、太田房太郎ヲ日本ニ送還シタト云フコトモ言ハレズ、若シ高橋領事ノ行爲ガ不法デ無イモノナラバ横濱——東京控訴院ニ於ケル所ノ裁判ハ不當デアルト言ハナケレバナリマセヌ（「モウ分ッタ」ヒヤ／＼）ト呼フ者アリ（拍手起ル）デ是等ノ點カラ考ヘテ見マスルナラバ、此事件ハ非常ニ大ナル事デアルト私ハ信ジテ居リマス、故ニ單ニ太田房太郎一個人トセズシテ、在外ニ於ケル日本多數ノ國民ヲ斯ウ云フ領事ノ横暴、人權蹂躪ヲ是認シマシテ、ドウシテ日本ノ海外ニ於ケル所ノ日本人ヲ保護スルコトガ出來マセウカ（「ヒヤ／＼」ト呼フ者アリ）デ日本ノ今日ハ海外發展ヲ以テ急務トシテ居ルト云フコトハ、朝野一般ノ希望デアルト私ハ信ジテ居リマス、其場合ニ海外ニ於ケル所ノ在留民ガ、唯一ノ保護者ト頼ム領事ノ斯ウ云フヤウナ行動ヲ是認スルト云フヤウナ事ガアリマシテハ、到底私ハ海外發展或ハ海外ニ於ケル所ノ在留民ヲシテ安心シテ其業ニ従ハシメルコトハ不可能デアルト思ヒマス（「ヒヤ／＼」ト呼フ者アリ）故ニ此問題ヲ茲ニ掲ゲテ諸君ノ十分ナル考慮ヲ煩ハシタイト云フノガ私ノ意思デアリマス（拍手起ル）

○議長（大岡育造君） 請願委員長齋藤桂次君

- | | | |
|------|--------------------------------|---------|
| 第十一 | （特別報告第五十號）日露戰役ニ於ケル被虜沈船救恤ノ請願 | （委員長報告） |
| 第十二 | （特別報告第五十一號）朝鮮ニ官幣大社奉祀ノ請願 | （委員長報告） |
| 第十三 | （特別報告第五十二號）紋別網走兩港比較調査ニ關スル請願 | （委員長報告） |
| 第十四 | （特別報告第五十三號）大阪府下飛田ニ對スル遊廓指定取消ノ請願 | （委員長報告） |
| 第十五 | （特別報告第五十四號）仙臺市水道工事助成ニ關スル請願 | （委員長報告） |
| 第十六 | （特別報告第五十五號）酒造稅法中改正ノ請願 | （委員長報告） |
| 第十七 | （特別報告第五十六號）不足金祿公債下附ノ請願 | （委員長報告） |
| 第十八 | （特別報告第五十七號）紙價調節ニ關スル請願 | （委員長報告） |
| 第十九 | （特別報告第五十七號）紙價調節ニ關スル請願 | （委員長報告） |
| 第二十 | （特別報告第五十八號）小坂鑛山鑛毒ニ關スル請願 | （委員長報告） |
| 第二十一 | （特別報告第五十九號）能生小泊港ヲ漁船避難港トシテ築設ノ請願 | （委員長報告） |
| 第二十二 | （特別報告第六十三號）元富岡區裁判所復舊ノ請願 | （委員長報告） |
| 第二十三 | （特別報告第六十四號）元鹿兒島地方裁判所大島支部復舊ノ請願 | （委員長報告） |
| 第二十四 | （特別報告第六十五號）元竹原區裁判所復舊ノ請願 | （委員長報告） |

第二十五 (特別報告第六十七號) 豐田下村ニ三等郵便局設置ノ請願 (委員長報告)

第二十六 (特別報告第六十八號) 志學郵便局ニ電信及集配事務開始ノ請願 (委員長報告)

第二十七 (特別報告第六十九號) 金田一郵便局ニ電信事務開始ノ請願 (委員長報告)

第二十八 (特別報告第七十號) 四ノ屋村四ノ屋ニ郵便局設置ノ請願 (委員長報告)

第二十九 (特別報告第七十一號) 男川村ニ郵便局設置ノ請願 (委員長報告)

第三十 (特別報告第七十二號) 加茂臨港線鐵道敷設ノ請願 (委員長報告)

第三十一 (特別報告第七十三號) 遠輕與白瀧間突込線鐵道敷設ノ請願 (委員長報告)

第三十二 (特別報告第七十四號) 天鹽鐵道速成ノ請願 (委員長報告)

第三十三 (特別報告第七十五號) 千綿村ニ停車場増設ノ請願 (委員長報告)

第三十四 (特別報告第七十六號) 奈良市水道工事助成ニ關スル請願 (委員長報告)

第三十五 (特別報告第七十八號) 駿甲、信越兩線聯絡鐵道速成ノ請願 (委員長報告)

第三十六 (特別報告第八十一號) 若宮燈臺改築ノ請願 (委員長報告)

第三十七 (特別報告第八十三號) 田畑地價特別修正ノ請願 (委員長報告)

(齋藤圭次君登壇)

(拍手起ル)

○齋藤圭次君 請願委員會ニ付キマシテ第二ノ報告ヲ致シマス、一昨日ヲ以テ第一回ノ報告ヲ致シマシテヨリ變化ヲ致シマシタモノガ、本期議會中請願ヲ受理セシ總數ニ於テ六百九十八件トナリマシタ、内採擇スベキモノト決シタルモノ六百二十五件、政府ニ參考トシテ送付スベキモノト決シタルモノ七十件、他ノ委員會ニ參考トシテ送付スベキモノト決シタルモノ一件、不採擇ト決シタルモノ一件、審査未了ノモノ一件、テアリマス、總テ請願ハ此一件ヲ殘スノ外ハ、審査ヲ終了致シマシタ、而シテ大體ニ於テ一昨日御報告致シテ置キマシタカラ、最早申ス箇條モアリマセス、本日ハ特別報告第五十號ヨリ第八十三號マデ一括シテ御議了ヲ願ハバ濟ムノデアリマスガ、單ニ意思ノ違ヒシ點ヲ一ツ申上テ置キマス、ソレハ一昨日新規請願ノ中ニシテ、考慮ヲ要シ政府ニ注意ヲ促スベキモノ、一トシテ紙ノ價ノ暴騰ガ非常ニ此出版業等ニ害ヲシテ、文致ノ上ニ影響ヲ及ボスコトデアリマスガ、其趣意ハ新聞等ノ事ニ付テ申シタノデアリマスガ、私ノ一寸ソレハ考テ違ヘテ居リマシタノデ、請願人ノ趣意ハ新聞デハナイ、即チ出版業者ガ此請願ヲシテ參ッタノデアリマシテ、此書籍ノ價ヲ高メラル、コトハ國民教育ノ根本タル

官報號外 大正六年七月十五日 衆議院議事速記第十二號 請願會議

小學校ノ讀本ノ出版ニ非常ナ影響ヲ及ボシ、之ガ甚ダ國民ノ教育ニ害ヲ及ボス、而モ教科書ハ文部省ノ指定ニ依テ價格ガ極ツテ居ルモノデアルカラ、勢ヒ讀本ハ粗惡ナル出版ニナラケレバナラヌ、斯ウ云フヤウナ趣意デアッダノデアリマス、是ハ紹介議員鳩山一郎君ノ紹介デ、此案ハ出テ居リマスカラ、甚ダ其處ノ違ツテ居ッタ事ヲ鳩山君ニ對シテ御氣ノ毒ニ存ジテ茲ニ訂正ヲ致シテ置キマス、其他或ハ郵便局ノ設置或ハ區裁判所ノ復活ノ如キ、總テ國民ノ行爲權利ニ關スル問題モ御坐イマスカラ、ドウカ本日モ一括シテ總テ御採擇ニ御贊成ヲ願ヒマス(拍手起ル)

○議長(大岡育造君) 唯今報告ニナリマシタ請願第十一ヨリ、第三十七ノモノハ一括シテ決ヲ採リタウ御坐イマス、採擇ニ御異議アリマセヌカ

(異議ナシ異議ナシ)ト呼ブ者アリ

○議長(大岡育造君) 採擇ニ決シマシタ、是デ日程ノ議事ハ濟ミマシタ、唯今内閣總理大臣ヨリ通牒ヲ受ケマシタ、本月十五日貴族院ニ於テ帝國議會ノ閉院式執行仰出サレ候、右御報告ヲ致シマス

(拍手起ル)

特別報告第五十號

請願文書表第三五〇號

日露戰役ニ於ケル被擄沈船救恤ノ請願

(紹介議員 牧山耕藏君)

右請願ノ要旨ハ日露戰役ノ際諸國人ハ朝鮮東海岸ノ航路危險ニシテ交通殆ト杜絶セルニ拘ラス同地ニ在留ノ同胞ニ同情スルノ至誠ヨリシテ航海ヲ繼續シ當時元山領事大木安之助ノ依頼ニ依リ所有汽船救之浦丸ヲ以テ城津在留民ノ引揚ヲ全ウシ爾後同船及五洋丸ヲ有航路ニ充テ在留民ノ急需ニ應ジタリシニ明治三十七年四月二十五日露國捕鯨艦隊ノ來襲ニ遭ヒ五洋丸救之浦丸ハ擊沈セラレ剩リ船員二十四名ハ捕虜トシテ二年ノ久シキ敵國ニ抑留セラレタリ又幸運丸及泰盛號ハ軍艦輸送ニ敵艦偵察ニ各任務ヲ全ウシ慶尚道ニ至リテハ臨湖津ヨリ軍用品搭載南洋港ニ向フ途中敵艦ニ襲撃セラレテ大破損ヲ受ケ船長以下三名敵艦ニ斃レタリ斯ノ如クニシテ私産ノ大部ハ敵艦ノ爲滅盡セラレ祖先傳來ノ海運業ヲ廢絶セサルヲ得ザルノ不運ニ陥リタリ而モ是レ皆奉公ノ徵象ヨリ出タルコトナレハ當局ニ向テ再三救恤ヲ出願シタルモ未モ何事ナラザルヲ以テ以上ノ事情ヲ洞察セラレ前記所有汽船三隻擊沈セラレタル爲ニ蒙リ損害ヲ救恤セラレタルヲ謂フニ在リ

衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第五十一號

請願文書表第三五六號

朝鮮ニ官幣大社奉祀ノ請願

(英城縣北相馬郡文間村大字立木二千二百一十一番地平民通信社員海老原新太郎外十四名呈出(紹介議員 小久保喜七君))

右請願ノ要旨ハ我が國ト朝鮮トノ關係ハ遠ク神代ニ始マリ明治四十三年ノ併合ニ依リテ全ク我が國土トナレリ爾來治績ノ舉ルアリト雖該地人民ヲシテ本土國民ト同化セシムトセハ我が皇祖皇宗ノ御遺訓ニ基ケル大和民族ノ真髓ヲ尊敬神ノ思想ヲ普及セシムルニ如クハナシ然ルニ未朝鮮ニハ臺灣樺太ニ於ケルカ如キ神社ノ奉祀ナキハ頗ル遺憾トスル所ナルヲ以テ朝鮮ニ該土ト關係最深キ素戔鳴男命ヲ奉祀トシ神功皇后武内宿禰ヲ相殿ト爲シテ官幣大社朝鮮神社ヲ奉祀セラレタルヲ謂フニ在リ

衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第五十二號

請願文書表第三七五號

紋別兩港比較調査ニ關スル請願

(北海道紋別郡紋別村大字紋別村四百五番地平民南飯田嘉吉外二百九十八名呈出(紹介議員 中西六三郎君外一名))

右請願ノ要旨ハ北海道北見國沿岸即オコクク海方面一帶ニ於ケル避難港ノ位置トシテハ孰レノ點ヨ

右請願ノ要旨ハ仙臺市ハ明治四十五年五月上水工事ヲ起シテ以來工程進捗シ送水配水ニ要スル鐵管敷設ノ外殆ト竣功ヲ告グトスルニ當リ歐洲戰亂ノ爲鐵價暴騰シ豫定ノ經費ヲ以テシテハ到底該工事ヲ完成スル能ハサルニ至リ其ノ困難一方ナラス依テ特別廉價ヲ以テ鐵材ノ拂下ヲ許可セラルルカ又ハ鐵價ノ暴騰ヨリ生スル該工事豫算超過額約六十萬圓ニ對シ少クモ其ノ半額以上ヲ補助セラレタシト謂フニ在リ
衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第五十三號

請願文書表第三八六號

大阪府大正五年四月十五日大阪府知事カ大阪府告示第百七號ヲ以テ府下飛田ノ地二萬坪ヲ遊樂地ニ指定シタルハ失當ナルヲ以テ理由タル遊樂地整理ノ實ナク又遊樂地附近ニハ學校アリ救済方法トシテモ其ノ時機ヲ失シ寧ロ同地ニ遊樂地新設スルモノナリ然レニ該地附近ニハ學校アリ公園アリ電車四圍ニ通シ風散上輕視スヘカラス且右指定ニ際シテハ機密漏洩ニ依リ一部人士ハ不正ノ利ヲ貪リタル等ノ事實アリテ大阪府民百有餘萬ノ反對スル所ナリ而シテ該指定地ニ遊樂地實現スルニ就テモ設計上幾多ノ制限ヲ爲ス必要アルヘキカ故ニ建築未著手ヲ好機トシ前記告示ニ依リ飛田遊樂地ノ指定ヲ主務大臣ニ於テ斷然取消サレタシト謂フニ在リ
衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第五十四號

請願文書表第四一七號

仙臺市水道工事助成ニ關スル請願 宮城縣仙臺市長山田一星出(紹介議員岩崎總十郎君外五名)
右請願ノ要旨ハ仙臺市ハ明治四十五年五月上水工事ヲ起シテ以來工程進捗シ送水配水ニ要スル鐵管敷設ノ外殆ト竣功ヲ告グトスルニ當リ歐洲戰亂ノ爲鐵價暴騰シ豫定ノ經費ヲ以テシテハ到底該工事ヲ完成スル能ハサルニ至リ其ノ困難一方ナラス依テ特別廉價ヲ以テ鐵材ノ拂下ヲ許可セラルルカ又ハ鐵價ノ暴騰ヨリ生スル該工事豫算超過額約六十萬圓ニ對シ少クモ其ノ半額以上ヲ補助セラレタシト謂フニ在リ
衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第五十五號

請願文書表第三六一號

酒造稅法中改正ノ請願 北海道上川郡士別村平民農營原太吉是出(紹介議員東武君)
右請願ノ要旨ハ馬鈴薯ノ澱粉粉力酒精原料トシテ有效ナルヲ發見セラレタル以來北海道ニ於ケル馬鈴薯ノ耕作ハ逐年増加シ來リタルモ晚近臺灣產澱粉粉力製造スル酒精ノ廉價ナルニ壓迫セラレ同道酒類製造者ハ廢滅ノ狀態ナリ延テ馬鈴薯ノ耕作及澱粉製造業ニ影響シ經濟上甚不利ナルモノアリ依テ明治三十九年法律第二十八號酒稅法第一條ノ六第二項第四號ニ「馬鈴薯」ヲ加ヘ農家ヲ保護シ同道開拓ノ一助ヲシメラレタシト謂フニ在リ
衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第五十六號

請願文書表第三三三號

不足金祿公債下附ノ請願 佐賀縣佐賀市大字水ヶ江町二百七十二番地士族會社眞藤井傳八外五名是出(紹介議員川島茂輔君)
右請願ノ要旨ハ請願人等ハ舊佐賀藩士ニシテ明治九年太政官布告第百八號第一條ニ依リ金祿公債證書ヲ附屬セラレタルモ其ノ祿高全部ヲ受ケタルモノニ非シ而シテ舊藩士ノ一部ハ明治四十二年法律

第二十一號第一條ニ依リ右不足祿高ニ關シ大藏大臣ヲ被告トシ訴訟ノ結果其ノ給與ヲ受ケルコトナレシニ請願人等ハ或ハ海外ニ在リ或ハ世情ニ暗カリシ等ノ事情ニ依リ前記ノ如キ法律ノ發布ヲ知テセザリシ爲訴訟期間ヲ徒過シ同一事情ノ下ニ在リナカラ給與ヲ受ケル能ハサルノ窮境ニ至レラ以テ特別ノ救済法ヲ制定セラレタシト謂フニ在リ
衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第五十七號

請願文書表第四一七號

紙價調節ニ關スル請願 東京府東京市神田區錦町一丁目十番地平民書籍出版業三樹一平是出(紹介議員鳩山一郎君外一名)
右請願ノ要旨ハ歐洲戰亂勃發以來紙價暴騰ハ直接消費者タル請願人等出版業者ノ最苦痛トスル所ニシテ延テ書籍ノ價ノ高カラシムヘカ普及ニ影響スルヲ以テ文藝上ヨリモ輕視スヘカラス而シテ紙價騰貴ノ原因ハ多クアルヘシト雖想フニ本邦紙ノ海外輸出ト之ニ依リ製紙會社ノ利益獨占ハ其ノ有力ナル原因タラスムハアラス依テ本邦紙ノ海外輸出ヲ制限シテ隨機紙價調節策ヲ斷行シ又製紙會社ノ獨占的處置ニ對シ相當考慮セラレタシト謂フニ在リ
衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第五十八號
請願文書表第六八〇號
紙價調節ニ關スル請願 東京府東京市神田區錦町一丁目十番地東京圖書出版協會代表者三樹一平外五名是出(紹介議員鳩山一郎君外一名)
右請願ノ要旨ハ歐洲戰亂勃發以來紙價暴騰ハ直接消費者タル請願人等出版業者ノ最苦痛トスル所ニシテ延テ書籍ノ價ノ高カラシムヘカ普及ニ影響スルヲ以テ文藝上ヨリモ輕視スヘカラス而シテ紙價騰貴ノ原因ハ多クアルヘシト雖想フニ本邦紙ノ海外輸出ト之ニ依リ製紙會社ノ利益獨占ハ其ノ有力ナル原因タラスムハアラス依テ本邦紙ノ海外輸出ヲ制限シテ隨機紙價調節策ヲ斷行シ又製紙會社ノ獨占的處置ニ對シ相當考慮セラレタシト謂フニ在リ
衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第五十九號
請願文書表第四一六號
能生小泊港ヲ漁船避難港トシテ築設ノ請願 新潟縣西頸城郡能生町長渡邊甚太郎外四十六名是出(紹介議員高島順作君)
右請願ノ要旨ハ新潟縣西頸城郡沿岸ノ地ハ漁業ノ盛ナルコト縣下第一ニシテ漁船及漁獲物ノ集散ハ皆同郡能生小泊港ニ於テ行ハルモ海上風波荒ク關係地方民ノ遺憾大ナリ依テ縣當局ハ之カ築港ニ著手セリ雖地方財政ノミヲ以テシテハ其ノ完成ヲ期シ難シ故ニ國家ノ力ヲ以テ前記能生小泊港ヲ漁船避難港トシテ築設セラレタシト謂フニ在リ
衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第六十號
請願文書表第三五八號
小坂嶺山鐵礦ニ關スル請願 秋田縣鹿角郡毛馬內町毛馬內二十一番地士族農豐口重太郎外五名是出(紹介議員山田清兵衛君外三名)
右請願ノ要旨ハ小坂嶺山鐵礦ノ害毒ハ漸次其ノ影響ヲ增大シ鐵山附近ニ於テ耕種ノ生産力ヲ失フモノ虞鐵相次キ被害ノ狀慘澹タルモノアリ之ニ對シ同鐵山ハ口ニ賠償ノ責ニ任スト謂フモ而モ實行セシ今ニシテ救済ノ途ヲ講セザラカ該地方ノ廢滅ヲ見ルヘキヤ明ナリ依テ小坂嶺山ニ對シ四坂島日立足尾等ノ諸鐵山及其ノ所在地同一ノ取扱ヲ爲シ(一)鐵業主ニ對シ速ニ除害ノ設備ヲ命令シ(二)被害地救済ノ方法ヲ急速ニ確立シ以テ目下ノ窮狀ヨリ免レシメラレタシト謂フニ在リ
衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第六十一號
請願文書表第三五八號
小坂嶺山鐵礦ニ關スル請願 秋田縣鹿角郡毛馬內町毛馬內二十一番地士族農豐口重太郎外五名是出(紹介議員山田清兵衛君外三名)
右請願ノ要旨ハ小坂嶺山鐵礦ノ害毒ハ漸次其ノ影響ヲ增大シ鐵山附近ニ於テ耕種ノ生産力ヲ失フモノ虞鐵相次キ被害ノ狀慘澹タルモノアリ之ニ對シ同鐵山ハ口ニ賠償ノ責ニ任スト謂フモ而モ實行セシ今ニシテ救済ノ途ヲ講セザラカ該地方ノ廢滅ヲ見ルヘキヤ明ナリ依テ小坂嶺山ニ對シ四坂島日立足尾等ノ諸鐵山及其ノ所在地同一ノ取扱ヲ爲シ(一)鐵業主ニ對シ速ニ除害ノ設備ヲ命令シ(二)被害地救済ノ方法ヲ急速ニ確立シ以テ目下ノ窮狀ヨリ免レシメラレタシト謂フニ在リ
衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第六十二號
請願文書表第三五八號
小坂嶺山鐵礦ニ關スル請願 秋田縣鹿角郡毛馬內町毛馬內二十一番地士族農豐口重太郎外五名是出(紹介議員山田清兵衛君外三名)
右請願ノ要旨ハ小坂嶺山鐵礦ノ害毒ハ漸次其ノ影響ヲ增大シ鐵山附近ニ於テ耕種ノ生産力ヲ失フモノ虞鐵相次キ被害ノ狀慘澹タルモノアリ之ニ對シ同鐵山ハ口ニ賠償ノ責ニ任スト謂フモ而モ實行セシ今ニシテ救済ノ途ヲ講セザラカ該地方ノ廢滅ヲ見ルヘキヤ明ナリ依テ小坂嶺山ニ對シ四坂島日立足尾等ノ諸鐵山及其ノ所在地同一ノ取扱ヲ爲シ(一)鐵業主ニ對シ速ニ除害ノ設備ヲ命令シ(二)被害地救済ノ方法ヲ急速ニ確立シ以テ目下ノ窮狀ヨリ免レシメラレタシト謂フニ在リ
衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第六十三號
請願文書表第三五八號
小坂嶺山鐵礦ニ關スル請願 秋田縣鹿角郡毛馬內町毛馬內二十一番地士族農豐口重太郎外五名是出(紹介議員山田清兵衛君外三名)
右請願ノ要旨ハ小坂嶺山鐵礦ノ害毒ハ漸次其ノ影響ヲ增大シ鐵山附近ニ於テ耕種ノ生産力ヲ失フモノ虞鐵相次キ被害ノ狀慘澹タルモノアリ之ニ對シ同鐵山ハ口ニ賠償ノ責ニ任スト謂フモ而モ實行セシ今ニシテ救済ノ途ヲ講セザラカ該地方ノ廢滅ヲ見ルヘキヤ明ナリ依テ小坂嶺山ニ對シ四坂島日立足尾等ノ諸鐵山及其ノ所在地同一ノ取扱ヲ爲シ(一)鐵業主ニ對シ速ニ除害ノ設備ヲ命令シ(二)被害地救済ノ方法ヲ急速ニ確立シ以テ目下ノ窮狀ヨリ免レシメラレタシト謂フニ在リ
衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第六十三號

請願文書表第四〇四號
元富岡區裁判所復舊ノ請願 群馬縣北甘樂郡富岡町長古澤小三郎呈出(紹介議員齋藤壽雄君)
右請願ノ要旨ハ群馬縣下元富岡區裁判所ハ大正二年四月廢止セラレ高崎區裁判所ノ管轄ニ移サレタリ抑該區裁判所ハ明治二十一年新設シ同四十二年改築シタルモノニシテ其ノ敷地及廳舎ハ舊管轄區民ノ寄附ヨリ成リ殊ニ該區裁判所管轄區域内ニハ甘樂郡ヲ始メ有名ナル産業組合製造工場等アリ亦特殊物産ニ富ミ訴訟事件益多キヲ加フルニ拘ラス廢止ノ爲舊管轄内住民ノ不利不便實ニ忍ブヘカハサルモノアリ而モ今般發表セラレタル政府ノ裁判所復舊計畫ニ元富岡區裁判所カ其ノ選ニ漏レタルハ舊管轄區民ノ甚タ遺憾トスル所トス偶新築廳舎ノ尙存在スルヲ以テ速ニ該區裁判所ヲ復舊セラレタシト謂フニ在リ
衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第六十四號

請願文書表第四〇五號
元鹿兒島地方裁判所大島支部復舊ノ請願 鹿兒島縣大島郡東天城村士族農林爲良呈出(紹介議員奥田榮之進君)
右請願ノ要旨ハ元鹿兒島地方裁判所大島支部ハ大正二年廢止セラレタルモ元來大島郡ハ鹿兒島市ノ南海上ニ百餘海里ニ散在スル約二十ノ離島ヨリ成リ海路風波荒ク一箇月五回ノ通航ヲ爲シ得ルニ過キスト雖ハ口ノ多キト雖下各郡ニ冠タリ加之近時産業ノ發達ニ伴ヒ民ノ訴訟事件激増シ前記ノ如キ地勢關係ハ司法事務上ニ幾多ノ障礙ヲ與ヘ郡民ノ不利甚大ナルモノアルヲ以テ速ニ元鹿兒島地方裁判所大島支部ヲ復舊シ其ノ位置ヲ大島郡名瀬ニ定メラシメタシト謂フニ在リ
衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第六十五號

請願文書表第四二〇號
元竹原區裁判所復舊ノ請願 廣島縣廣安郡竹原町二千三百三十六番地平民無業村上英外十八名呈出(紹介議員室月圭介君)
右請願ノ要旨ハ廣島縣下竹原區裁判所ハ明治二十一年ノ創立ニ係リ爾來地方民ニ利便ヲ與フルコト勤カラシメ一朝廢止セラレタル所轄裁判所トノ距離遠隔トナリタル爲訴訟ニ當リ多クノ費用ト時日トヲ要シ舊管轄區民ノ苦痛トスル所ナリ依テ速ニ該區裁判所ヲ復舊セラシメタシト謂フニ在リ
衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第六十七號

請願文書表第三八二號
豐田下村ニ三等郵便局設置ノ請願 山口縣豐浦郡豐田下村長松井修三呈出(紹介議員望月圭介君)
右請願ノ要旨ハ山口縣豐浦郡豐田下村ハ村内一市街ヲ爲シ小月西市間輕便鐵道停車場ノ所在地ニシテ該地方民ハ總テ此ノ地ニ來集シ將來益繁盛ナラムトシ郵便事務多キニ拘ラス其ノ設置ナキ爲一里餘ノ距離アル西市郵便局ニ至ラサルヘカハサルノ不便アリ是レ村民ノ甚タ遺憾トスル所ナリ依テ前記豐田下村ニ三等郵便局ヲ設置セラシメタシト謂フニ在リ
衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第六十八號

請願文書表第四〇七號
志學郵便局ニ電信及集配事務開始ノ請願 島根縣安濃郡佐比賣村長松尾佳三郎外六十一名呈出(紹介議員松本隆彦君)
右請願ノ要旨ハ島根縣安濃郡佐比賣村志學ハ同地方ノ中樞ニシテ人家稠密シ荷客ノ集數多ク殊ニ陸軍廠舍三瓶牧場及溫泉等アリ復物産ニ富ミ商取引盛ニシテ郵便事務多ク且其ノ敏速ヲ望ムヤ切ナリ然レトモ所在地在志學郵便局ハ集配事務ヲ取扱ハサル爲ニ里餘ヲ隔ツル他局ノ管轄ヲ受ケ加フルニ交通不便ナルヲ以テ住民ノ不利不便尠カラズ依テ前記志學郵便局ニ電信及集配事務ヲ開始セラシメタシト謂フニ在リ

衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第六十九號

請願文書表第四一〇號
金田一郵便局ニ電信事務開始ノ請願 巖手縣二戶郡金田一村大字金田一七十四番戶平民農下斗米啓作外六名呈出(紹介議員上原吉次君)
右請願ノ要旨ハ巖手縣二戶郡金田一村ハ人口及生産力ニ於テ郡内各村中ノ一二ヲ下ラス而シテ明治四十二年同村ニ八百餘町歩ノ模範植林經營セラレ今や又大規模ナル電氣工業起ラムトシ將來ノ發展期ニ待ツヘキナリ然レニ同村金田一郵便局ハ未電信事務ヲ取扱ハサル爲電報ハ總テ福岡郵便局ヨリ逕送シタル後風遠スルニ依リ村民ノ不便謂フヘカラス依テ前記金田一郵便局ニ電信事務ヲ開始セラシメタシト謂フニ在リ
衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第七十號

請願文書表第四一三號
四ツ屋村四ツ屋ニ郵便局設置ノ請願 秋田縣仙北郡四ツ屋村長伊藤光堯呈出(紹介議員柳田浩兵衛君)
右請願ノ要旨ハ秋田縣仙北郡四ツ屋村ハ縣道ニ沿ヒ人口三千七百ヲ有スル郡内有數ノ大村ニシテ近時農業ノ勃興ニ伴ヒ運輸交通頻繁トナリ從テ郵便事務ヲ增加亦著シキモノアルモ所轄大曲郵便局ニ至ルニハ里餘アリテ其ノ不便謂フヘカラス依テ前記四ツ屋村四ツ谷ニ無業配郵便局ヲ設置セラシメタシト謂フニ在リ
衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第七十一號

請願文書表第四一四號
男山村ニ郵便局設置ノ請願 愛知縣額田郡男山村長藪田德治郎外二十一名呈出(紹介議員小山溫君)
右請願ノ要旨ハ愛知縣額田郡男山村ハ會テ郵便局又ハ貯金取扱所ノ設置アリシモ現今ハ同崎局ノ管轄ニ屬セリ然レニ同村ハ郡中交通ノ衝點ニ當リ一市街ヲ成セル部ヲ近時諸産業ノ發展著ク殊ニ三龍社ヲ始メシテ工場存在シ又附近ニ愛知種馬所アリテ通信事務頗ル繁多ナリ依テ速ニ前記男山村ニ郵便局ヲ設置セラシメタシト謂フニ在リ
衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第七十二號

請願文書表第三五九號
加茂港鐵道敷設ノ請願 山形縣西田川郡加茂町長松山真中外二名呈出(紹介議員熊谷直太君)
右請願ノ要旨ハ山形縣莊内郡加茂町ハ縣下唯一ノ港灣ヲ有シ之ニ近接セル酒田港ニ優リ漁港避難港トシテ有望ナルノミナラス炭礦及溫泉等アリテ近時ノ發展著シキモノアリ然レニ同町ハ地勢ノ關係上羽越沿岸鐵道ノ便ニ依リ能ハスシテ海陸ノ聯絡ヲ缺ケリ是レ同町ノ不幸ナルノミナラス該地方一般ノ甚タ遺憾トスル所ナリ幸ニ近ク一哩半程ノ大山間ニ鐵道ノ開通ヲ見ムトスルヲ以テ此ノ際大山驛ヨリ分岐シ加茂港迄臨港鐵道ヲ敷設セラシメタシト謂フニ在リ
衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第七十三號

請願文書表第三五九號
遠輕奥白瀧間交通鐵道敷設ノ請願 北海道紋別郡上湧別村平民公吏兼重清次郎外千二百二名呈出(紹介議員東武野外一男)
右請願ノ要旨ハ北見縣遠輕町奥白瀧間地方ハ湧別川ノ源ニシテ其ノ流域ニ廣キ沃野ヲ控ヘ近時拓殖ノ實績著シク現住千二百戶耕地三千町歩ヲ算スルノ盛況ニ在リ又周圍ニハ鬱蒼タル森林巨萬ノ

其材ヲ保テ到ル所金銀等礦物ノ探掘盛ニシテ移民日ヲ逐ウテ至リ前途ノ發展願案スヘキモノアリ然
ルニ交通運輸ノ便ナキヲ以テ自然起業上ニ影響スルヲ遺憾トス而モ前記兩地間鐵路ハ旭達線ノ一部
ニシテ行程僅ニ十里餘坦々タル地ナルヲ以テ起工亦困難ナラサルヘモ旭達線敷設ノ第一歩トシテ
別線敷設ヨリ與白龍閣ノ鐵道ヲ敷設シ同地方ノ開發國運ノ進展上ニ資セラレタシト謂フニ在リ
衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別
冊及御送付候也

特別報告第七十四號
請願文書表第三八七號

天鹽鐵道建設ノ請願 北海道天鹽郡幌延村八番地平民農山田權左衛門外七十三名呈出(紹介
議員東武君外一名)

右請願ノ要旨ハ北海道天鹽線ハ北海道鐵道計畫ノ當初ヨリ既定線路トシテ公示サレ天鹽方面ニ移民
ヲ勧誘スル唯一ノ資料ト爲シタルヲ以テ移住人民ハ皆他日ノ敷設ニ慰藉シ困若ヲ忍ムテ今日ニ至レ
リ又拓殖上ノ利益ヨリ見ルトキハ宗谷線ノ比ニ非ス依テ該鐵道ノ敷設ヲ速成セラレタシト謂フニ在
衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別
冊及御送付候也

特別報告第七十五號
請願文書表第四〇八號

千綿村ニ停車場増設ノ請願 長崎縣東彼杵郡千綿村六百八十一番戶平民南土肥伊勢吉外十名呈
出(紹介議員中倉次郎君)

右請願ノ要旨ハ長崎縣東彼杵郡千綿村ハ人口五千ヲ有シ大村灣ニ臨ミ林産豐富ニシテ漁獲ノ利亦夥
カラサルモ鐵道ノ便ハ二里ヲ隔ツル松原若ハ彼杵郡ニ依ラサルヘカラスシテ殖産興業ノ進展ヲ阻害
スルコト多シ加之村內ニ大野原陸軍演習地アリ又龍頭泉ノ景勝アリ交通機關ノ完備ヲ切望スルヤ久
シ依テ前記千綿村ニ停車場増設セラレタシト謂フニ在リ
衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別
冊及御送付候也

特別報告第七十六號
請願文書表第六八九號

奈良市水道工事助成ニ關スル請願 奈良縣奈良市長西匠久和呈出(紹介議員上村耕作君外二名)
右請願ノ要旨ハ奈良市ハ大正五年八月上水工事ヲ起シタルモ歐洲戰亂ノ影響ニ依リ鐵價暴騰ノ爲
定經費ニ約六十萬圓ノ不足ヲ來シ事業遂行上困難一方ナラス依テ特別撥付ヲ以テ鐵材拂下ヲ許可セ
ラルカ又ハ前記經費超過額ノ中少クモ半額以上ヲ補助セラレタシト謂フニ在リ
衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別
冊及御送付候也

特別報告第七十七號
請願文書表第六八七號

駿甲信越兩縣聯絡鐵道建設ノ請願 長野縣南佐久郡川上村長川上廣之助外二十二名呈出(紹介
議員岡部大郎君)

右請願ノ要旨ハ駿甲信越兩縣聯絡鐵道スヘキ中央總甲府驛ヨリ信越線小諸驛ニ至ル地方ハ森林原野ニ
富ム交通機關ノ設置ナキ爲富源ノ開發上遺憾カラルヲ以テ國防上亦該地方ノ鐵道敷設ヲ
急務トス而モ其ノ工事ハ比較的容易ナルヘキヲ以テ速ニ甲府小諸間ノ駿甲信越兩縣聯絡鐵道ヲ敷設
セラレタシト謂フニ在リ
衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別
冊及御送付候也

特別報告第七十八號
請願文書表第六九一號

若宮燈臺改築ノ請願 長崎縣壹岐郡香椎村可須八百二十番戶平民農原田卯八郎外二十名呈出
(紹介議員牧山耕藏君)

衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別
冊及御送付候也

特別報告第七十三號
請願文書表第六九四號

田畑地價特別修正ノ請願 山形縣東田川郡泉村大字野田字板橋十五番地土族農相倉廣之外百七
名呈出(紹介議員伊東知也君)

右請願ノ要旨ハ請願人等ノ所在地タル山形縣東田川郡泉村大字野田同野田同仙道ノ土地ハ其ノ質
最劣等ノ廢地ニシテ收穫甚少ク且地勢、氣候、運輸交通上農耕地トシテノ價值多カラズ然ルニ地
租改正ノ當時其ノ評價ヲ誤リタル爲地價格外ニ高ク公課ノ負擔重キニ過キ困難一方ナラス依テ前記
衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別
冊及御送付候也

○議長(大岡育造君) 諸君、第三十九議會ノ會期ハ本日ヲ以テ終了トナリマシ
タ、本會期ハ解散後ノ議會デアリマシテ、會期ハ延長トモニ併セテ二十二日、其間本
會ヲ開キマシタルコト十一回、部會委員會ヲ開キマシタルコト百六十三回ニシテ、議案
請願及質問ノ提出セラレマシタルモノハ八百十四件、就中追加豫算ノ如キ孰レモ時局
ニ必要ナルモノニシテ、其他請願及重要動議ハ悉ク之ヲ議了致シマシタ、尙ホ法律案
ハ其一二決算承諾案ヲ除クノ外、重要案件ハ概ネ之ヲ議了致シマシタ、殊ニ時局ニ
最モ適切ナル製鐵業獎勵法案ハ貴族院ト其見方異ニシタルニ拘ラズ、幸ニ交謨審議
克ク其成立ヲ見ルニ至リマシタルコトハ、國家ノ爲ニ慶賀ニ堪ヘマセヌ次第デアリマス
(拍手起ル)此短期間ニ於テ斯ノ如キ好成績ヲ收メマシタルコトハ、畢竟諸君御勤精ノ
結果デアリマス、茲ニ諸君連日ノ御勞劬ヲ謝シマス、例ニ依リマシテ本會期ニ於ケル議
事ノ成績ハ書記官長ヨリ報告ヲ致シマス

〔拍手起ル〕
(寺田書記官長朗讀)

本會期ニ提出セラレタル議案ノ總數及其結果
一政府提案出議案 四十四件
豫算追加案 十件 (總テ可決)
承諾ヲ求ムル議案 三件 (總テ承諾ヲ與フ)
法律案 三十一件

內

可決シタルモノ

修正議決シタルモノ 二十五件
未決ノモノ 四件
本院提出議案 三十件

內

法律案

內

可決シタルモノ 六件
修正議決シタルモノ 一件
未決ノモノ 一件

修正議決シタルモノ 一件

併合シタルモノ

一件

未決ノモノ

三件

上奏案

一件(可決)

建議案

十三件

内

可決シタルモノ

七件

修正議決シタルモノ

一件

併合シタルモノ

三件

議決ヲ要セザリシモノ

一件

未決ノモノ

十件

重要動議

五件

内

可決シタルモノ

四件

否決シタルモノ

一件

撤回シタルモノ

二件

此ノ外

決算

二件(未決)

回附案

二件

内

貴族院ノ修正ニ同意シタルモノ

一件

貴族院ノ修正ニ同意セサルモノ

一件

兩院協議會成案

一件(可決)

一請願受理總數

六百九十八通

採擇シタルモノ

二百二十九件

採擇ト看做シタルモノ

二百九十六件

參考トシテ政府ニ送附シタルモノ

七十件

他ノ委員會ヘ參考トシテ送附シタルモノ

一件

議決ヲ要セサルモノ

一件

未了ノモノ

一件

質問總數

四十件

内

撤回シタルモノ

一件

口頭及書面ヲ以テ答辯アリタルモノ

一件

書面ヲ以テ答辯アリタルモノ

三十八件

以上

○議長(大岡育造君) 散會ヲ宣シマス
(拍手起ル)

午後三時五十二分散會

官報號外

大正六年七月十五日

衆議院議事速記録第十二號

